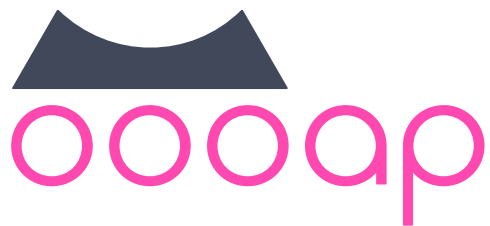


松本城三の丸エリアビジョン
アクションプラン 令和7年3月



ACTION PLAN

Contents

序章

界隈の豊かなシーン 003

第1章

アクションプランとは 009

第2章

小さなチャレンジの積み重ね 017

第3章

界隈で取り組むアクションプラン 025

終章

今後の三の丸エリアプラットフォーム 103

1

女鳥羽川界隈 026

2

松本城大手門跡界隈 038

3

大名町界隈 050

4

土井尻界隈 060

5-1

上土・緑町界隈 070

5-2

上土・緑町界隈 080

9

鷹匠町・北馬場界隈 092

序章

界隈の豊かなシーン

エリアが目指す暮らし（松本城三の丸エリアビジョン：令和4年3月策定）

合言葉

「誰かに語りたくなる暮らし」

令和4年3月に松本市が策定した「松本城三の丸エリアビジョン」（以下、「エリアビジョン」）は、「誰かに語りたくなる暮らし」を合言葉に掲げ、地元の人々の豊かな暮らしの実現と、訪れる人が何度でも通いたくなる松本になることを目指しています。



誰かに語りたくなる暮らし

松本城三の丸エリアで目指すのは、お気に入りの居場所を持つことができ、会いたいと思える人がたくさんいて、チャレンジしたくなるような環境です。そして、それらの喜びをお互いに語り合うことでまちへの愛着が生まれ、何気ない日々の暮らしを楽しむ心地よさが育まれていきます。



何気ない日々の暮らしを楽しむ

豊かな自然、多様な文化、人とのつながりに囲まれて暮らす。生活を彩るのは人・物・事との「偶然の出会い」



お気に入りの居場所がある

いつものカフェや水辺の遊び場、音楽仲間が集う店。お気に入りの居場所を複数持てる「選択肢の多様さ」



チャレンジしたくなる

趣味仲間や芸術家、起業家など、表現したい人、挑戦したい人の自由な発想と活動を受け入れてくれる「寛容さ」



街の物語を感じられる

歴史や文化や多種多様な感性。松本に暮らす喜びをお互いに語り合うことで醸成される「街への愛着」



会いたい人がいる

素敵な飲食店やショップのオーナー、若手の作家さんや山登りの仲間。趣味嗜好で繋がっていく「顔が見える繋がり」

2年間のチャレンジ（社会実験）で生まれた
“誰かに語りたくなる暮らし”のシーン

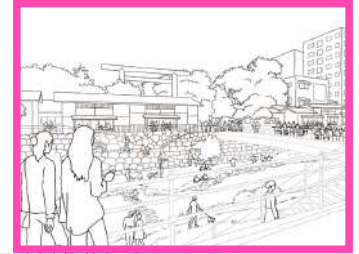


1 女鳥羽川界限

vision

松本の豊かな水と
表現活動を体感する

水辺の居場所



2 松本城 大手門跡界限

vision

様々な作り手たちが
育む文化が出迎える

松本城の玄関口



3 大名町界限

vision

界限の魅力が滲み出す

人中心の
シンボルロード



5-1 上土・緑町 界限

vision

文化の香りと
銘店の味が楽しめる

日常を彩る
巡り会いの場

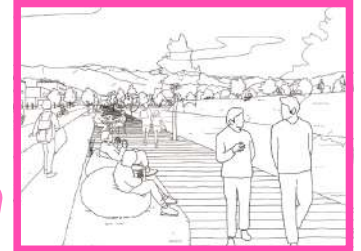


6 松本城南・ 西外堀界限

vision

南・西外堀／天守／
北アルプスを

一体に望む特等席



4 土井尻界限

vision

なりわいと緩やかな
人とのつながりが息づく

共生の暮らしの舞台



5-2 上土・緑町 界限

vision

文化の香りと
銘店の味が楽しめる

日常を彩る
巡り会いの場



9 鷹匠町・ 北馬場界限

vision

暮らす人と訪れる人が
緩やかに共生する

2つの国宝の
架け橋



第1章

アクションプランとは

アクションプランとは

「松本城 三の丸エリアビジョン」で 描いたシーンを 日常とするための 具体的な行動指針

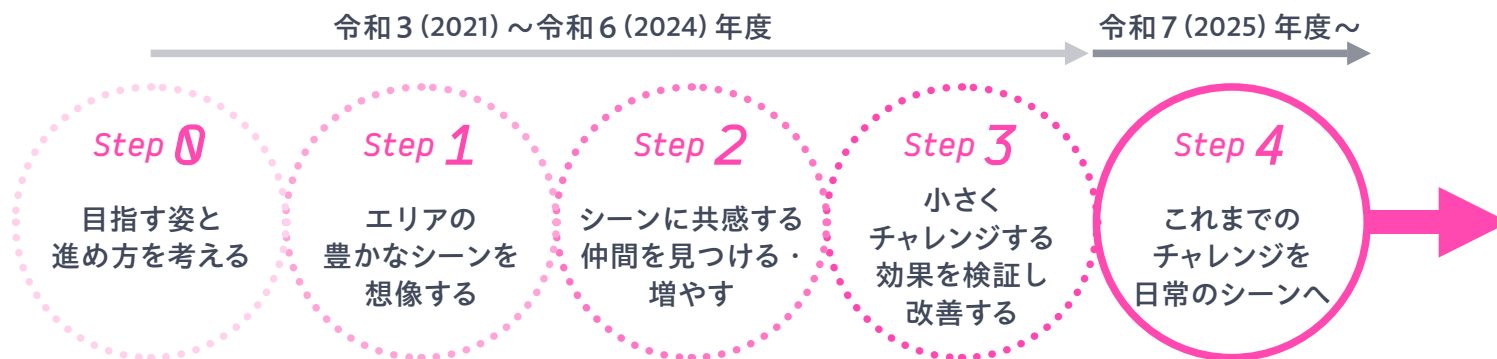
松本城三の丸エリア（以下、「三の丸エリア」）では、エリアビジョンの実現を推進する民間主体の組織「三の丸エリアプラットフォーム」（以下、「三の丸AP」）が令和4年12月に立ち上がりました。令和5-6年度には、三の丸APのメンバーを中心に、7つの界限でさまざまなチャレンジ（社会実験）を実施。界限に新しく豊かなシーンが生まれました。

続く令和7年度からは、これまでのチャレンジを日常のシーンとしていくため、2年間で得られた成果を基にした、さらなる取組みへと移行していきます。

「松本城三の丸エリアビジョンアクションプラン」（以下、「アクションプラン」）は、令和7年以降に行政と民間が参照しながらプロジェクトを進めていくための具体的な行動指針です。今後ハード整備が実施される界限については、アクションプランを基に具体的な設計図書へと落とし込んでいくこと、また、三の丸エリアが対象となる各種計画についても、アクションプランを踏まえた内容が盛り込まれていくことが見込まれます。

Action plan

段階的な
まちづくりの
プロセス



各計画の
位置付け



アクションプラン策定の経緯

小さなチャレンジ

効果検証



Metobaピクニックデイ



Riverside Bazaar coco soir
(ココソワール)



滞留空間創出 (大名町通り)



お城下町
パフォーマンスフェスティバル

令和3年度以降の取り組み内容

Step	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
	Step 0 目指す姿と 進め方を考える	Step 1 エリアの豊かなシーンを 想像する Step 2 シーンに共感する仲間を見つける・増やす	Step 3 小さくチャレンジする
全体の動き	「エリアビジョン」 策定 3月	「三の丸AP」 設立 12月 公開プレゼン 3月 リーダー会議	公開レポート 11月 ① ② ③ ④ ⑤
チャレンジ (社会実験)	三の丸APキックオフトーク (令和4年度設立総会時)	三の丸APのメンバー (令和4年度公開プレゼンテーション時)	チャレンジ(社会実験) ①女鳥羽川界限 ②松本城大手門跡界限 ③大名町界限／⑥松本城南 ⑤-1上土・緑町界限 ⑤-2上土・緑町界限 ⑨鷹匠町・北馬場界限 ④土井尻界限
連携企画			図書館シンポジウム 12月
パブリック・ リレーションズ	令和5年度 公開プレゼンテーション	プレHP・SNSオープン [WEB] 6月	HPオープン [WEB] 10月 Journal [紙面] ① ② 三の丸 CLEAN&MEETS [対面] ① ② ③

プロジェクト主体

ブラッシュアップの積み重ね

令和5-6年度の2年間は、エリアビジョンに基づいたさまざまなチャレンジとその効果検証、それらを踏まえたブラッシュアップを繰り返してきました。そうした成果の積み重ねと生じた課題を踏まえ、アクションプランを策定しました。また、活動の過程でも、毎月のリーダー会議での情報共有や意見交換、パブリック・リレーションズの取組みを通じた関わりしらの拡大、三の丸エリア内での他プロジェクトとの連携企画実施などに取組んできました。

	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)～
／効果を検証し改善する		Step 4 日常のシーンへ
トーク企画 公開プレゼン	12月 6 3月 7 8	9月 11月 13月 「アクションプラン」 策定 ○ ○ ○
	9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19	一部継続
・西外堀界隈	Metoba リバーサイドプロジェクト 六九通り周辺の公共空間・空き店舗等利用検討会 THE SANNOMARU TERRACE プロジェクト お城下町まちづくりコミュニティ みどり食堂 松本国宝の架け橋プロジェクト まちなかりビング	
	三の丸 AP 事務局主体	エリアサイン 大名町通り 12月 フルフラット化社会実験
ライブラリー まつもと	2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 10月 11月 12月 2月 3月	グリーンインフラ@外堀大通り
Magazine [WEB]	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 4 5 6 7 8	三の丸 CLEAN&MEETS
三の丸おさんぽ&MEETS [対面]	1 2 3 4	



みどり食堂

5-2



タカノバ

9



フルフラット化社会実験

3



土井尻まちなかりビング

4

三の丸APとは

緩やかな関係性を紡ぐ “三の丸エリア プラットフォーム”

三の丸APの構成員

三の丸APは、エリアビジョン実現に向けたプロジェクトを実施する主体となる「事業会員」、プロジェクト実施の協力を行う「連携会員」、プラットフォームの運営を担う「運営委員」などにより構成されます。事業会員／連携会員は、エリアビジョンの理念に賛同する右記の方が対象です。



【プロジェクトサポーター、会計、監事、事務局】

- 事業会員：審査を受けて一定の条件を満たすプロジェクトを実施する3名以上のグループ(各種支援が受けられます)
- 連携会員：新たなプロジェクトを考えている人、プロジェクトに協力したい人、情報提供をしたい人など

三の丸エリアの各界隈はこれまでも自発的な取り組みを行っていましたが、他方で「ほかの界隈が何をやっているか知らない」「周辺の界隈と何か一緒にやりたい」といった、繋がりを求める声も多く聞かれました。そこで、各界隈の独立事業はそのまま継続しつつ、界隈間の繋がりを強化して持続性ある運営基盤を構築するため、プロジェクト支援に徹するプラットフォームを構築しました。ただし各界隈が実施するプロジェクトの意思決定に三の丸APは関与せず、三の丸APの自主事業も最小限。あくまでも界隈の伴走支援に徹することが特徴となっています。



三の丸APのメンバー（令和4年度公開プレゼンテーション時）

三の丸APの役割

界隈間の 情報共有連携促進

- 各界隈で行われるさまざまな動きの集約
- 界隈間での情報共有と連携の促進
- 新たな担い手や活動主体とのネットワークづくり

個々の プロジェクトサポート

- 技術的サポート
(社会実験等の企画支援、許認可等の行政手続き支援、規制緩和など)
- 資金的サポート
(社会実験などに対する活動資金補助：令和5-6年度のみ)
- 広報的サポート
(市内外へのプロモーション・情報発信)

エリアにおける 全体最適化

- 各プロジェクトとエリアビジョンとの整合性の確認／全体コーディネート
- 各種データ収集・分析による社会実験の効果検証とフィードバック

三の丸APサポーター募集中！

三の丸APでは、サポーターとして社会実験や三の丸APの取組みを支援いただけるボランティア・アルバイトも募集しています。街に関わりたい、街の人と繋がりたい、何か一緒にプロジェクトをやってみたい、といった想いのある方、ぜひ右記のQRコードよりお申込みください！



三の丸APの運営・取組み

毎月のリーダー会議による 情報共有・意見交換

三の丸APの取組みの根幹を成すのは、毎月1回実施するリーダー会議です。各プロジェクトのリーダー・サブリーダーや関係者が集い、それぞれのプロジェクトの進捗状況を共有し、意見交換を行います。困り事も共有してみんなで解決策を考えたり、「こんなことをしてみませんか」と新たな連携企画の考案・提案も。定期的に顔を合わせて知恵を出し合うことで、三の丸AP内での信頼関係が構築されました。季節の良い時期には屋外で会議をしたり、公共空間を使ってみるなどの試行も、あわせて行っています。



リーダー会議@枳形跡広場の様子

プロセスを公開する： 公開プレゼンテーション/ 公開レポート&フィードバック

三の丸APは、取組みのプロセスを公開しています。各年度末には三の丸APが支援するプロジェクトを決める公開プレゼンテーションを実施。運営委員の審査を経て、サポートの可否を決定します。後半に行う公開レポート&フィードバックでは、各プロジェクトの結果報告の後、運営委員や参加者から意見感想をもらい、プロジェクトのさらなるブラッシュアップを図っています。



令和4年度公開プレゼンテーション



令和5年度公開プレゼンテーション



令和6年度公開レポート&フィードバック

三の丸エリア庁内プロジェクトチームの 取組み・三の丸APとの連動

組成

松本城三の丸エリアの各界限に立ち上がったプロジェクトを行政としてバックアップするため、三の丸APと連動する市役所内のプロジェクトチームを組織し、部局横断でサポートする体制を整えました。

編成

庁内プロジェクトチームは交通、文化観光などテーマごとに関連部署をチーム化し、各界限のプロジェクトの取組みの共有や、各部署が進める施策との連携について意見交換する場となっています。今後も、このアクションプランに掲げた取組みの実現に向けて必要な関係部署とチームを形成し、部局横断でサポートしていきます。

【令和6年度庁内プロジェクトチームの編成】

交通：交通ネットワーク課、公共交通課、自転車推進課、都市計画課、建設課、維持課、商工課

文化観光：商工課、観光プロモーション課、文化振興課、松本城管理課、博物館、住宅課、移住推進課、都市計画課、文化財課

市役所：総合戦略室、庁内関係各課

旧開智学校周辺：中央図書館、博物館（旧開智学校校舎）、公園緑地課、スポーツ施設整備課、都市計画課

【その他関連部署】

大名町通り整備：維持課、建設課、上水道課、下水道課、

都市計画課、交通ネットワーク課、公共交通課、自転車推進課

グリーンインフラ：都市計画課、森林環境課

若者の居場所：地域づくり課

取組み

チーム毎の情報共有会議の開催、毎月の庁内電子掲示板等での松本城三の丸エリアの情報発信などにより、各プロジェクトの最新情報を共有し、具体のプロジェクト連携については個別に各課と意見交換を重ねてきました。また、この公民連携の取組みを持続可能なものとするため、庁内プロジェクトチームの枠を超えて全庁職員対象に、取組みの意義や行政職員の役割について理解を促す研修を実施しています。



三の丸エリア庁内プロジェクトチーム：情報共有会議



公共空間活用実務研修：講義



公共空間活用実務研修：ワーク



公共空間活用実務研修：発表

第2章

小さなチャレンジの 積み重ね

2年間(令和5-6年度)のチャレンジ一覧

1 女鳥羽川界隈 Metoba リバーサイドプロジェクト

[令和5年度]

- ・女鳥羽川の草刈り・清掃▷毎週実施
- ・ピクニックセットレンタル▷通年
- ・Metobaピクニックデイ▷10月7日土・8日日

[令和6年度]

- ・女鳥羽川の草刈り・清掃▷毎週実施+毎月エクセラン高校と実施
- ・仮設階段設置▷11月4日火～6日水
- ・ピクニックセットレンタル▷通年
- ・Metobaピクニックデイ▷4月29日月、10月27日土
- ・松本山雅との清掃・ピクニック▷8月17日土

2 松本城大手門跡界隈 六九通り周辺の公共空間・空き店舗等利用検討会

[令和5年度]

- ・六九工芸祭▷5月27日土/28日日
- ・六九古本市▷11月3日金

[令和6年度]

- ・六九工芸祭▷5月25日土/26日日
- ・Riverside Bazaar coco soir▷7月27日土
- ・六九古本市▷11月3日土

3 大名町界隈 6 松本城南・西外堀界隈

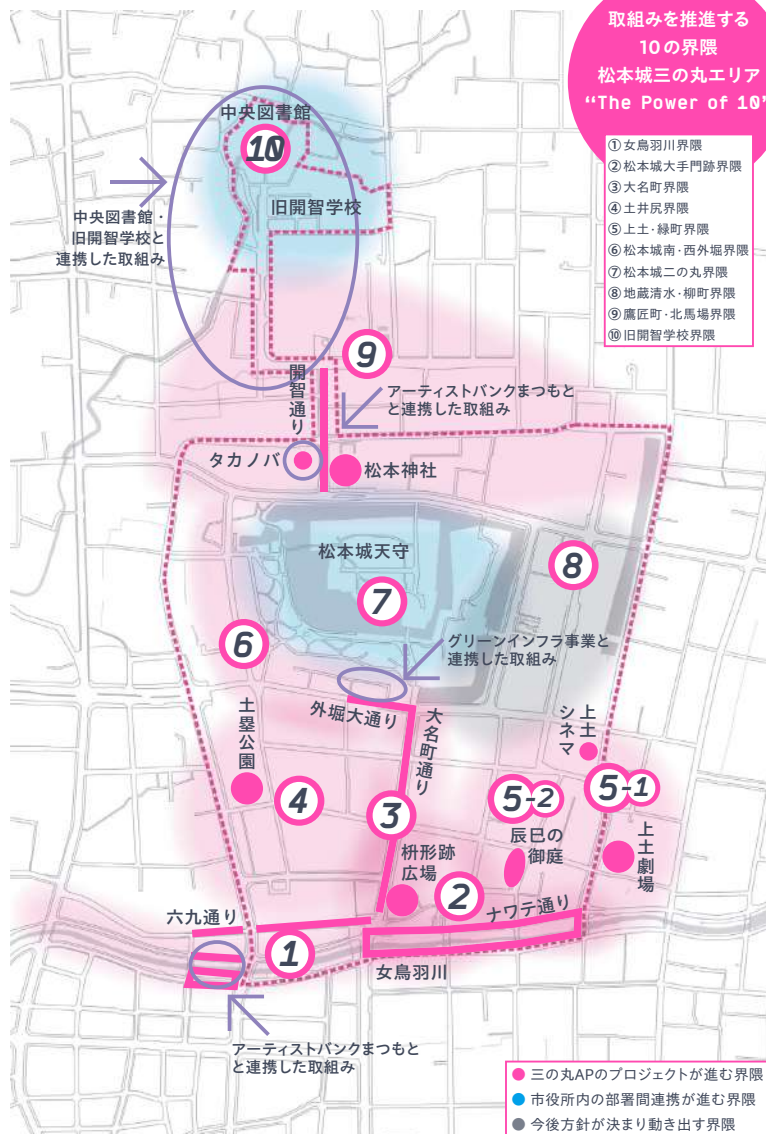
THE SANNOMARU TERRACE プロジェクト

[令和5年度]

- ・滞留空間の創出(大名町通り)▷通年
- ・三の丸シェ(外堀大通り)▷4月1日土、9月16日土/17日日、10月7日土/8日日
- ・ICE・BAR三の丸(外堀大通り)▷1月27日土

[令和6年度]

- ・滞留空間創出(大名町通り)▷通年
- ・滞留空間創出(枳形跡広場)▷8月、1月24日土/25日日
- ・桜BAR三の丸(外堀大通り)▷4月6日土/7日日、13日土/14日日



4 土井尻界隈 まちなかりビング

[令和6年度]

- ・仮設小屋設置▷4月5日土～6日日、8月8日木、8月17日土～23日金など
- ・土井尻まちなかりビング▷10月27日日

5-1 上土・緑町界隈 お城下町まちづくりコミュニケーション

[令和5年度]

- ・お城下町パフォーマンスフェスティバル▷9月30日土～10月8日日

[令和6年度]

- ・あげつちシネマフェスティバル▷9月21日土/22日日
- ・城下町・アーティスト倶楽部音楽祭▷10月12日土/13日日
- ・まつもと演劇祭/お城下町パフォーマンスフェスティバル▷10月11日金～13日日

5-2 上土・緑町界隈 みどり食堂

[令和5年度]

- ・みどり食堂▷4月9日日、8月5日土/6日日、10月14日土/15日日

[令和6年度]

- ・みどり食堂▷9月21日土、10月27日日
- ・日陰・滞留空間常設設置▷9月～通年

9 鷹匠町・北馬場界隈 松本国宝の架け橋プロジェクト

[令和5年度]

- ・タカノバ▷9月16日土オープン～通年

[令和6年度]

- ・タカノバ▷通年
- ・アウトドア&防災フェス▷9月21日土
- ・国宝の架け橋りビング▷11月9日土

三の丸AP主体 大名町通りフルフラット化社会実験

[令和6年度] 12月22日日

三の丸AP主体 エリアサインプロジェクト

社会実験効果検証総括：「誰かに語りたくなる暮らし」の実現に寄与

2年間に実施した社会実験が「誰かに語りたくなる暮らし」の実現に寄与しているかを検証するため、利用者アンケート調査、アクティビティ調査、交通量調査等による効果測定を行いました。その結果、偶然の出会いが生まれたことや利用者の高い満足度、多様なアクティビティが生まれたこと、新たなチャレンジが多くなされた

こと、長時間の滞在が生まれたことなどにより、「誰かに語りたくなる暮らし」が一時的に実現できました。効果が見られた一方で、様々な課題も見えてきました。

今後は、この効果検証結果をプロジェクトに反映すると共に、この成果が日常的に生まれるよう、ハード整備や仕組みづくりへと展開していきます。

効果検証総括（令和5-6年度）

ビジョン

誰かに語りたくなる暮らし

何気ない日々の暮らしを楽しむ
「偶然の出会い」

お気に入りの居場所がある
「選択肢の多様さ」

チャレンジしたくなる
「寛容さ」

街の物語を感じられる
「街への愛着」

会いたい人がいる
「顔が見える繋がり」

効果
検証結果

誰かに語りたい・伝えたい：93%

偶然の出会いの創出
出会いがあった：71%
まちを訪れるきっかけの創出
初めて訪れた：39%
高い満足度
満足・やや満足：92%

多様なアクティビティの創出
アクティビティ数の増加
従前：129
↓
実施時：3,845
アクティビティの種類の増加
心地よい滞在・歩行環境の創出
心地よく利用した／歩いた：98%
市内／市外双方の利用の創出
市内外の方に利用された

各種表現／挑戦の受け入れ
新たなチャレンジが多くなされた
様々な新しいチャレンジや表現活動を受け入れた

長時間の滞在の創出
1時間以上の長時間滞在も多くみられた
「また来たい」という期待感の創出
また来たい：93%

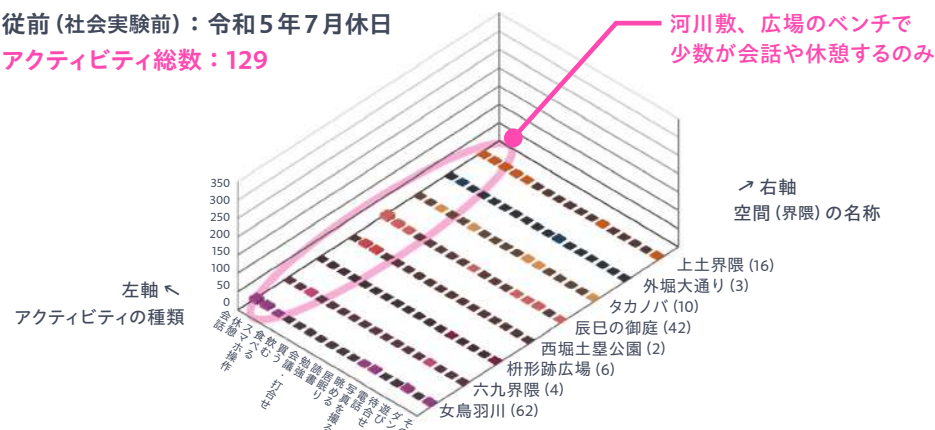
社会活動の創出
社会活動のアクティビティ数の増加
従前：43
↓
社会実験：2,648
多様な世代／属性の利用
幅広い世代、属性の方の利用が見られた

%表記は社会実験のアンケート結果を示す

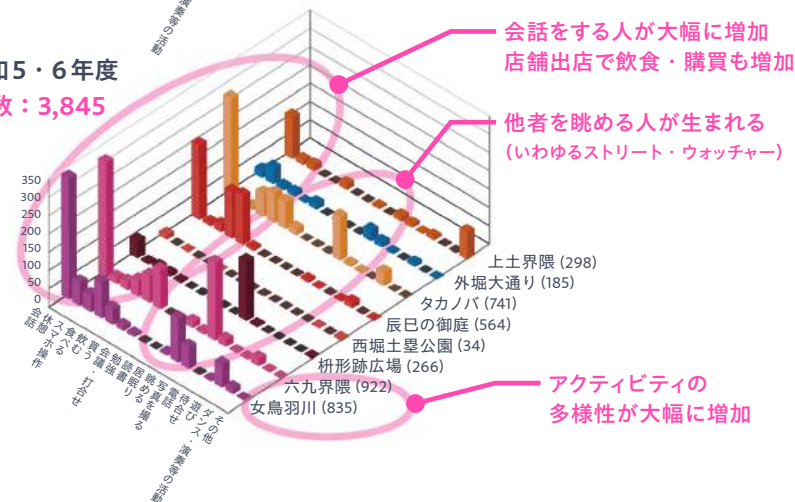
令和5-6年度の各社会実験が、エリアビジョンで掲げる「誰かに語りたくなる暮らし」の実現に寄与したと言えます

アクティビティ調査：従前と比較し多様なアクティビティが創出された

●従前（社会実験前）：令和5年7月休日
アクティビティ総数：129



●社会実験時：令和5・6年度
アクティビティ総数：3,845



歩行者ネットワーク形成／居場所・目的地づくりに向けた取組み

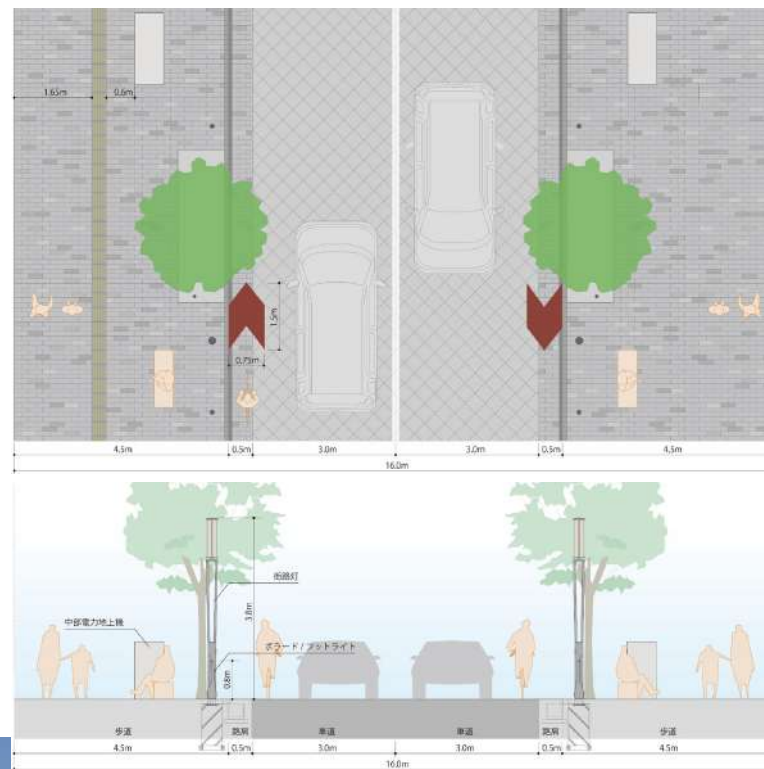
エリアビジョンで掲げた「界隈の魅力が連なる歩行者ネットワーク形成」「選択多様性のある身近な居場所・目的地づくり」の実現に向け、2年間の社会実験・効果検証で一定の成果が得られた下記の取組みについて、今後関係者とともに日常化を目指していきます。



大名町通り再整備

道路総幅員16mのまま、歩道幅員を拡張し、歩車道をフルフラット化し、舗装、照明等の再整備を行います。将来的にはより歩行者に優しい環境づくりを目指します。

- 主要な歩行者ネットワーク(エリアビジョンより)
- バス路線
- 主要駐車場
- 幹線道路(総合交通戦略より)



再整備時の平面・断面道路構成イメージ



再整備時のVRイメージ

大名町通りフルフラット化社会実験

再整備後の幅員構成や設え、滞留空間の確保等を実際のスケールで体感すること、また今後の道路活用をよりイメージしやすくするため、歩車道フルフラット化の社会実験を実施しました。

フルフラット化
社会実験の様子



六九女鳥羽川沿い道路歩行者天国化

毎週土曜日(仮)の歩行者天国化(時間帯交通規制)を目指し、松本市維持課、警察、公安委員会、周辺関係者等と検討・協議・合意形成を進めます。

歩行者天国化
社会実験の様子



大名町通りの滞在空間化

大名町通りの店舗軒先にベンチを常時設置し、滞在空間を創出しています。また、外堀大通り南側歩道(紫陽花北側)には日陰付きベンチを新たに設置しました。大名町通り再整備後も制度を活用して通りの滞在空間化を目指します。

滞在空間化
社会実験時の様子



開智通りトランジットモール化

トランジットモール化(バスのみ通行可能な歩行者天国化)を目指し、松本市維持課、警察、公安委員会、バス事業者、周辺関係者等と検討・協議・合意形成を進めます。

トランジットモール化
社会実験の様子



杵形跡広場の滞在快適性向上

杵形跡広場に日陰や滞留空間を設置し、滞在快適性を高めることを目指します。

滞在快適性向上
社会実験の様子



女鳥羽川の回遊性向上

女鳥羽川の河川敷に渡渉ラインと階段を整備することで、ナワテ通り・中町通り双方への回遊性を向上するとともに、維持管理をしやすくきれいな河川環境を保ちます。

仮設橋設置
社会実験の様子



辰巳の御庭の滞在空間化

辰巳の御庭（松本市道）にベンチやせせらぎデッキ、日陰等を常設設置し、滞在快適性の高い空間とすることを目指します。

滞在空間化
社会実験の様子



エリアサインによる回遊性向上

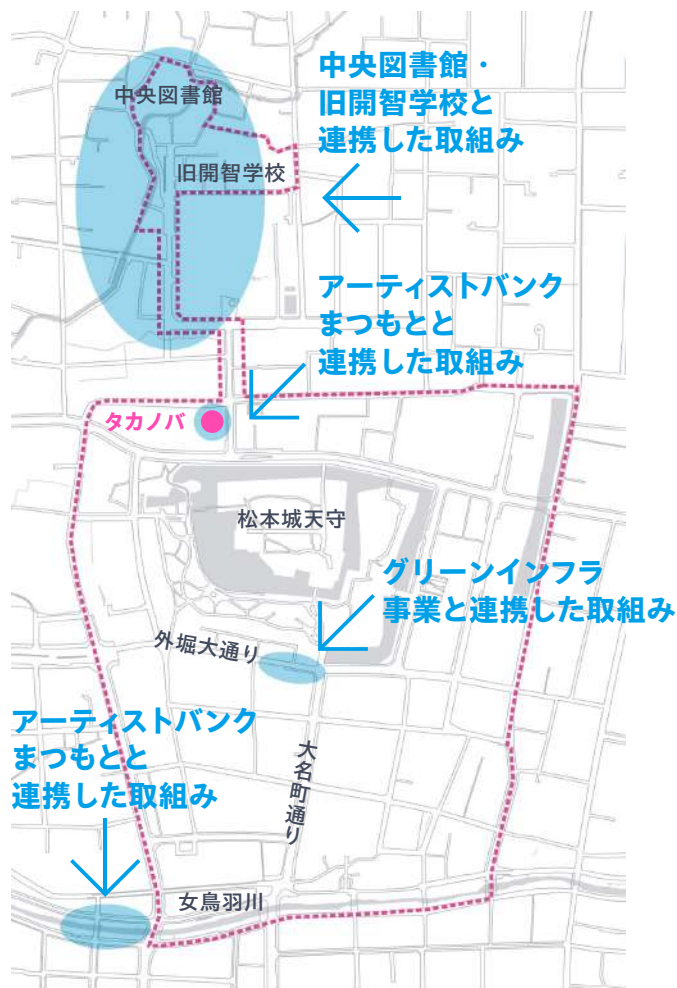
さりげなく界限を知らせる道標としてのエリアサインを設置することで、訪問者の案内や誘導を行います。主に界限の境界部分に設置することを想定しています。

エリアサイン模型
設置の様子



三の丸エリアの他プロジェクトと連携した取組み

三の丸APや各界隈のプロジェクトをきっかけとして、三の丸エリア内の他のプロジェクトと連携した取組みが生まれています。今後も積極的に他プロジェクトと連動し、新たな動きを生み出していきます。



外堀大通り（グリーンインフラ）

山と街の緑の循環を目指し、外堀大通りに地元材を使い土に還るベンチを設置しました。グリーンインフラから広がる社会課題への関心向上や啓蒙啓発を図りながらくつろぎ空間を生み出し、エリアビジョンに掲げる「南・西外堀／天守／北アルプスを一体的に望む特等席」の実現に寄与します。



天守・北アルプスを望む土に還るベンチ

文化振興（アーティストバンクまつもと）

日常的にアートが感じられる街を目指す中で、アーティストバンクまつもとと登録者の発表の場として各界隈のライブ企画と連携しました。



Riverside Bazaar coco soir (ココソワール) と連携したライブ

中央図書館・旧開智学校

まちなかにおける図書館の在り方を検討するシンポジウムの実施や連続トーク企画「ライブラリレーまつもと」の連携などを実施しました。



図書館シンポジウムの様子

旧開智学校のリニューアルオープンに合わせ、タカノバ、中央図書館、旧開智学校が連携して「国宝の架け橋リビング」を実施しました。

三の丸APや各界隈のプロジェクトをきっかけとして、三の丸エリア内の他のプロジェクトと連携した取組みが生まれています。



国宝の架け橋リビングの様子

パブリック・リレーションズの取組み

三の丸 CLEAN&MEETS [対面]

街の掃除とコーヒータイムをきっかけに、松本に関わる人と出会い、顔が見える繋がりをつくります。



三の丸おさんぽ & MEETS [対面]

街のおさんぽをきっかけに、街と人をより深く知り、顔が見える繋がりをつくります。



オフィシャルサイト [WEB]

各プロジェクトの詳細や三の丸APの組織体制、今後予定されているチャレンジやイベント等の情報を発信しています。



SNS [WEB : Instagram / X / Facebook]

各プロジェクトの進捗状況やチャレンジの告知・報告等の情報をメインに発信しています。



Web Page



Instagram

三の丸エリアへの関わりしろをつくる

三の丸エリアでの取組みをより持続的なものとしていくため、三の丸APや各プロジェクトの情報をわかりやすいかたちで可視化・発信しています。同時に、様々な人と三の丸エリアとの関わりしろを拓いて新たな担い手と繋がることを目指し、パブリック・リレーションズの取組みを進めています。幅広い層にアプローチするためWEB、紙面、対面など複数の媒体を設けているのでぜひ一度ご覧ください。

Magazine [WEB : note]

三の丸エリアにまつわる「ためになるお話」「注目のひと・もの・こと」など、誰かに語りたくなるテーマを掘り下げて伝える不定期のWEBマガジンです。

Journal [紙面]

毎月一回、三の丸APの情報を紙媒体で発行し、各町会に回覧しています。



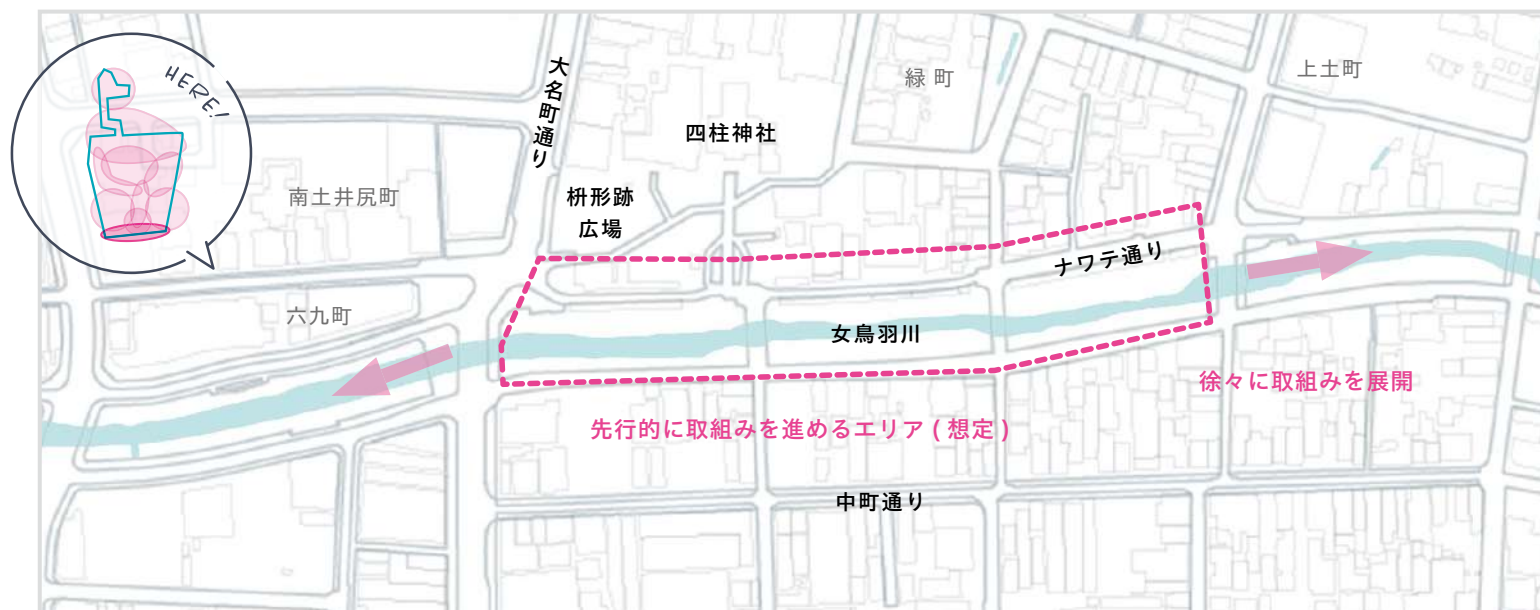
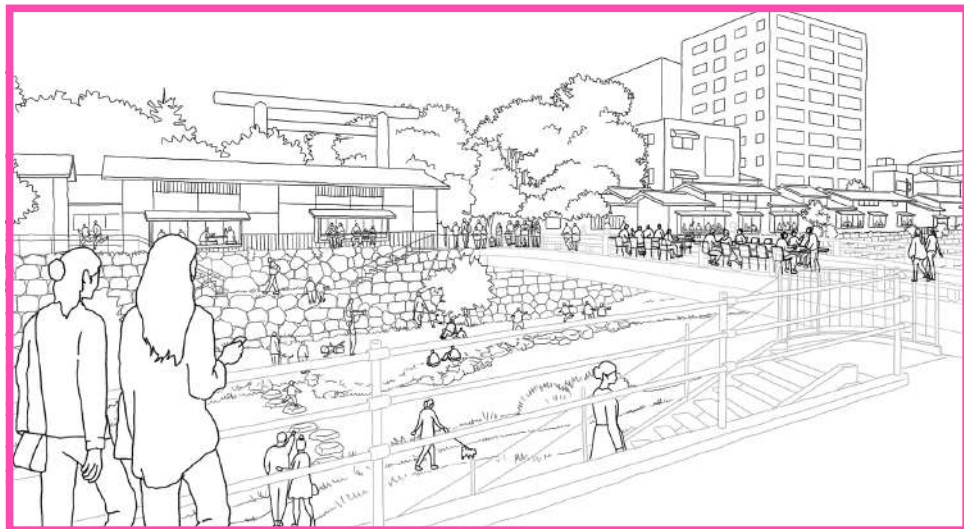
界限で取り組む
アクションプラン

取組方針

河川敷や橋、建物などで居心地良く滞在し、多様な表現活動を行える・体感できる環境づくりを促進する。

ナワテ通りや河川敷、橋などを自由に歩き回ることのできる仕掛け（魅力づくりと空間整備）をつくる。

水と緑の風景を守り、川辺を活かした活動を継続するため、草刈りなどの維持管理を持続的に行う体制を構築する。



1

女鳥羽川界限

これまでに生まれた新たなシーン

ビジョンの実現を目指した
社会実験から、
こんなシーンが生まれました



1

女鳥羽川界限

プロジェクトメンバー



リーダー

渡辺 匡太

(株式会社スイト)

皆さまのご協力本当にありがとうございます。これからも川をきれいに安全に維持しつつ楽しいイベントを増やしていきたいと思っています。

実施
主体プロジェクトの
想い

Metoba リバーサイドプロジェクト

2年間たくさんの方の協力のもと活動してきました。松本市の中心市街地を流れるきれいな女鳥羽川は、松本の財産であり、いままでもこれからも市民や松本を訪れる人達にとって、思い出の場所や松本の代表的な景色になればと思

っています。そんな女鳥羽川を、街の皆さんがいつでも歩けるように維持管理しながら、たくさんの人にとってお気に入りの場所で人々に語りたくなる風景であり続けてほしいと思います。



サブリーダー

クック 久美

(StoryhouseCafé & Bar/NawateGuesthouse)

プロジェクトに参加させていただきありがとうございます！

今後も地元の学校や企業と一緒に、お互いにとって有益な活動ができれば嬉しいです。

メンバー

伊藤 優司 (越中屋)

角田 輝久 (鳥富)

ポイヤークルトン (マウントデザートアイランドアイスクリーム)

河西 徳浩 (KeiundoDesign)

クック クリス (StoryhouseCafé & Bar)

薬師 寺麻記子 (ファミリーマルシェ)

木内 伸光 (翁堂)



Magazine
(インタビュー記事はこちら)

1 女鳥羽川界限

令和5-6年度社会実験実施概要(実績)

令和5-6年度社会実験実施スケジュール

毎週の草刈り、月1回の高校生との清掃活動により女鳥羽川の環境維持を行っています。その上で、川の自由使用を促すピクニックセットのレンタルやタープによる日陰の設置、また各種イベントによる女鳥羽川への関わりしろの拡大を図ってきました。加えて河川敷の維持管理の効率化と利用者の回遊性向上に寄与する渡渉ライン(橋・飛び石など)や階段の設置を目指し、仮設の橋・階段の社会実験も行いました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和5年度	川清掃(毎週) 高校生との清掃活動(月1回)					新麦音楽祭 9月24日 日 10:30-15:00	Metobaピクニックデイ・渡渉ライン設置 10月7日 土 9:00-19:00・8日 日 9:00-17:00					
令和6年度	川清掃(毎週) 高校生との清掃活動(月1回)	Metobaピクニックデイ 4月29日 月 祝 11:00-15:00		松本山雅との清掃・ピクニック 8月17日 土			Metobaピクニックデイ 10月27日 日 9:00-16:00	仮設階段設置 11月4日 月 祝 -6日 水				

Metoba リバーサイドプロジェクト

Metoba ピクニックデイ

Metoba Picnic Day

ピクニックセットのレンタルをします。中央の橋の両側にタープを設置し、自然のんびりピクニックできる環境を提供します。川に落ちる紙やワタ、ゴミの回収も実施します。雨天は中止です。ピクニックセットのレンタルは、事前予約が必要です。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。

2024 10.27 (Sun) 09:00-16:00

Metoba
ピクニックデイ

- 1 ピクニック撮影会
お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。
- 2 フォードアート
お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。
- 3 水のおもちゃのワークショップ
お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。
- 4 ピクニックセットのレンタル
お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。
- 5 Free ミニゲーム
お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。



1 女鳥羽川界限

令和5年度社会実験実施概要(実績)

令和5年度社会実験実施概要

①定期的に様々な人が川沿いを掃除できる機会やシステムを作る

- 毎週の川掃除、毎月のエクセラン高校生との清掃活動
- 草刈り機の購入やレンタルの検討：試運転や講習会の実施
- 定期的な奈良井川改良事務所との整備

②日常的な気軽なアクティビティの実施、座れるものと日陰の設置

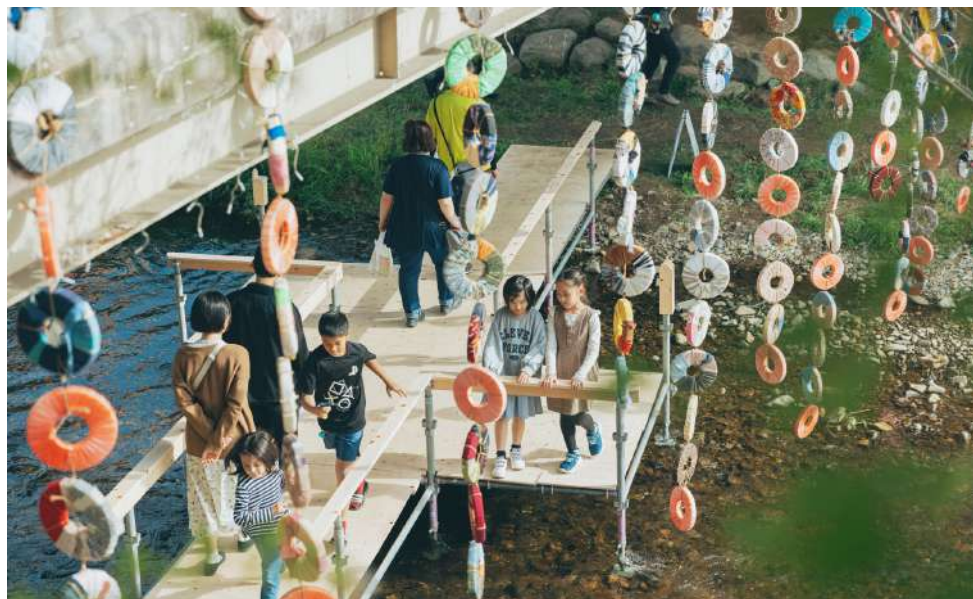
- レンタルを行うため、地元作家の作品を中心にピクニックセットを制作
- ピクニックセットのレンタルが可能なシステムの構築
- 誰もが日常的に使えるような日陰の設置
- 幸橋下に仮設の渡渉ライン(橋)を設置

「Metoba ピクニックデイ」@女鳥羽川河川敷(千歳橋～ツ橋)

令和5年10月7日(土) 9:00-19:00・8日(日) 9:00-17:00

③川沿いを利用した非日常的なイベントの企画、開催

- 既存イベントや新しいイベントの誘致
- 新麦音楽祭の実施



Before →



After



令和5年度社会実験効果検証結果

「Metobaピクニックデイ」▶令和5年10月7日(土) 9:00-19:00・8日(日) 9:00-17:00

@ 女鳥羽川河川敷(千歳橋～ツツ橋)

●効果検証総括

何気ない日々の暮らしを楽しむ

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

アクティビティ総数は従前から約5-11倍に増加し、「満足・やや満足」「また利用したい」がいずれも8割を超える高評価でした。

実施日	令和5年10月7日(土) 9:00-19:00	令和5年10月8日(日) 9:00-17:00	従前調査 令和5年7月15日(土) 8:00-20:00
天気 最高気温/最低気温	曇りのち晴 20.2/8.3	曇りのち雨 20.2/8.3	晴 30.2/17.1
アクティビティ 総数	687 (15回計測・410名)	282 (11回計測・192名)	62 (13回計測・47名)
利用者 アンケート	「満足」「やや満足」 98% 「また利用したい」 93% (n=42)	「満足」「やや満足」 88% 「また利用したい」 92% (n=48)	—

●仮設橋の利用状況調査

お気に入りの居場所がある

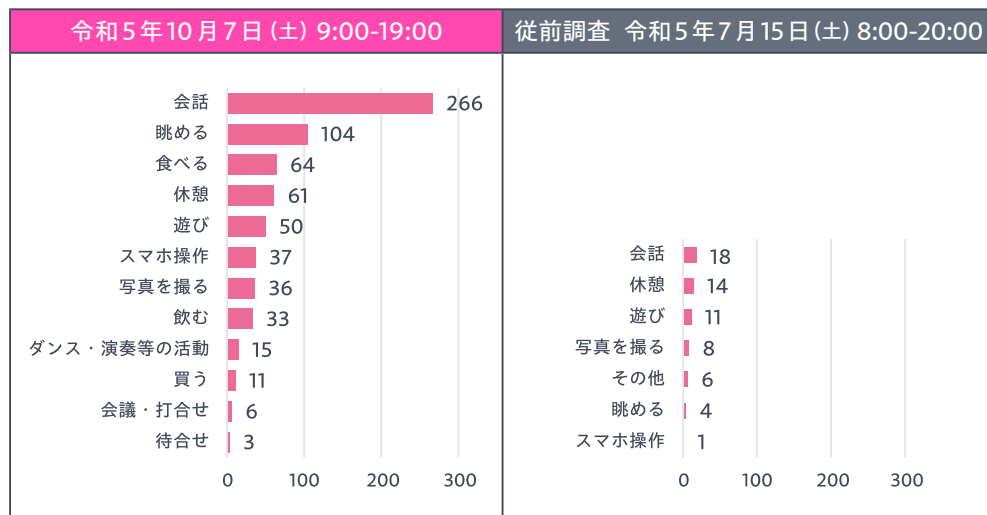
渡渉ラインとして仮設の橋を設置した結果、2日間で延べ約2,400名の通行が見られ、利用者ニーズがあることが分かりました。また、最長滞留時間は50分であり、設えによっては滞在場所としても機能しうることが分かりました。

実施日		令和5年10月7日(土) 9:00-19:00	令和5年10月8日(日) 9:00-17:00	2日間合計
橋通行者数(人)	北→南	955	473	1,428
	南→北	683	318	1,001
	合計	1,638	791	2,429
	1時間平均	164	99	243
橋滞在者数(人)		146	97	243
総滞留時間		4時間25分	23時間24分	27時間49分
平均滞留時間		1分	14分	7分
最長滞留時間		15分	50分	—

●アクティビティ調査

お気に入りの居場所がある

従前より多くのアクティビティが生まれ、食べる/飲む/買うなど従前見られなかったアクティビティも見られました。



●利用者アンケート調査：利用者の声

一年中橋があったら良い

水辺が近いのは、橋の上からとまた違った景色や見え方があって楽しい

河川敷散歩が子供たちと楽しめて最高でした!!

(橋で)子どもたちが喜んで何往復もしてました。川沿いの上の道路は車通りも激しく子連れだといつも恐る恐るなので河川敷にこういうルートがあると本当に助かります! 常設希望!!!!

タープの下で近くのカフェでコーヒーとマフィンを買って休憩させてもらいました。椅子もあって川のせせらぎも聞こえてとても良い空間でした♡

水の音と日影があってよい、椅子があるのがうれしいが使ってよいのかどうかわかる

自然を身近に感じられた

1 女鳥羽川界限

令和6年度社会実験実施概要(実績)

令和6年度社会実験実施概要

①定期的に様々な人が川沿いを掃除できる機会やシステムを作る

- 毎月の高校生との清掃活動／草刈り・ゴミ拾いイベント
- 株式会社松本山雅との清掃活動
- 草刈り機の購入
- 定期的な奈良井川改良事務所との整備

仮設階段設置@中の橋・一ツ橋 令和6年11月4日(月)~6日(水)

②日常的な気軽なアクティビティの実施、座れるものと日陰の設置

- ピクニックセットレンタルのパンフレット作成、掲示(レンタル数実績:8件)
- 年3回のピクニックイベントの開催

「Metoba ピクニックデイ」@女鳥羽川河川敷(中の橋〜一ツ橋)

令和6年10月27日(土) 9:00-16:00

③川沿いを利用した非日常的なイベントの企画、開催

- 既存イベントや新しいイベントの誘致
- ファミリーマルシェの実施(雨天により中止)



令和6年度社会実験効果検証結果

「Metobaピクニックデイ」▶令和6年10月27日^土 9:00-16:00 @ 女鳥羽川河川敷
(中の橋～ツツ橋)

●効果検証総括

何気ない日々の暮らしを楽しむ

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

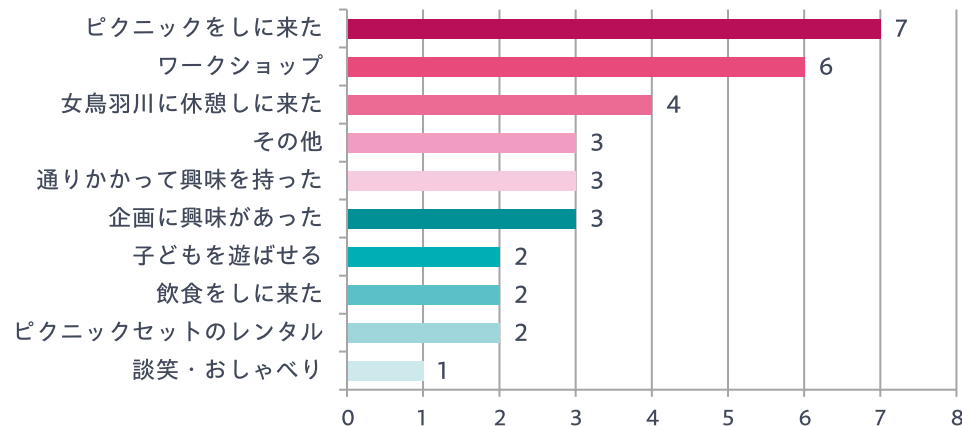
アクティビティ総数は従前から約15倍に増加し、「満足・やや満足」「また利用したい」「誰かに語りたい」がいずれも7割を超える高評価でした。

実施日	令和6年10月27日(土) 9:00-16:00	従前調査 令和5年7月15日(土) 8:00-20:00
天気 最高気温/最低気温	曇り 24.0/10.5	晴 30.2/17.1
アクティビティ 総数	148 (7回計測・103名)	10 (13回計測・10名)
利用者 アンケート (n=22)	「満足」「やや満足」 91% 「また利用したい」 77% 「誰かに語りたい」 86%	—

●利用者アンケート調査：なぜMetobaピクニックデイに来ましたか

お気に入りの居場所がある

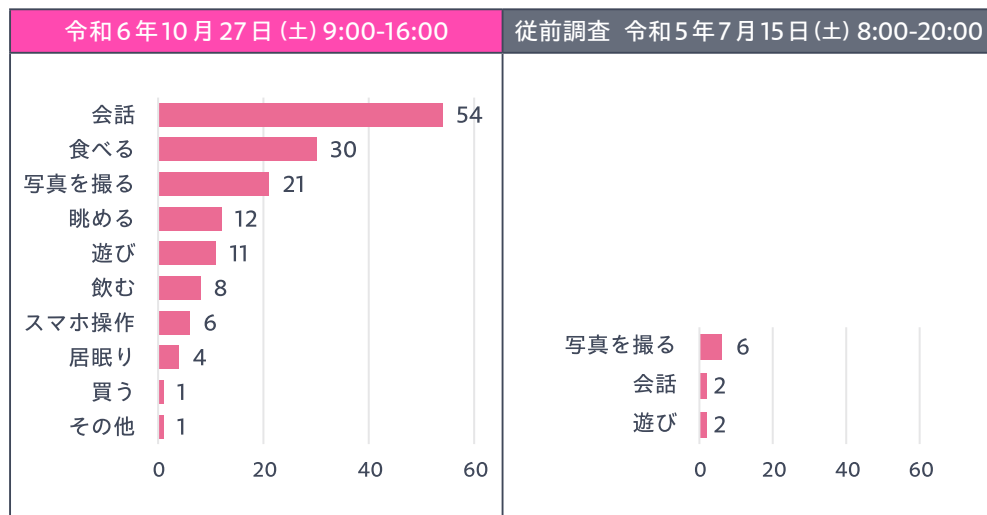
企画(ピクニック、ワークショップ)を目的に来た人が多く、休憩しに来た人も多く見られました。通りかかって興味を持って来た人も一定数見られました。



●アクティビティ調査

お気に入りの居場所がある

従前より多くのアクティビティが生まれ、食べる／眺める／飲む／買うなど従前見られなかったアクティビティも見られました。



●利用者アンケート調査：利用者の声

休日の過ごし方として良い

川を眺めながらタープの下でゆっくりしたり、子供と散歩するにも楽しい場所だった

外でゆっくりできる。
イオンモールより開放感がある

橋や階段があったら利用したかった

普段ピクニックは公園にお弁当を持っていくが多かったので川沿いでお弁当を買ってできるのは良いと思った

素敵なお店やそのお店の方が親切でまた来たいと思わせてくれました

1 女鳥羽川界限

令和7年度以降の具体的なアクション概要

1. 実現したい「誰かに語りたくなる暮らし」のシーン

- ①地元の老若男女が気軽に利用できる環境（座って寛げる場所）があるシーン
- ②暮らす人と訪れる人が自然と街を楽しむシーン
- ③地球や環境に優しい地元ならではの習慣があるシーン

2. プロジェクトの内容

①川沿いを整備し、いつでも利用できる状態に保つ

月1回の高校生との清掃活動、地元企業との清掃活動
気軽に参加できる草刈り・ゴミ拾いイベント開催

②川沿いの日常利用の促進

ピクニックセットレンタル（連携店舗の拡大やフリー利用の検討）

河川敷で誰でも気軽にアクティビティができることを引き続き周知

③奈良井川改良事務所・松本建設事務所と連携した河川環境整備

持続的な維持管理と市民・来街者の回遊性創出のための渡渉ラインと階段の設置

④川沿いを利用した非日常的なイベントの企画、開催

将来的には日常になるようなイベントの企画・開催

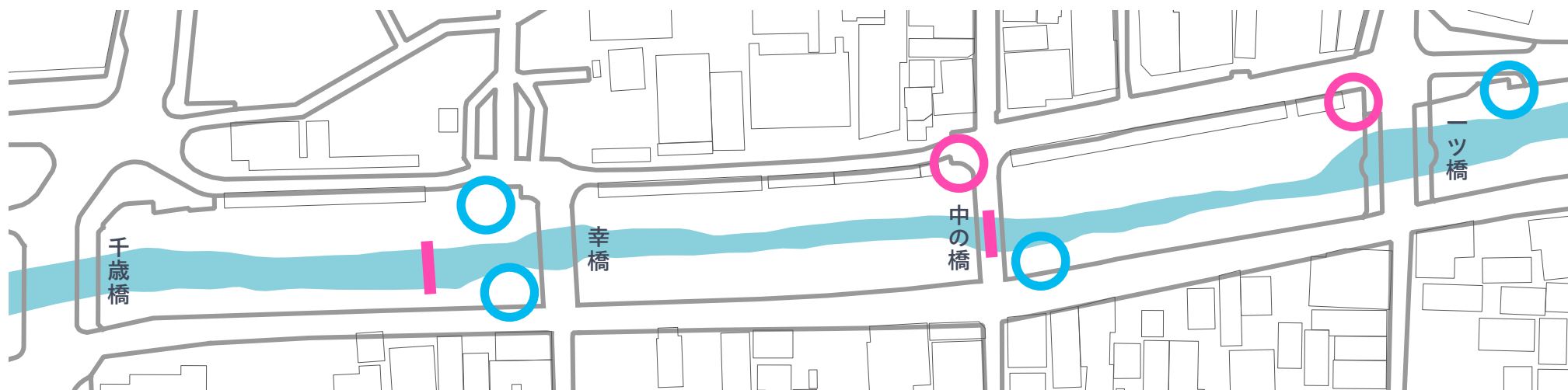
河川の維持管理への関わりしる拡大へ



3. ハード整備／空間改變のイメージ

清掃活動の効率化、左岸・右岸、ナワテ通りと河川敷を行き来する回遊促進に向けて、階段と渡渉ラインの常設化を目指します。

渡渉ライン設置位置案 階段設置位置案 既存階段位置



渡渉ラインイメージ (山口県長門湯本温泉)



清掃活動の効率化、左岸・右岸の回遊促進が見込まれる場所に、自然に溶け込むかたちで設置したい

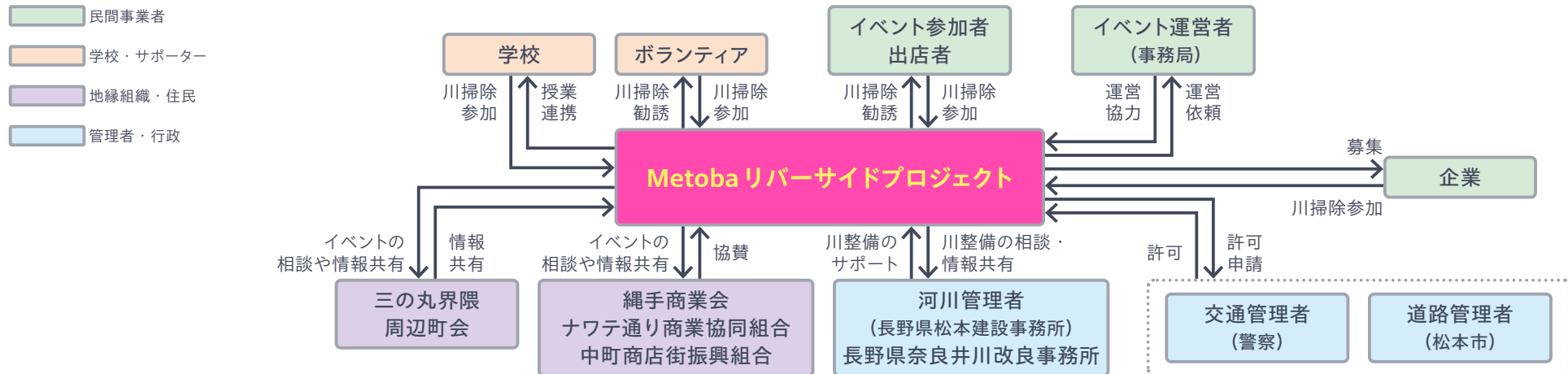
階段イメージ (令和6年度社会実験時)



刈った草の搬出時の効率化に加え、ナワテ通りから河川敷へ下りて女鳥羽川に親しめるよう設置したい

4. 実施体制図／ロードマップ

令和7年度以降、下記の体制とロードマップを描きアクションを進めていきます。



	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027年)	令和10年度 (2028年)	令和11年度 (2029年)
①整備された川沿いで、いつでも利用できる状態に保つ	毎月の高校生との清掃活動 気軽に参加できる草刈り・ゴミ拾いイベント開催 奈良井川改良事務所と連携した定期的な整備				
②川沿いの日常利用の促進	ピクニックセットレンタルの継続実施				
ピクニックセットレンタル	コアメンバー集め・仕組みづくり	店舗拡大			
河川敷で誰でも気軽にアクティビティができることを周知	河川敷・ナワテ通りに看板の設置				
年2回のピクニックイベント開催					
③奈良井川改良事務所・松本建設事務所と連携した河川環境整備	渡渉ライン設置・階段設置検討				
④川沿いを利用した非日常的イベントの企画、開催	将来的には日常になるようなイベントの企画・開催				
	ウォーターフロント構想の検討の場の立ち上げ・検討開始 (※p39-41参照)	構想作成 関係者合意形成	日常化に向けた行政手続き等	定常的な河川活用開始	

取組方針

河川敷や橋、建物などで居心地良く滞在し、多様な表現活動を行える・体感できる環境づくりを促進する。

ナワテ通りや河川敷、橋などを自由に歩き回ることのできる仕掛け（魅力づくりと空間整備）をつくる。

水と緑の風景を守り、川辺を活かした活動を継続するため、草刈りなどの維持管理を持続的に行う体制を構築する。



2 松本城大手門跡界限

これまでに生まれた新たなシーン

ビジョンの実現を目指した
社会実験から、
こんなシーンが生まれました



2

松本城大手門跡界限

プロジェクトメンバー

実施
主体プロ
ジェ
クト
の
想
い

六九通り周辺の公共空間・空き店舗等利用検討会

アーケードがあった頃の印象が強いため、その撤去後は通行のための道路となっていた面が強く、商店街として対策が必要でした。一方でクラフトフェアからの流れで、個性的な店舗が徐々に増えてきていたこともあり、街の変革の時期でした。この流れは六九通りだけに限らず、大手門界限に関わる西堀や今町も同様でした。これらの流れが現代の日常に合った街になることを目指しました。

まずは六九を主体に置き、春の工藝祭、秋の古本市を人が集まるイベントとし、公共空間である女鳥羽川を「楽しめる場所」として演出しました。

その集大成が、2024年7月に開催したココソワールです。これで夏にも場所を楽しむイベントが出来上がり、楽しめる場所としての印象を確立できたと思います。今後は、通りや町会の枠を超え、女鳥羽川と道路を有効活用して、より楽しい場所を創生していきます。

リーダー

伊藤慶

(株式会社紙館島勇)



Magazine
(インタビュー記事はこちら)

工藝祭と古本市はもともと六九で行っていたコンテンツで、購入が主体であったのに対して、ココソワールは女鳥羽川という「場」を利用するイベント。それを新たに始められたのは大きな進化です。

今後はより六九を楽しめる演出、そしてその演出をしてみたいと思う人材が集まりやすい環境を作りたいです。

モチーフがあった古本市、工藝祭の運営とは別に全く新しいイベント、ココソワールを運営できた経験がとても大きな変化だと感じます。

カウンターは日常化に向けて簡単に設置できるようにデザインすることができたので、それを思い立った瞬間に使える町になれば最高です。

メンバー

細川良 (gram hair works)

山田照久 (monbus)

酒井三郎 (BAR & GRILL BURGER CHOP)

仁部信太郎 (日日)

サブリーダー

前田大作

(アトリエ・エムフォオ株式会社)

六九通り周辺は、昨今新しい店舗の出店が相次ぎ、また問い合わせも増えています。これは六九通りのもつ独特な雰囲気の魅力を感じる方が増えているとともに、ここ数年の六九工藝祭や建築芸術祭などのイベントで限定的に空き店舗が活用されていることで可能性を示すきっかけができているためかと思われます。空き店舗活用は所有者様や近隣の方との関係性などもあり簡単に進むことはありませんが、これからも地域の歴史を体現できる街並みをつくる資産として捉えて可能性の模索に取り組みたいと思います。

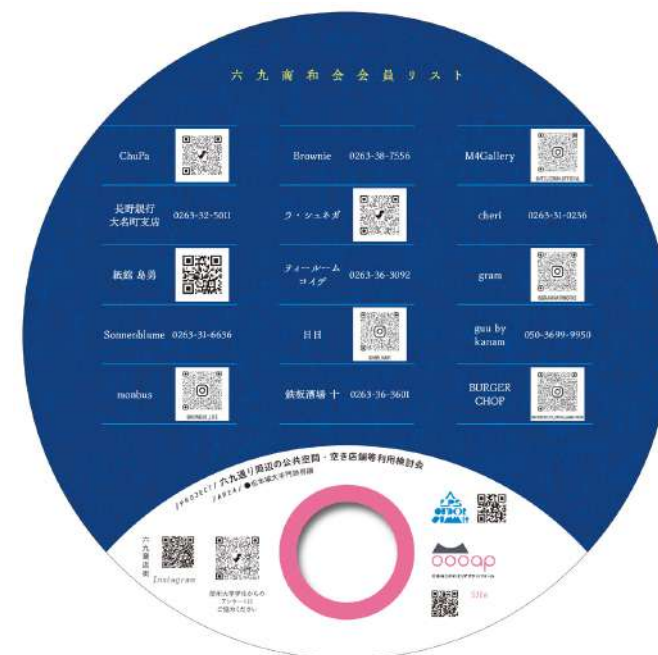
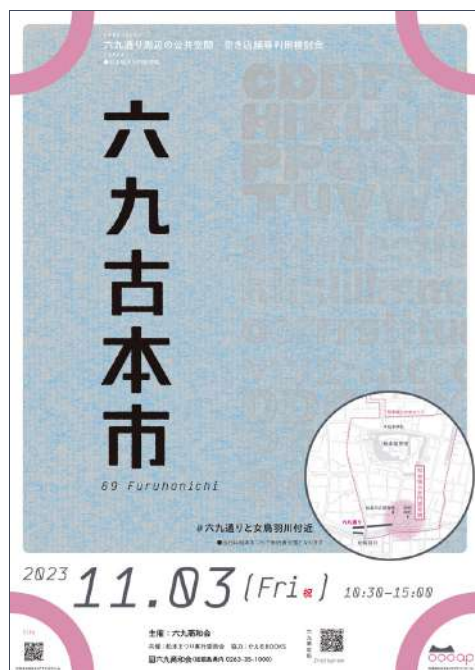
② 松本城大手門跡界限

令和5-6年度社会実験実施概要(実績)

令和5-6年度社会実験実施スケジュール

そぞろ歩きしながら六九界限の個性的な店舗を楽しめる環境づくりとして、毎週土曜日に女鳥羽川沿い道路を交通規制して歩行者天国化することを目指し、既存イベントである六九工芸祭や古本市の際に通りの歩行者天国化を試行してきました。また、ココソワールという新たなイベントを立ち上げ、歩行者天国化した女鳥羽川沿い道路と河川敷を活用した新たな風景も作り出しました。これらを通じて、六九界限の個性をより強め、点在する空き店舗に新たな明かりを灯すことへと繋げていきます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和5年度		六九工芸祭 5月27日(土)・28日(日) 11:00-17:00						六九古本市 11月3日(金) 10:30-15:00				
令和6年度		六九工芸祭 5月25日(土)・26日(日) 11:00-17:00		Riverside Bazaar coco soir (ココソワール) 7月27日(土) 15:00-21:00				六九古本市 11月3日(金) 10:30-15:00				



2 松本城大手門跡界限

令和5年度社会実験実施概要(実績)

令和5年度社会実験実施概要

①六九通りの歩行者天国化：5月六九工芸祭

- 「六九工芸祭」に合わせた六九通りの歩行者天国化、滞留空間設置・出店等による活用
- パラソルベンチの製作

六九工芸祭@六九通りなど 5月27日(土)・28日(日) 11:00-17:00



②六九通り・女鳥羽川沿いの歩行者天国化：11月六九古本市

- 「六九古本市」に合わせた六九通り、女鳥羽川沿い道路の歩行者天国化、滞留空間設置・出店等による活用

六九古本市@六九通り・女鳥羽川沿い道路 11月3日(金) 10:30-15:00



●効果検証総括

何気ない日々の暮らしを楽しむ

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

アクティビティ総数は従前から約100倍に増加し、「満足・やや満足」「また利用したい」「心地よく歩けた」がいずれも8割を超える高評価でした。歩行者通行量も従前の約4-5倍程度に増加しました。

実施日	令和5年11月3日(金・祝) 10:30-15:00	従前調査 令和5年7月15日(土) 8:00-20:00
天気 最高気温/最低気温	晴 26.3/5.8	晴 30.2/17.1
アクティビティ 総数	410 (10回計測・299名)	4 (13回計測・4名)
利用者 アンケート (n=58)	「満足」「やや満足」86% 「また利用したい」95% 「心地よく歩けた」100%	—
歩行者通行量	六九通り：1,818人 女鳥羽川沿い道路：911人 (10:30-15:00)	六九通り：359人 女鳥羽川沿い道：237人 (10:30-15:00)

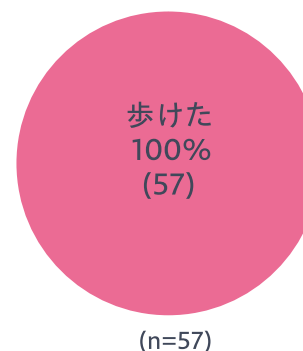
●利用者アンケート調査

何気ない日々の暮らしを楽しむ

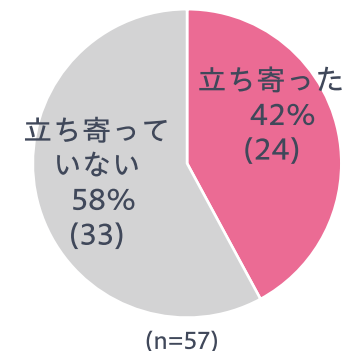
お気に入りの居場所がある

会場内を100%の人が心地よく安心して歩けたという結果で、歩行者天国化することの効果に分かりました。また、42%が沿道店舗に立ち寄り、六九古本市による沿道店舗への相乗効果があったと言えます。

Q. 会場内は心地よく安心して歩けましたか？



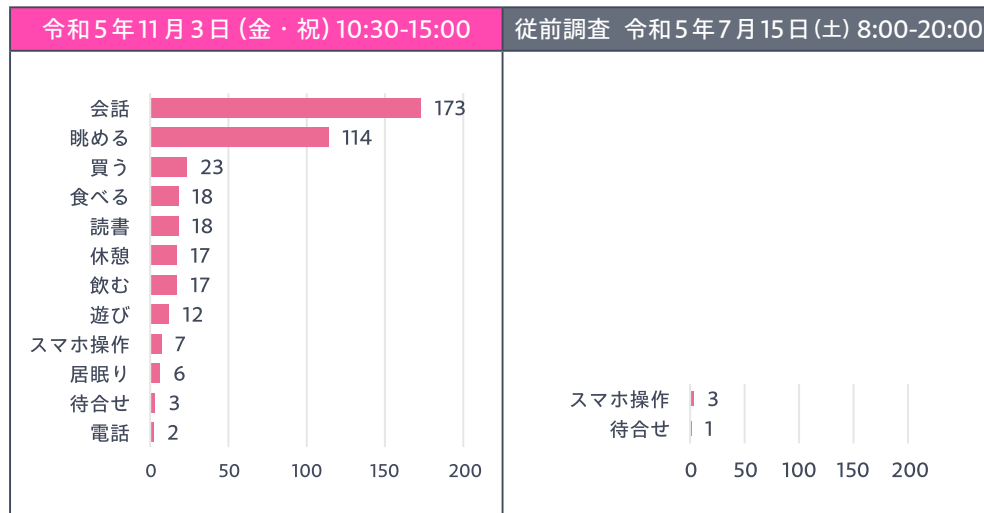
Q. 六九界隈の沿道のお店に立ち寄りましたか？



●アクティビティ調査

お気に入りの居場所がある

従前に比べアクティビティの種類・数ともに増加し、特に会話／眺めるが多く見られ、交流や商品・お店を眺めるシーンが生まれたことが分かりました。



●利用者アンケート調査：利用者の声

歩行者天国になっていて安心

座る場所があったり、ゆったり(人通りがそこそこあり)すごせる

ほっとできる通りで、普段のぞきづらい店に入れた

こういう機会で見られたいものが見られた。お店の人とお話ししたりするのが楽しい

老舗のお店に入ることができた。お店の方との会話で実店舗のお話とかできた

こういう天気の良い日に沿道のお店がもっと開いて有効利用されていればもっと楽しめる場所だと思います

② 松本城大手門跡界限

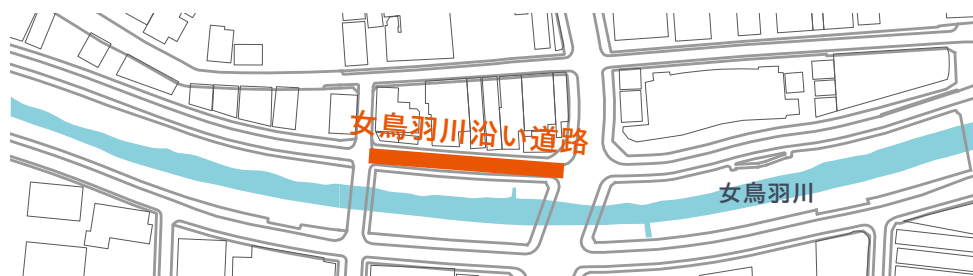
令和6年度社会実験実施概要(実績)

令和6年度社会実験実施概要

① 女鳥羽川沿い道路の歩行者天国化+河川敷活用

- 市道1502号線を白翁稲荷神社付近からmonbus付近まで歩行者天国化
滞留空間設置・出店等による活用
- 川沿いの手すりに仮設カウンターを設置
- 河川敷にて音楽ライブの実施
- 河川敷を六九からナワテ通り側までライトアップ

Riverside Bazaar coco soir (ココソワール) @女鳥羽川沿い道路・女鳥羽川河川敷
7月27日(土) 15:00-21:00



② 六九通りの歩行者天国化

- 「六九工藝祭」「六九古本市」に合わせた六九通りの歩行者天国化、
滞留空間設置・出店等による活用

六九工藝祭@六九通りなど 5月25日(土)・26日(日) 11:00-17:00

六九古本市@六九通り・女鳥羽川沿い道路 11月3日(日) 10:30-15:00



令和6年度社会実験効果検証結果

「Riverside Bazaar coco soir (ココソワール)」▶令和6年7月27日Ⓜ 15:00-21:00
(歩行者天国：14:00-22:00) @女鳥羽川沿い道路・女鳥羽川河川敷

●効果検証総括

何気ない日々の暮らしを楽しむ

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

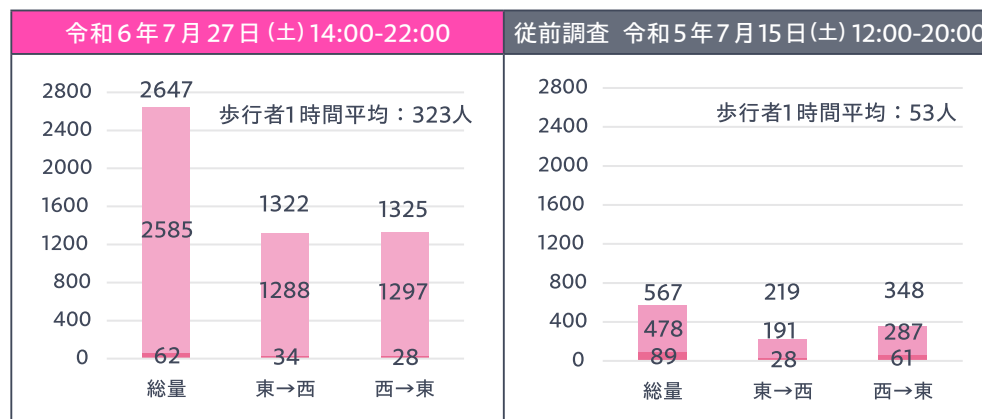
アクティビティ総数は従前から約125倍に増加し、「満足・やや満足」「また来たい」「心地よく歩けた」がいずれも9割を超える高評価でした。歩行者通行量は5倍以上増加しました。

実施日	令和6年7月27日(土) 14:00-22:00	従前調査 令和5年7月15日(土) 8:00-20:00
天気 最高気温/最低気温	晴 34.6/21.1	晴 30.2/17.1
アクティビティ 総数	510 (6回計測・346名)	4 (13回計測・4名)
利用者 アンケート (n=59)	「満足」「やや満足」：98% 「また来たい」：100% 「心地よく歩けた」：100%	—
歩行者通行量	2,585人 (14:00-22:00)	478人 (12:00-20:00)

●歩行者・自転車通行量調査

お気に入りの居場所がある

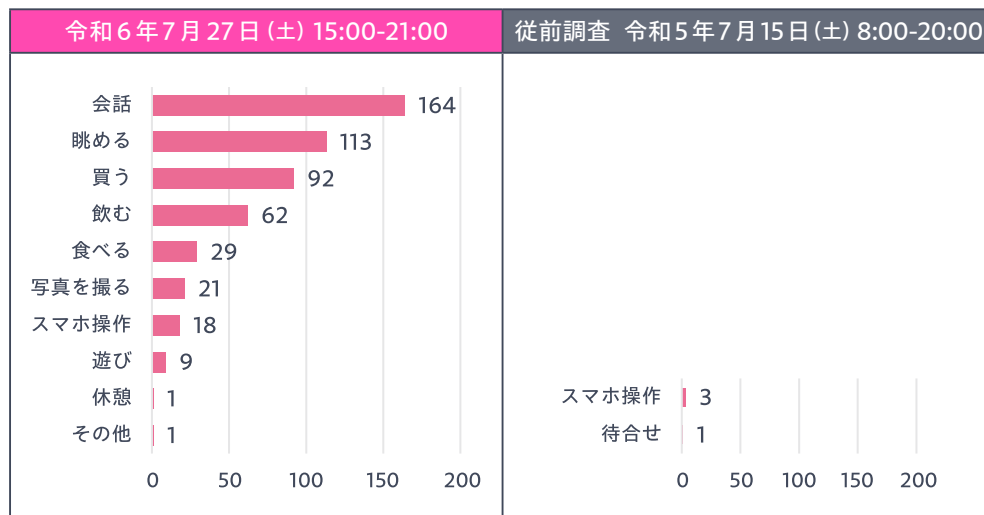
会場である歩行者天国区間の道路の歩行者数は2,585人で、従前と比べて5倍以上増加しました。西から東への通行量と東から西への通行量はほぼ同数でした。また、事故等なく歩行者天国を実施することができました。



●アクティビティ調査

お気に入りの居場所がある

従前に比べ、アクティビティの種類・数ともに増加し、特に会話や音楽演奏等を眺める、飲食のシーンが生まれたことが分かりました。



●利用者アンケート調査：利用者の声

川沿いのカウンターが良い

良いお店が多い、河川敷に降りるきっかけとなった

ずっと続けてほしい企画です!

飲食以外の弾き語りなどまたやってほしい。川を挟んでというのも良い

ランタン、提灯、川のライトなどに感動。テントがおしゃれ。いい空間!

夜の歩行者天国はうれしい

ゆっくり歩けたので良かった

席があるとよい。(少しで良いので)

② 松本城大手門跡界限

令和7年度以降の具体的なアクション概要

1. 実現したい「誰かに語りたくなる暮らし」のシーン

何もない日に足が向く、通りと川辺に憩うまち。

①毎週土曜日(仮)は、“六九リバーサイドテラス(仮称)”

心地よい川沿いの空間が歩行者天国に。リバーサイドカウンター、リバーサイドベンチでくつろぐひととき。

②7月の夕暮れ、リバーサイドバザール「ココソワール」

令和6年度に始まったバザール。新しい松本の夏のウォーターフロントイベント。

③秋には、六九古本市。初夏には、六九工芸祭。

2. プロジェクトの内容

①毎週土曜日：女鳥羽川沿い道路の歩行者天国化(時間帯交通規制)

- 女鳥羽川沿い道路(市道1502号線：白翁稻荷神社付近からmonbus付近まで)を毎週土曜日に歩行者天国化
- ベンチやカウンター、沿道店舗のテラス席等の滞留空間設置、設置時にはイベントとしても活用

②松本を代表するウォーターフロントの創出

- 河川敷の活用、川を使ったアクティビティの促進、カウンターや照明等の設置、定期的な維持管理により象徴的なウォーターフロントを創出

③イベントのサポート

- 5月末開催の六九工芸祭／7月末開催のココソワール／11月頃開催の六九古本市等のサポート

④空き家・空き店舗活用

- 六九工芸祭等のイベントの際に、空き家・空き店舗を暫定活用
- 土地・建物オーナーとの関係性構築

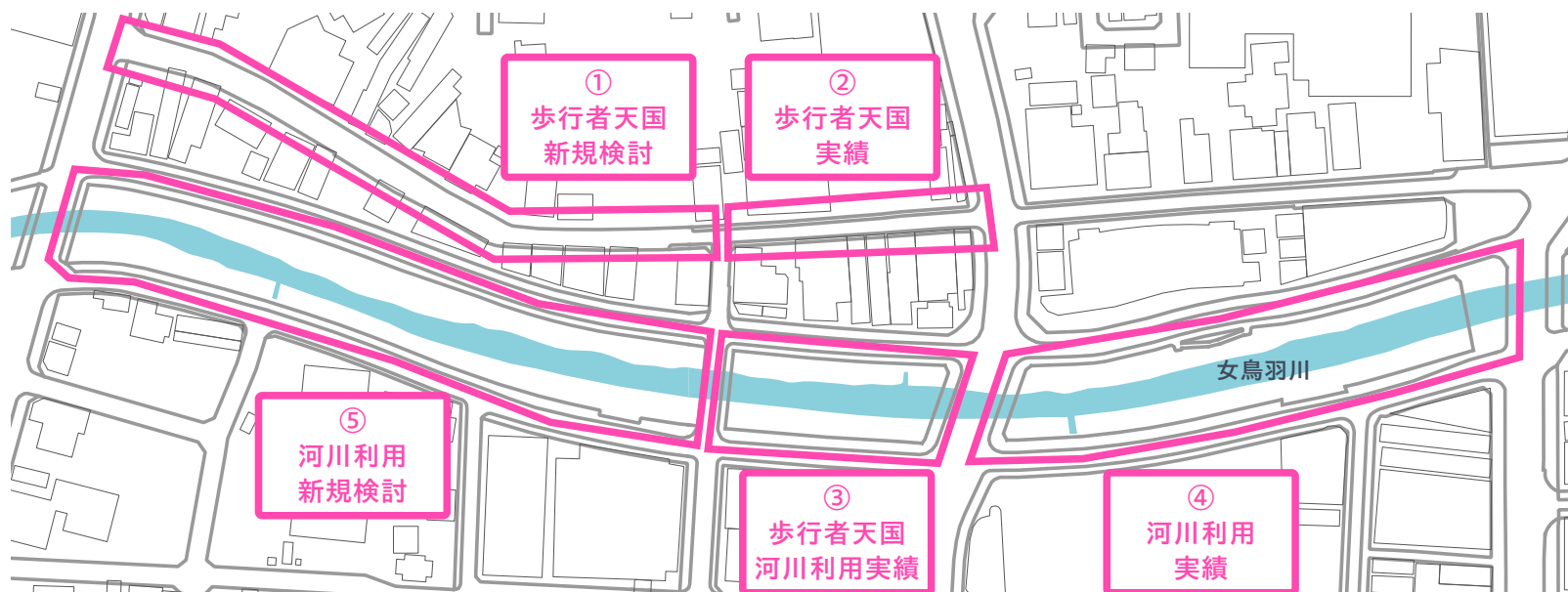


3. ハード整備／空間改變のイメージ



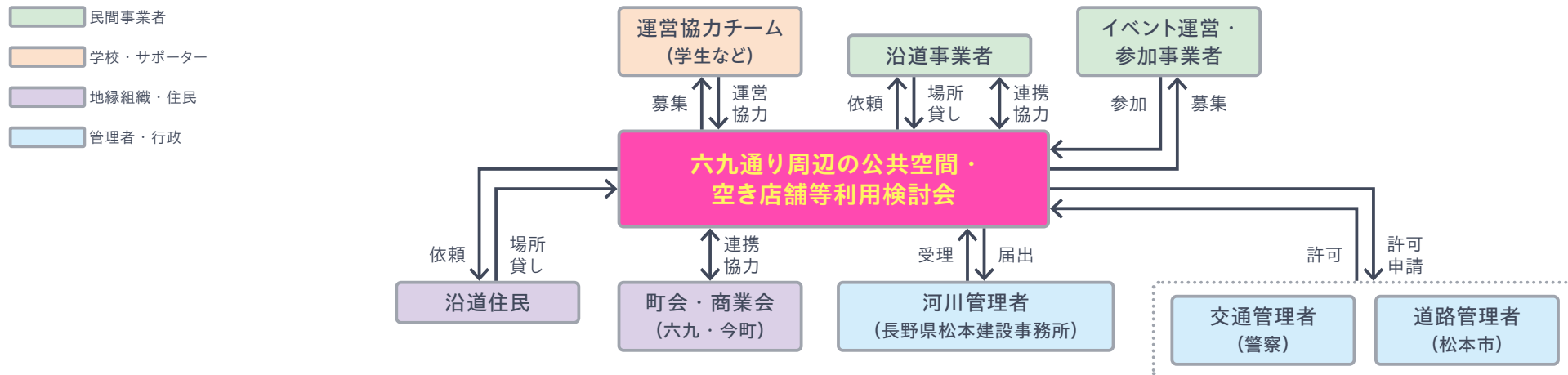
六九通りの南を流れる女鳥羽川の沿道は、美しい川の流れや西に広がる空の景色が素晴らしいロケーションです。そこに歩いている人がゆっくりが滞在するような場所をデザインできれば、松本に類を見ない広々としたウォーターフロントになるのではないかと。私たちはそう考え、実験的に歩行者天国を実施したり、ベンチなどのパブリックファニチャーを設置してその効果を確認してきました。その結果大きな可能性を感じ、今後川を眺めるカウンターデザインのブラッシュアップや増設などを検討していきたいと思っています。フードや物販の店や沿道店舗の参加が増え、賑わいが増していくことを期待しています。

下記写真のテーブルは、女鳥羽川と六九を区切っていた河川フェンスに木製テーブルを設置することで、分かれていた空間を繋ぐのが狙いです。テーブルがあることで下にある川辺に目が行き、見上げれば美しい夕日や夕闇を楽しめ、横を振り返れば个性的なお店が立ち並び、木製テーブルはこの場所でしか作れない演出に重要なアイテムとなります。



4. 実施体制図／ロードマップ

令和7年度以降、下記の体制とロードマップを描きアクションを進めていきます。



	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027年)	令和10年度 (2028年)	令和11年度 (2029年)
①毎週土曜日：女鳥羽川沿い道路の歩行者天国化	町会での意見収集、分析、検討、合意形成 活用内容、運営体制検討 警察協議、公安委員会要望	警察・公安委員会協議	標識設置され次第 歩行者天国化実施	歩行者天国化実施	
②松本を代表するウォーターフロントの創出	ウォーターフロント構想の検討の場の立ち上げ、検討開始	構想作成 関係者合意形成	日常化に向けた行政手続き等	定常的な河川活用開始	
③イベントのサポート	運営協力チームのメンバー募集・体制構築	運営協力チーム主体でのイベント開催			
④空き家・空き店舗活用	暫定活用実績の積み上げ 行政・民間不動産等との意見交換	オーナーとの交渉等 行政・民間不動産等との意見交換	空き家・空き店舗情報公開、活用事業者募集のあり方等検討	定常的な活用実施	

3 大名町境界

大名町通り・外堀大通り南側
歩道(紫陽花北側)・枅形跡広場

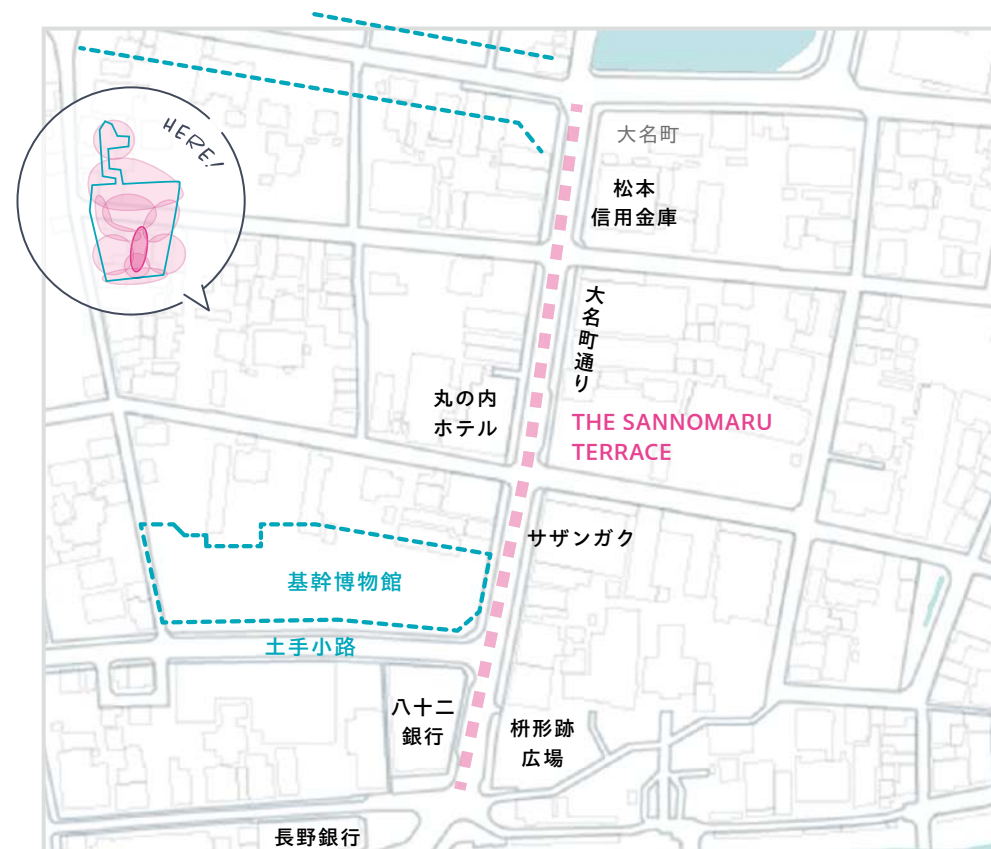
エリアビジョンの内容



VISION

境界の魅力が滲み出す

“人中心のシンボルロード”



取組方針

沿道機能(建物の低層部の用途)の滲み出しが通りを歩く人にとっての魅力となる環境をつくる。

公民連携により、地元主体の持続可能な街路沿道の活用と運営を推進する仕組みを構築する。

沿道建物低層部へのサービス用途誘導や道路のフルフラット化、道路と沿道建物の一体的なデザインなどの検討を行い、中長期的に人を中心とした道路空間への再編を進める。



3 大名町界限

これまでに生まれた新たなシーン

ビジョンの実現を目指した
社会実験から、
こんなシーンが生まれました



「誰かに語りたくなる暮らし」を合言葉に、松本城・三の丸倶楽部を主体とし、近隣住民や大名町町会の皆様と共に2年間活動してきました。今まで培ってきた経験や知識、繋がりを活かして取り組んだこの2年間の成果は、大名町を新しいステージへ導いたと思います。

今後、大名町通りは道路の再整備を経て大き

く生まれ変わります。国宝・松本城天守への登城道として、歴史や伝統を感じられる街並みを目指し、今後はプロジェクトメンバーだけではなく、今まで以上に近隣住民や大名町町会との一体化を図り、連携しながらこの街の未来を描いていきたいと思っています。



リーダー

神澤佑樹

(ホーユウ有限会社)



Magazine

(インタビュー記事はこちら)

この2年間で大名町は大きな転換期を迎えました。その中で、これまでの経験を活かし取り組めたことは、今後の街づくりに大きく寄与できると考えています。

これからは、地域のアイデンティティを強化し、住民・観光客ともに愛される街づくりに取り組んでいきたいと思っています。



サブリーダー

大宮康宣

(株式会社田立屋)

この2年間3つの界限で社会実験を行ったことで、街の賑わいや、憩いの場ができたと感じています。

実施の際に、楽しんでくださる一般の方のお声が励みになりました。日常的に街の賑わいや憩いの場を創造したい思いの中、継続的な運営ができるようにすることが課題と感じてます。今後、担当する界限の中だけでなく、街に関心のある外部協力をいただける体制になればと思っています。

メンバー

齋藤忠政 (扉ホールディングス株式会社)

上原秀 (北野建設株式会社)

橘由紀 (ホーユウ有限会社)

長谷川幸代 (紫陽花)

福澤崇浩 (三代澤酒店)

植田幸恵 (植田鯉節店)

大宮小依 (株式会社田立屋)

山田智之 (松本信用金庫)

出井健太郎 (百老亭)

3 大名町界隈
令和5-6年度社会実

令和5-6年度社会実験実施概要(実績)

令和5-6年度社会実験実施スケジュール

コロナ禍より継続して取り組んでいる大名町通りの歩道を活用した滞留空間創出をベースとしながら、枅形跡広場での滞留空間化や外堀大通りでの交流の場の創出に取り組んできました。今後は、令和10年頃竣工予定の大名町通りの再整備と並行して、大名町通りの活用に関する内容・組織体制・仕組み等の検討を進めて取り組んでいきます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和5年度	滞留空間創出 (大名町通り) 三のマルシェ (外堀大通り) 4月1日土12:00-21:00 三のマルシェ (外堀大通り) 9月16日土・17日日10:00-16:00 三のマルシェ (外堀大通り) 10月7日土・8日日10:00-16:00 ICE・BAR 三の丸 (外堀大通り) 1月27日土16:00-22:00											
令和6年度	滞留空間創出 (大名町通り) 桜BAR 三の丸 4月6日土・7日日・13日土・14日日11:00-16:00 滞留空間創出 (柗形跡広場) 社会実験の実践・検証協力 (大名町通り)											

桜 THE SANNOMARU TERRACE

＊ 桜雪丸 三の丸 ＊

2023年4月1日(土)
12:00頃～21:00 場所/松本城交差点付近・大町通り



桜でござる!

大町通りの
各お店では
春のメニューを
味わえます



SAKAGUCHI STATION
あざさい
Cofieldo
noyie
cafe nolya
cafe The GATE





の丸・倶楽部
club@sannomaru.jp
<https://www.facebook.com/clubsannomaru/>

※営業時間は各店によって異なります

の丸・倶楽部

光と氷の ICE-BAR 三の丸

松本城・三の丸南側 × 大町イルミネーション
and 国史松本城参事フィスティアム2024

Enjoy Cold Night!

さくらさきのトンネル…美しい冬の暗闇に…
 …国史松本城天守プロテクションマッピング…

2024年 1月27日(土)
16時頃～22時頃 ◆外堀大通り南側歩道

ICE-BAR
三の丸

松本城・三の丸倶楽部

グリルソーセージ
 大名町餅汁
 〈萬年屋・橋田酒造店・常盤花〉

松本ブルワリー
 クラフトビール館

松本城・三の丸倶楽部（じゅざい・せりふ）
 松本城は世界遺産であり、数多くの観光客が訪れるところだ。
 この冬、松本で開催される「大町イルミネーション」や、
 「国史松本城参事フィスティアム2024」といったイベントの中で、
 松本城をより身近に感じよう。この機会に、松本城を
 楽しむだけでなく、美味しい食べ物や飲み物を味わおう。

https://www.facebook.com/hubakurama/
hubbakurama@gmail.com

桜 THE
SANNOMARU TERRACE

桜 B.A.R 三の丸

2024年4月6日(土) 12:00頃～21:00
7日(日) 11:00頃～16:00

場所 / 松本城交差点付近・外環大通り北側通

クラフトビールやソーセージ
キッチンカーが並びます！

桜でござる！



おおお



三の丸・倶楽部

<https://www.facebook.com/sannomaru>



大分通りの西側側では
春のメニューが楽しめます

お営業時間は各店によって異なります

10/25

(金)

18:00～

大名町 屋外懇親会

～街について語り合しましょう♪～



Have a casual conversation with !

この度、大名町に暮らす皆様との交流の場を設けさせていただきます。
昨年より大名町の道路整備に向け、
町会と松本市との大名町道路法郎園南交差点にて毎月通話をまいりました。
懇親会では現在まで議決された道路整備に関する内容のご案内をせめ、
大名町通りについて参加者同士語り合う場となればと思っております。

■ 開催日：2024年10月25日(金)
 ■ 時間：18:00～ ※ 途中参加・中座OK！
 ■ 会場：松本城大手門 杆形跡広場
 ■ 会費：お一人様1,000円(飲食代として)

主催：松本城・三の丸町会
 (松本市三の丸エリアアットフォーム事業にて)
 共催：大名町町会
 協力：松本市 おまちまちおまち組本部 / 松本市 都市計画課
 松本商工会議所



< 申し込み >

参加申し込み

お名前： _____

ご参加者人数： _____ 人

**1世帯複数名のご参加可能です。
多くのご参加をお待ちします！**

参加申し込みの届け出に関しまして

- ご希望いただける等は、旧立屋(大町)へお届いたします。
- FAXの番号は、0203-34-2561 (大町役所)
- 申込期限の日は、決まっております。
- 【ご提出期限】10月18日(金)までにお届いたします。

※ 10月18日(金)以降の申込み・人数変更は、
0951-2561・2563・7831大町役所まで

3 大名町界限

令和5年度社会実験実施概要（実績）

令和5年度社会実験実施概要

①ストリートファニチャーによる滞留空間創出

大名町通り、枡形跡広場、外堀大通り南側歩道（紫陽花北側）

- ベンチの常設置による滞留行為の創出
- 居心地の良いベンチのデザイン検討と製作（シェード付きベンチによる夏場の日陰づくり）

②大名町通りの再整備に向けた社会実験の実践と検証

（大名町歩行者天国時に実施）

- 街路灯へのフラッグ掲出
- 通りを演出するための照明設置
- 歩道空間の活用（ストリートファニチャーの設置／屋台でのミニマルシェの実施）
- 街路樹等



③枡形跡広場の滞留空間創出

- 季節に応じた、テント、イス、テーブル等の設置
（夏場の日陰づくり、滞留空間の創出）



3 大名町界限

令和6年度社会実験実施概要(実績)

令和6年度社会実験実施概要

①ストリートファニチャーによる滞留空間創出

大名町通り、杵形跡広場、外堀大通り南側歩道(紫陽花北側)

- 夏場の日陰づくり(什器の改善、レイアウトの検証など)
- 冬場の暖を取るための実験(滞留空間+ストーブ+飲食の機会など)

②大名町通りの再整備に向けた社会実験の実践と検証

(大名町歩行者天国時に実施)

- 街路灯へのフラッグ掲出
- 通りを演出するための照明設置
- 歩道空間の活用(ストリートファニチャーの設置/
屋台でのミニマルシェの実施)
- 街路樹等



③杵形跡広場の滞留空間創出

●季節に応じた、テント、イス、テーブル等の設置

(夏場の日陰づくり、心地よい時期の滞留空間、催事時ではない日常的な滞在快適性の向上)



3 大名町界限

令和7年度以降の具体的なアクション概要

1. 実現したい「誰かに語りたくなる暮らし」のシーン

誰もが感じる“ちょっとしたひととき”の空間づくり

- 城内三の丸を感じるシーン
- 松本の人を感じるシーン
- 暮らす人と訪れる人が共にくつろぎ、楽しむシーン

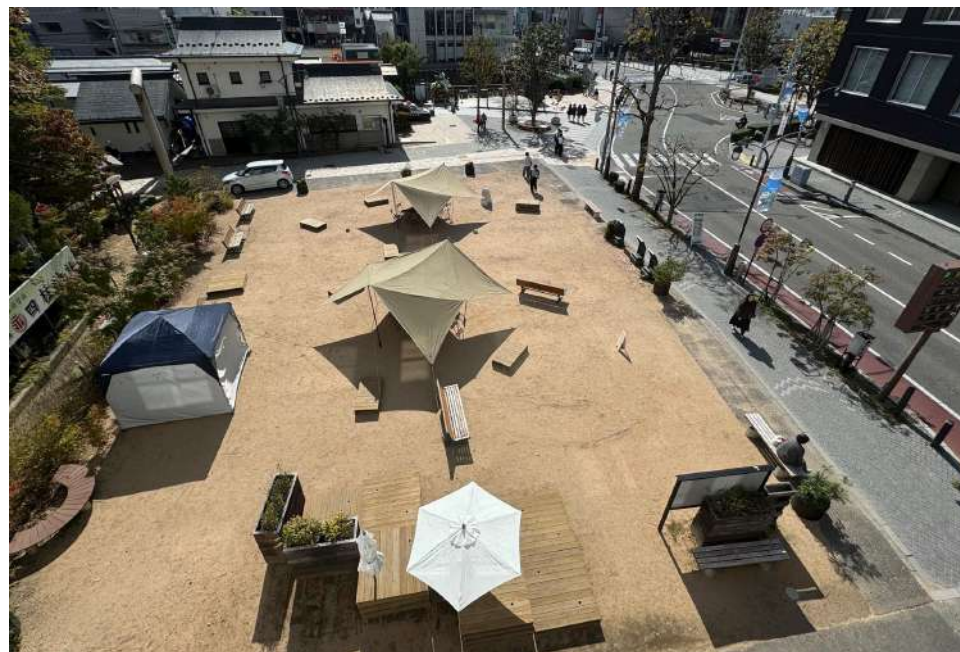
2. プロジェクトの内容

①くつろぎのひとときをつくる基盤づくり

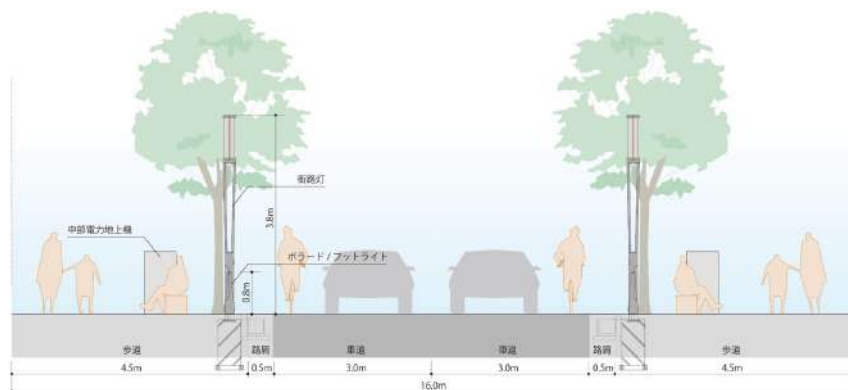
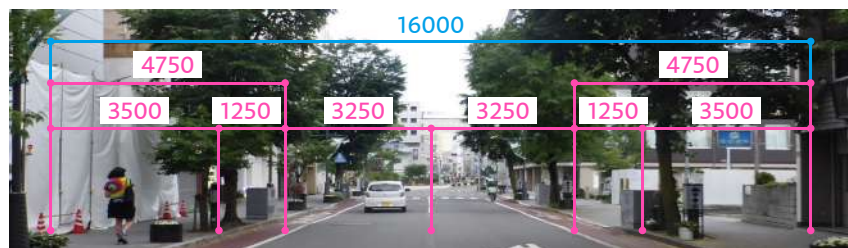
- THE SANNOMARU TERRACE (大名町から3界限への拡張とくつろぎのブラッシュアップ)
- 大名町通り、枳形跡広場のストリートファニチャー等の改善と整備
- 大名町通りの再整備に向けた社会実験への協力
- ユニバーサルデザインのまちづくり

②交流のひとときづくり

- 空間利用に対する活用マネージメント(質と持続可能性)
- 交流の場の創出



3. ハード整備／空間改變のイメージ

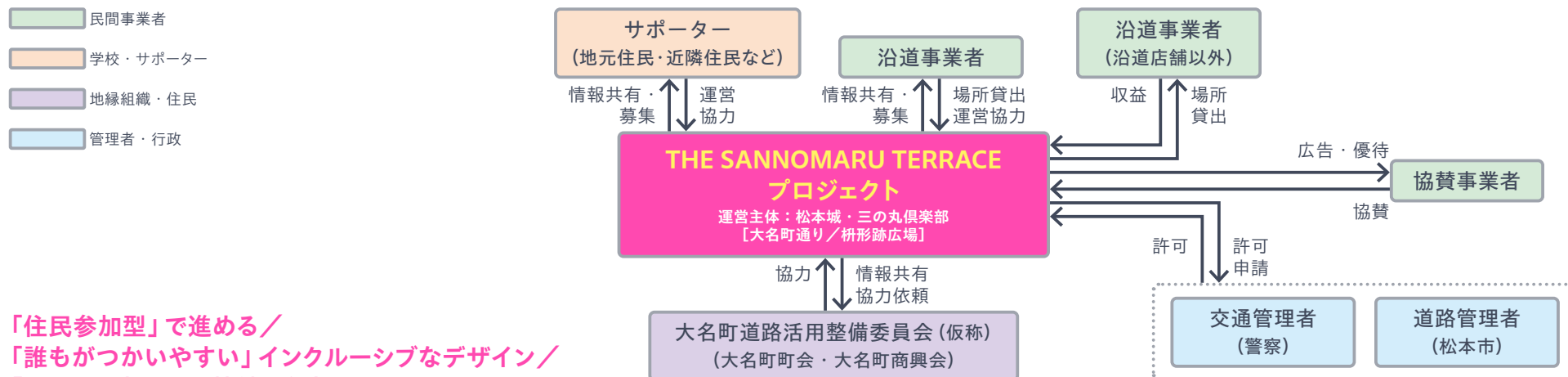


総幅員16mは変えず、幅員構成を変えて歩道を4.5mに拡張することで、歩行者にとってより安心安全な環境へと改善します。また、車道と歩道の高さが同じフルフラットな道路とすることで、歩きやすく滞留や活用もしやすくなる道路への再整備の検討が進んでいます。2年間の社会実験の成果も再整備後の活用・運営へと繋げていきます。



4. 実施体制図／ロードマップ

令和7年度以降、下記の体制とロードマップを描きアクションを進めていきます。



「住民参加型」で進める／
「誰もがつかいやすい」インクルーシブなデザイン／
「長期的な視点」で持続可能性を

	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027年)	令和10年度 (2028年)	令和11年度 (2029年)
①くつろぎのひとときをつくる 基盤づくり					
大名町通り、枳形跡広場のストリートファニチャー等の改善と整備	利用状況、損傷具合の把握 ニーズ調査	デザインコンセプトの作成 と検証 サンプル作成	実証実験 (工事進捗に応じて) 検証と改善	製作	道路活用開始
大名町通りの活用に向けた社会実験	道路活用検討委員会 (仮) 立ち上げ 住民や企業との協力関係構築	協賛できる仕組みづくり コミュニティの巻き込み 資金調達	実証実験 (工事進捗に応じて)	実証実験 (工事進捗に応じて) 検証と改善	道路活用開始
ユニバーサルデザインのまちづくり	来訪者の把握 ニーズ調査	道路整備と併せた全体像の 作成	実証実験 (工事進捗に応じて) 検証と改善	実証実験 (工事進捗に応じて) 検証と改善	道路活用開始
②交流のひとときづくり					
空間利用に対しての活用マネージメント (質と持続可能性)	ニーズ調査 地域住民との交流	協力体制の構築 空間デザインの作成と決定	実証実験 (工事進捗に応じて) 検証と改善	実証実験 (工事進捗に応じて) 検証と改善	道路活用開始
交流の場の創出	現状分析 目指す形の具体化	他団体との連携 プロモーションと認知拡大	実証実験 (工事進捗に応じて) 検証と改善	実証実験 (工事進捗に応じて) 検証と改善	道路活用開始

参考：外堀大通りでの取組み

THE SANNOMARU TERRACEプロジェクトの一環として、外堀大通りの北側・南側歩道を活用する社会実験「三のマルシェ」や「桜BAR三の丸」を令和5-6年度に実施しました。一定の成果は得られましたが、プロジェクトとしては令

和7年度以降は大名町通りの再整備・活用に重きを置いていきます。松本城南・西外堀界隈の取組みは今後継続検討していきます。ここでは令和5年度の社会実験及び効果検証結果を参考として記載します。

令和5年度社会実験実施概要

三のマルシェ／ICE・BAR三の丸

●地元野菜やクラフト、飲食物の販売などを通じた交流の場の創出

三のマルシェ@外堀大通り北側歩道 令和5年4月1日^土、9月16日^土・17日^日、
10月7日^土・8日^日 10:00-16:00

ICE・BAR三の丸@外堀大通り南側歩道 令和6年1月27日^土 16:00-22:00



令和5年度社会実験効果検証結果

「三のマルシェ」▷ 9月16日^土、10月7日^土 10:00-16:00 @外堀大通り北側歩道

●効果検証総括

アクティビティ総数は従前から約40倍に増加し、「心地よく利用できた」「満足・やや満足」「また利用したい」がいずれも8割を超える高評価でした。

実施日	令和5年9月16日(土) 10:00-16:00	令和5年10月7日(土) 10:00-16:00	従前調査 令和5年7月15日(土) 8:00-20:00
天気 最高気温/最低気温	晴のち曇り 35.6 / 21.6	曇りのち晴 20.2 / 8.3	晴 30.2 / 17.1
アクティビティ 総数	132 (8回計測・131名)	114 (9回計測・114名)	3 (13回計測・3名)
利用者 アンケート	「心地よく利用できた」 97% 「満足」「やや満足」88% 「また利用したい」98% (n=59)	「心地よく利用できた」 100% 「満足」「やや満足」95% 「また利用したい」90% (n=21)	—

●利用者アンケート調査：利用者の声

何気ない日々の暮らしを楽しむ

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

食べる場所(日陰)がちゃんとあって休憩できた

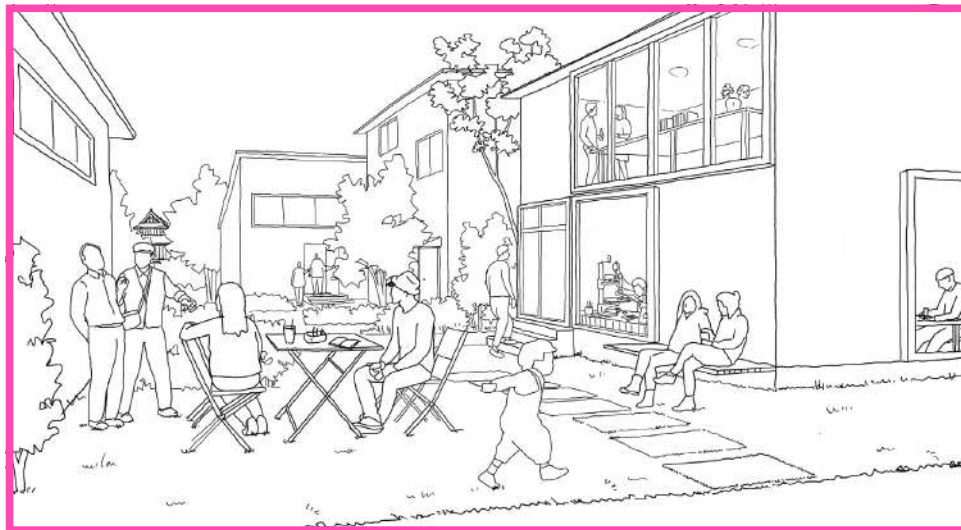
よい通りなので活用してほしい

地元の店が出店していて、そのお店に行くきっかけになった

堀ができて癒しの空間になればマルシェや朝市にはいい場所

店を巡りながらのんびりできた

子供がゴーカートを楽しめた



取組方針

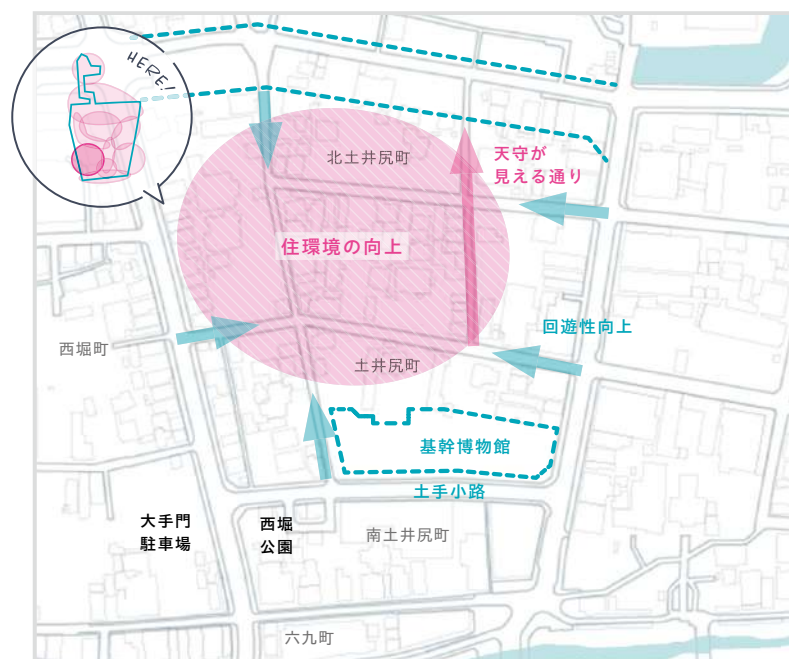
空き地を活用した憩いの空間づくりなどにより落ち着いた暮らしの環境を向上する。

生活に彩りを与える機能を併せ持った新たな住まいの整備などを、界限で連携して進める。

移住促進の取組みとも連携し、なりわいと暮らし、地元の方と移住者の方とのつながりづくりを行う。

誰もが安心して歩ける環境づくりや災害時も想定した空き地活用などによる地域防災機能の向上を図る。

松本城を望む道や点在する小規模店舗を巡り、訪れる人も楽しむことのできる機会を生む。



4 土井尻界限

これまでに生まれた新たなシーン

ビジョンの実現を目指した
社会実験から、
こんなシーンが生まれました



実施
主体プロ
ジェ
クト
の
想
い

まちなかりビング

長野県建築士会松筑支部で平成27年に土井尻界限を調査し、基本方針の策定をおこないました。今回三の丸APに参加し仮設小屋というツールを用いて土井尻界限の『まちなかの居住に特化した界限』という特徴を再認識すると共に、資源としての空き地や空き家等のポテンシャルを見出すことを目的としました。令和6年10月27日に

は公共空地である土壘公園に仮設小屋を設置し機織機を用いてワークショップを行い、「暮らしの彩り」のヒントが見つけられました。今後仮設小屋を使いながら、界限の空地・空き家の活用を提案し、町会の方々と共に展開していきながら、土井尻が暮らしに特化した界限である特徴を活かした「暮らしの彩り」を共に創っていきます。



リーダー

伊藤靖樹

(長野県建築士会松筑支部
ひとまちづくり委員長)

今年から参加した新参者です。まちなかりビングの活動を通じて三の丸の皆さんと交流できたことが何よりの収穫です。今後もコミュニケーションを取りながら建築士のスキルを活かしてお役に立ちたいです。



サブリーダー

野口大介

(長野県建築士会松筑支部
ひとまちづくり委員)

仮設小屋で、土井尻界限の空スペースに憩い・交流・学び等の場所を設け、今までなかったまちの使い方を三の丸そして土井尻の皆さんと探っていければと思います。

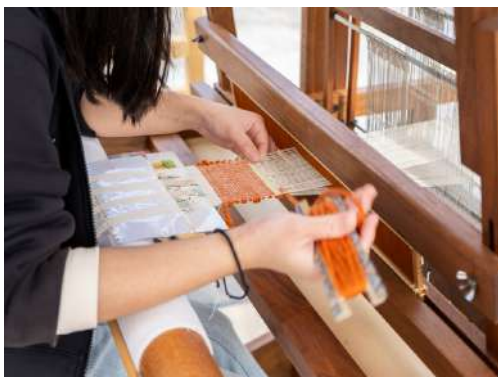


Magazine
(インタビュー記事はこちら)

メンバー 会松筑支部ひとまちづくり委員会のメンバーが参加しています。建築士の資格を持っている様々な職業の方が集まる建築士会ですので設計に限らず多種多様なスキルを持っているメンバーが所属しています。

製作・運営に関わったメンバー：

山田健一郎(支部長)
長谷川繁幸(副支部長)
川島智隆(副委員長)
荒井洋(委員)
藤松幹雄(委員)
澤地和宏(委員)
宮澤佳優(委員)
小笠原み江(委員)
田中一興(委員)
荒井理(委員)



令和6年度社会実験実施スケジュール

三の丸エリアでの居場所作りを目的に、仮設小屋を製作し公共空間に設置することで、試験的な居場所作りと仮設小屋の改良を重ねてきました。一方で、空き地や空き家が点在する土井尻界限に新たな風を吹き込む足がかりとして、仮設小屋を用いて土壘公園にてクラフト体験ができる居場所作りを行いました。これによって建築士と地域との交流が生まれ、地域が抱える様々な問題点を相談するきっかけとなりました。今後も継続して土壘公園や空き地等での場作りを試行しながら、町会や地権者の方々と一緒に土井尻界限に住まうことの価値向上を図っていきます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和6年度	桜BAR三の丸へ小屋貸出 4月6日(土)・7日(日)		土井尻町会へ小屋貸出@ 枡形跡広場 8月8日(木) 8月17日(土)~23日(金)		枡形跡広場に小屋設置 8月8日(木) 8月17日(土)~23日(金)		土井尻まちなかりビング@西堀土壘公園 10月27日(日) 10:00-16:00 → 11月2日(土)まで小屋を継続設置	国宝の架け橋リビングへ小屋貸出 @開智公園 11月9日(土)			松本市景観シンポジウム 1月25日(土)	



土井尻 まちなかりビング

MAICHINAKARI BINGO

ワークショップ

10.27 (Sun) 10:00-16:00

2024

土井尻 まちなかりビング ワークショップ

1 天幕はたおり体験

2 天幕グッズの販売

3 かるまい製作

4 土井尻界限

令和6年度社会実験実施概要(実績)

令和6年度社会実験実施概要

まちなかりビング

●建築士ならではの職能を活かして空き地や公共空地などに居場所を作る。
“仮設小屋”というツールを使いながら地域とコミュニケーションすることで
寄り添い、「暮らしの場」に彩りを作っていく。

土井尻まちなかりビング@西堀土塁公園 10月27日(日) 10:00-16:00

仮設小屋貸出：4月6日(土)・7日(日)、8月8日(木)、8月17日(土)-23日(金)、11月9日(土)など

主な活動場所：土井尻界限

松本城郭の外を巡る土居の尻(=端)であったことが地名の由来で、今もその一部が見られる「西堀土塁公園」がある。三の丸エリアのなかでも、ほのぼのとした住宅街の雰囲気を感じ、小さな商店や昔ながらの銭湯が点在。



令和6年度社会実験効果検証結果

「土井尻まちなかりビング」▷ 令和6年10月27日② 10:00-16:00 @ 西堀土塁公園

●効果検証総括

何気ない日々の暮らしを楽しむ

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

アクティビティ総数は従前から約230倍に増加し、「満足・やや満足」「また利用したい」「誰かに語りたい」がいずれも9割を超える高評価でした。

実施日	令和6年10月27日(土) 10:00-16:00	従前調査 令和5年10月21日(土) 8:00-20:00
天気 最高気温/最低気温	曇り 24.0/10.5	晴一時雨 18.6/5.7
アクティビティ 総数	232 (5回計測・112名)	1 (13回計測・1名)
利用者 アンケート (n=23)	「満足」「やや満足」：95% 「また利用したい」：95% 「誰かに語りたい」：100%	—

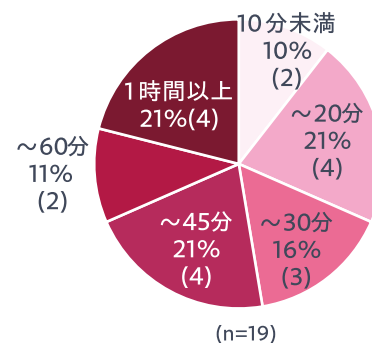
●利用者アンケート調査

何気ない日々の暮らしを楽しむ

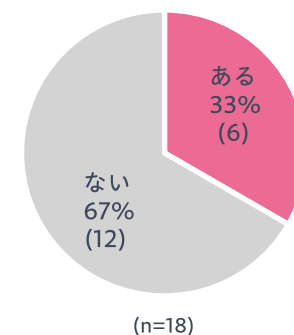
お気に入りの居場所がある

10分未満から1時間以上まで、短長両方の滞留行動が創出されたことがわかりました。また、67%の人に土塁公園へ訪れるきっかけを生み出したと言えます。

Q. 滞在時間はどれくらいですか？
(滞在予定時間も含む)



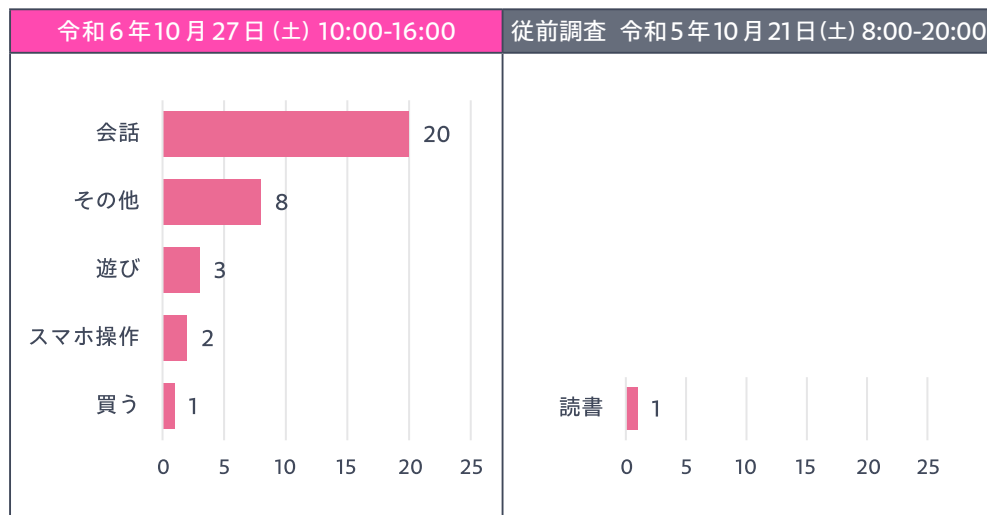
Q. これまでに会場である「西堀土塁公園」
に來たことがありますか？



●アクティビティ調査

お気に入りの居場所がある

従前に比べ、アクティビティの種類・数ともに増加し、特に会話／機織り体験が多く見られました。



●利用者アンケート調査：利用者の声

のんびりした空間で、
良い時間を過ごせた

同様のイベントで、人を集められると良い。子供が参加しやすいものが良いのでは。今回は手作業が好きなのでよかった。手や足を使うので高齢の方にも良さそう

入口などに看板がもう少し目立つようにあると通りがかった方も入りやすいと感じました!

木造の建物やパネルが良い

今後も土塁公園の活用として継続していただけたらうれしいです!

土塁公園は地元でも知られていないので、活用するのは良いことだと思う

短時間・お菓子の販売などをしてコーヒーとともにカフェブースみたいになれば楽しいかも

1. 実現したい「誰かに語りたくなる暮らし」のシーン

- 歴史的な背景を継承しながら仮設小屋が「まちのえんがわ」となり、界限のポテンシャルをひらく。大きな単位の「まちづくり」でなく、「居場所づくり」という小さな単位の活動が地域の方々に寄り添った活動となっていく。
- まちなかにある静かな住宅街で住み、働き、様々な人々と係る日常、この場で過ごすことで人生を深めていく…そんな暮らしの舞台



2. プロジェクトの内容

①土井尻地区の暮らしに彩りを

●地区内の空き地・空きスペースに仮設小屋を建て、生活に彩りを加えるようなスペースを展開し周辺のクローズドな環境を徐々に開いて、生活に彩りを加えていく。さまざまな活動を通して場所の可能性を見出し、さらには空き家などの活用につなげたい。

②仮設小屋を空き地や公共空間等に置き、屋根・壁がある空間を作り場所の活用を図る

- 地元の人々が集い出会う場（町会活動や交流の場として）
- 子供たちの遊び場として
- クラフト作家のワークショップ・一時的な展示・販売スペースとして

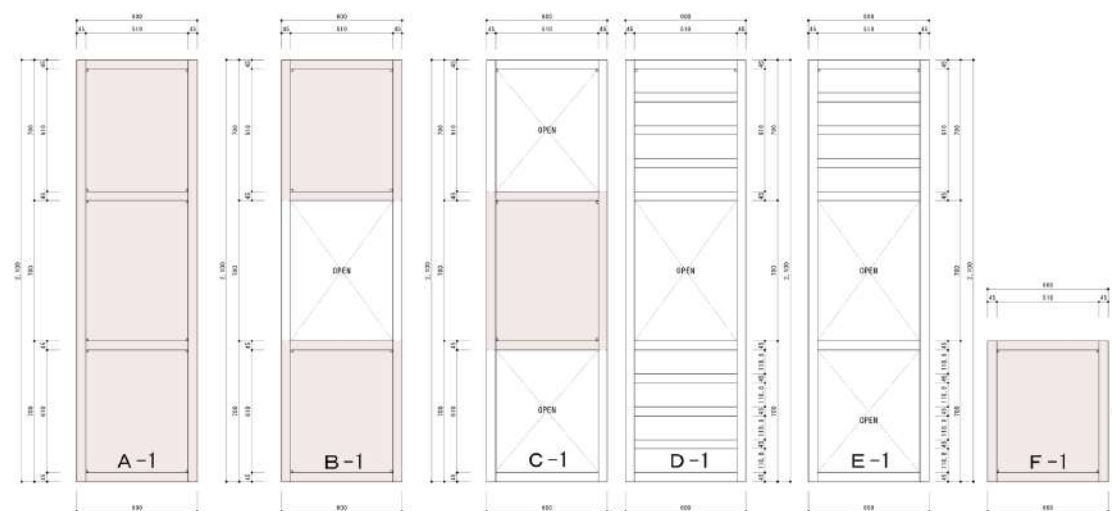
③界限での暮らしを疑似体験するようしつらえの提供

- 建築士のスキルを活かして需要に応じて仮設小屋をさらにアップデートしていく
- パネル組立式の仮設小屋のため屋根と壁がある空間を作ることによりリアルな空間体験が可能
- 床などもパネル式で作ることによって座の空間も演出できる



3. ハード整備／空間改變のイメージ

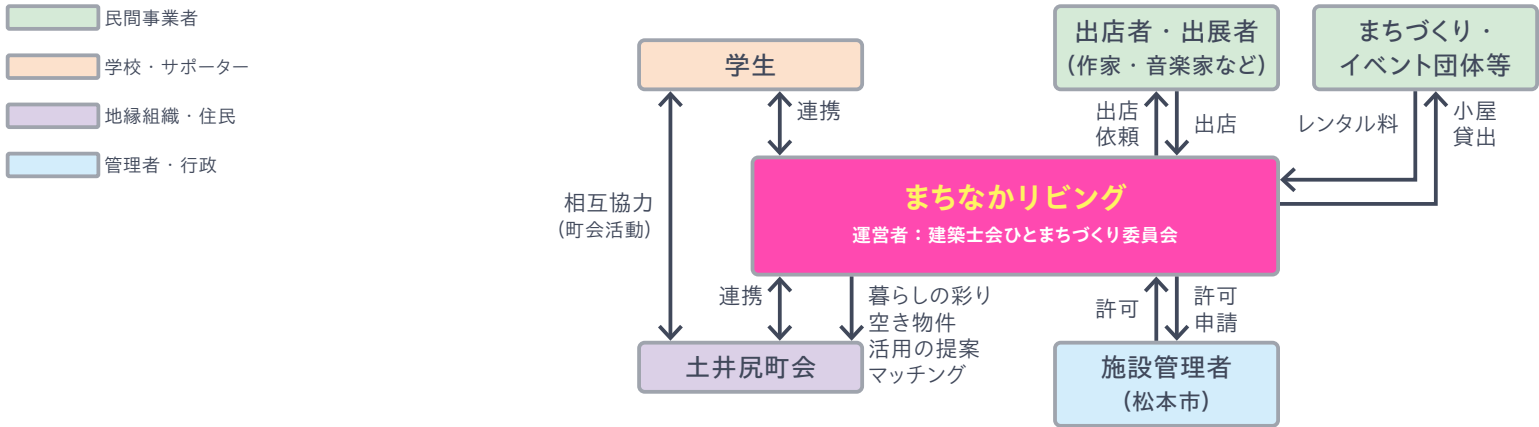
建築士会メンバーでコンペを行い、デザイン・機能・実現性をもとに選ばれた案です。1ヒノキ材でできたパネルを結束バンドで固定する方法で、特殊な工具なく組み立てられるのが特徴です。



パネル詳細図 S=1/10

4. 実施体制図／ロードマップ

令和7年度以降、下記の体制とロードマップを描きアクションを進めていきます。



	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027年)	令和10年度 (2028年)	令和11年度 (2029年)
①土井尻地区の暮らしににぎわいを					
まちなかりビングルーム体験					
空き地、空き家を開く		土井尻での実績を積み上げ、町会の方々に寄り添いながら利用方法を検討していく		パイロットプラン：空き家、空き地の有効活用の実験、検証をおこない、実践を目指す	
②仮設小屋を空き地や公共空間等に置き、屋根・壁がある空間を作り場所の活用を図る					
仮設小屋の貸し出し 空間・使い方の提案・連携	他団体への貸し出しは、小屋の維持費として原則賃料を徴収する(三の丸APへは無料で貸し出す)				

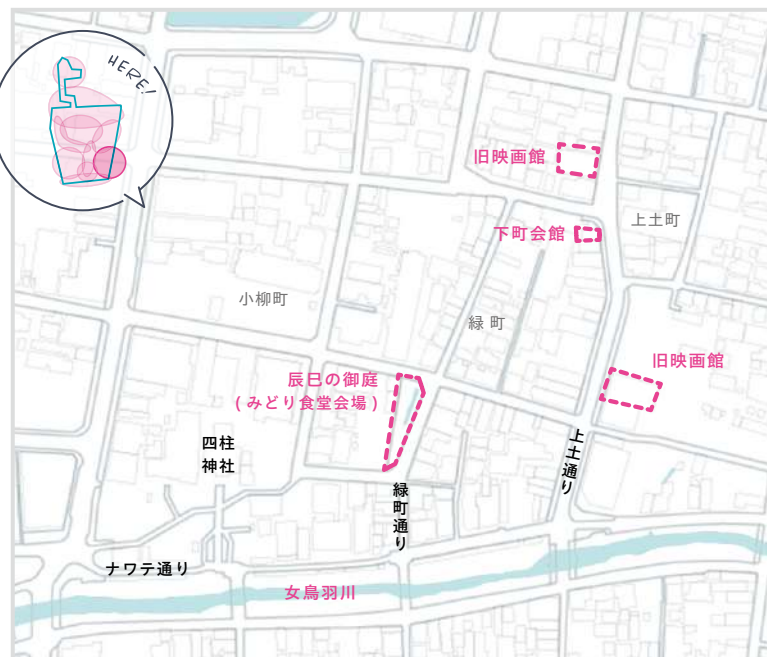
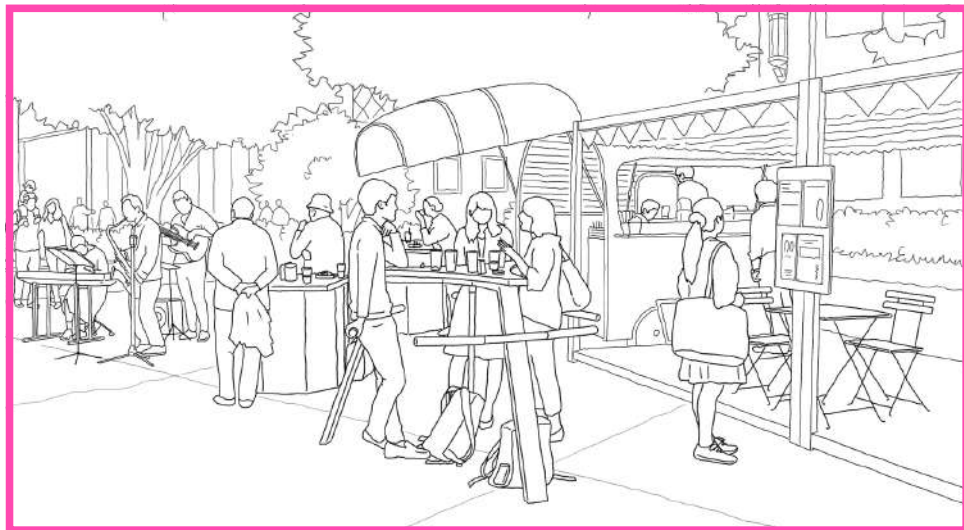
取組方針

辰巳の御庭や旧映画館などを核にして、界限の文化・歴史の香りをより感じられる環境をつくる。

若者を中心に、音楽や映画、演劇を始め現代アートや小商いなど自由な表現活動ができる受け皿をつくる。

集積する銘店の魅力が滲み出し、地元の人も訪れる人も日常的に集い楽しむことのできる場をつくる。

界限を心地よく歩き回ることのできる歩行環境創出に向けた取組を行う。



5-1

上土・緑町界限

これまでに生まれた新たなシーン

ビジョンの実現を目指した
社会実験から、
こんなシーンが生まれました



5-1

上土・緑町界限

プロジェクトメンバー

実施
主体プロ
ジェ
クト
の
想
い

お城下町まちづくりコミュニケーション



リーダー

増田博志

(上土商店街振興組合)

Magazine
(インタビュー記事はこちら)

お城下町は30年以上前から街並み環境整備などに取り組んできました。エリアビジョン策定にあたり、ナワテ通り、緑町それぞれの取り組みと合わせ、「お城下町エリア」として、今までのイベントを繋ぎ合わせ、アートパーク計画を策定し、映画の街・演劇の街などアーティ

ストの集う街を目指した取り組みをしてきました。今回創設した「城下町・アーティスト倶楽部」には20を超える個人・団体の方々に登録いただき、公演等たくさんの参加をいただきました。地域課題であった、旧映画館の再生・利用に向けても明るい見通しが出てきました。



サブリーダー

永高英雄

(上土劇場)

そもそも、お城下町地区における街づくりの取り組みは、今日昨日に始まったものではなく、数十年にわたりさまざまな事業を行ってきたもので、今回のプラットフォームでの事業はその中の一貫としてとらえておりました。お城下町地区を市民の表現活動と結びつけるという今回の試みは、まだ始まったばかりですが、手ごたえを感じました。こんなにも多くの表現者が表現の場を求めていること、そしてそれを応援する町があるということは、大きな可能性を感じます。とにかく継続していくことがもっとも重要だと思います。

メンバー

三村晃(総合企画事務所エムエープラン)

山本真也(ナワテ通り商業協同組合)

北原嗣正(緑町)

渡辺宏(上土商店街振興組合)

これからは、この倶楽部の活動も含め、三の丸エリア内のそれぞれの取り組みと、連携の取れた企画、試みができればよいと思います。近隣の空き空間利用などエリア拡大も含め、城下町からの芸術文化の発信が地域おこし・商店街活性化に繋がるような事業展開をしたいと考えています。

上土・緑町界限

令和5-6年度社会実験実施概要(実績)

令和5-6年度社会実験実施スケジュール

これまで積み重ねてきた「まつもと演劇祭」や上土シネマの活用等の継続的な実施に加え、日常的に街かどでアーティストのパフォーマンスが見られるような界限を目指し、アーティストと住民・商店街が連携する「城下町・アーティスト倶楽部」を立ち上げ、枳形跡広場や四柱神社、ナワテ通り等でパフォーマンスを展開している。今後は、アーティスト倶楽部の運営体制の確立やパフォーマンスができる場所の開拓を進めていく。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和5年度							お城下町パフォーマンスフェスティバル 9月30日(土)-10月8日(日)					
令和6年度			城下町・アーティスト倶楽部旗揚げイベント 6月23日(日)				あげつちシネマフェスティバル9月21日(土)・22日(日) 城下町・アーティスト倶楽部音楽祭10月12日(土)・13日(日) お城下町パフォーマンスフェスティバル・まつもと演劇祭10月11日(金)-13日(日) まつもと恵比寿講しょうふく祭11月16日(土)・17日(日)					



城下町・アーティスト倶楽部
アーティスト大募集中!

いつでも出会える“ハレの日”気分!
「表現」をテーマにさまざまなジャンルでの
パフォーマンスをカラダとココロで
感じる一日!

城下町・アーティスト倶楽部
旗揚げイベント

●日時/2024年6月23日(日)
14:00~16:00

●会場/上土シネマ (旧松本電気館)

●料金/1,000円

●出演/松本ロマンチカ

▼こたとのぼる
一人芝居「タコ」の恵について
昨年上演、好評につき再演

▼私立星屑
女子学院閣部
広直三結成。
上土シネマに
初上演

カラメル色素
演劇 タイトル「僕は今日…」

■主催:お城下町まちづくりコミュニティ
〒380-0874 長野県松本市大手4-8-11
TEL: 0263-36-2007 (上土常設美術館組合事務局内 電話: 三村)
E-mail: sitamach@po.mcci.or.jp

お城下町
パフォーマンス
フェスティバル2024

お城下町
城下町・アーティスト倶楽部
音楽祭

入場
無料

■10月12日(土)
13:00~15:00
会場/四柱神社
神楽殿ステージ
出演/北アルプスアルプホルンクラブ
<アルプホルンによるスイスミュージック>
松本ロマンチカ
<ジャズ・ボサノバ・ポップス>
【街なか練り歩き】
チムドンズ
羽布企画

■10月13日(日)
10:30~12:00 雨天
中止
場所/ナワテ通り・四柱神社鳥居横
出演/北アルプスアルプホルンクラブ
<アルプホルンによるスイスミュージック>
松本ロマンチカ
<ジャズ・ボサノバ・ポップス>
【街なか練り歩き】
チムドンズ
羽布企画

■10月13日(日)
13:00~15:00
出演/北アルプスアルプホルンクラブ
<アルプホルンによるスイスミュージック>
松本ロマンチカ
<ジャズ・ボサノバ・ポップス>
仲よし
<シンガーソングライター>

お城下町まちづくりコミュニティ事務局 TEL: 0263-36-2007

城下町・アーティスト倶楽部の創設に向けた各種活動

- お城下町パフォーマンスフェスティバルおもてなしクーポン券配布
- 第26回まつもと演劇祭(県外劇団2劇団程度を招致、合計5~6劇団による全国地域劇団の祭典)
- トーチカin松本(音楽・舞踊・パフォーマンスアートの祭典)
- 水辺のマルシェ2023(女鳥羽川沿い)
- 各種クラフト販売ブース
- 水辺の劇場にてパフォーマンス&音楽)の合同開催

上記のイベントの開催を通じて、城下町・アーティスト倶楽部の創設機運を高めるとともに、各種課題の検証活動を実施した。

お城下町パフォーマンスフェスティバル@界限各所 9月30日(土)-10月8日(日)

入場者数(期間中述べ人数):

約2,000名

おもてなしクーポン券 参加店舗:

約40店舗

おもてなしクーポン券 利用者数:

発券枚数/150円×200名

利用枚数/375枚(125名)

利用店舗数/25店舗



令和5年度社会実験効果検証結果

「お城下町パフォーマンスフェスティバル」▶令和5年10月7日ⓧ11:00-20:00

@界限各所

●効果検証総括

アクティビティ総数は大幅に増加し、従前と比べ界限に多く人が滞留していたことが分かりました。

何気ない日々の暮らしを楽しむ

お気に入りの居場所がある

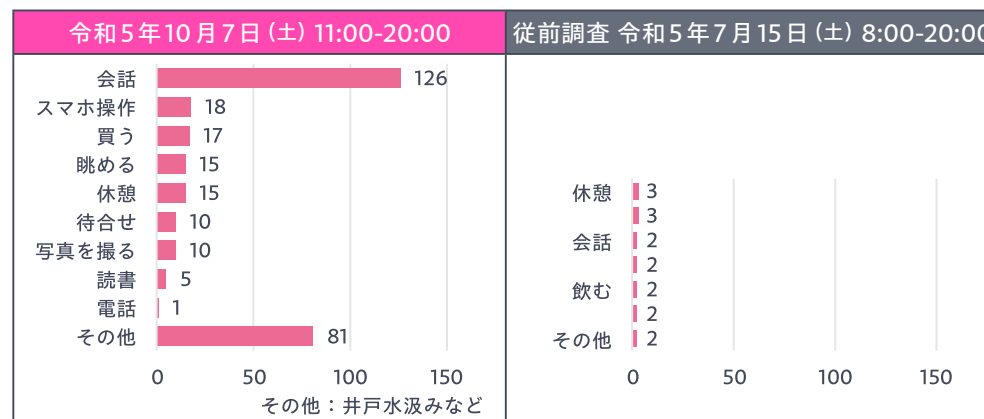
街の物語を感じられる

●仮設橋の利用状況調査

お気に入りの居場所がある

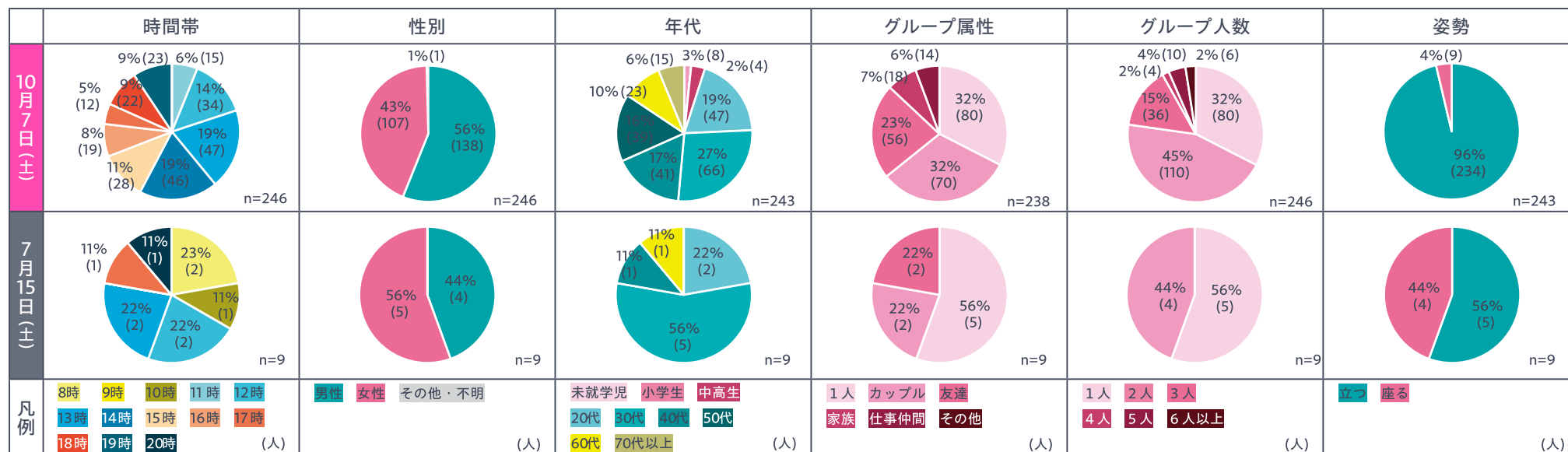
買う、眺める、待ち合わせなど従前見られなかったアクティビティが多く生まれ、会話が一番多く見られました。

実施日	令和5年10月7日(土) 11:00-20:00	従前調査 令和5年7月15日(土) 8:00-20:00
天気 最高気温/最低気温	晴のち曇り 35.6 / 21.6	晴 30.2 / 17.1
上土劇場前	138 (19回計測・126名)	1 (13回計測・1名)
下町会館前	125 (19回計測・92名)	15 (13回計測・8名)
上土シネマ前	35 (19回計測・28名)	0 (13回計測・0名)



●アクティビティ調査：属性 未就学児から70代以上まで多世代のアクティビティが見られ、立っている状態でのアクティビティが多く見られました。

会いたい人がいる



①日常的にパフォーマンス公演ができる環境の構築 「2024年“お城下町のエンタメ“がおもしろい!”の開催

「城下町・アーティスト倶楽部旗揚げイベント」@上土シネマ

「あげつつシネマフェスティバル」@上土劇場など 9月21日(土)・22日(日)

「城下町・アーティスト倶楽部音楽祭」@四柱神社神楽殿 10月12日(土)・13日(日)

「お城下町パフォーマンスフェスティバル」@ナワテ通りなど 10月11日(金)・13日(日)

「まつもと演劇祭」@枳形跡広場・上土劇場など 10月11日(金)・13日(日)

「まつもと恵比寿講しょうふく祭」@四柱神社神楽殿

③商店街の活性化につながる 「アートパークとの連携」のしくみづくり

- 「城下町・アーティスト倶楽部」の活動を起点に、商店街とお城下町アートパークとの具体的連携策を策定した。



②城下町・アーティスト倶楽部の創設

- 「城下町・アーティスト倶楽部」の運営体制、人事体制、収益事業体制等を構築した。
- シーズンを通じて開催するライブ期間中に、出演者を中心に地元・周辺地域に向けて「城下町・アーティスト」を併せて協賛会員(地元商店)の募集を行い、アーティストと街の住民・商店の連合体としての倶楽部を創設した。

城下町・アーティスト倶楽部メンバーリスト

No	名称	プロ/アマ	ジャンル
1	北アルプスアルプホルンクラブ	アマ	音楽(アルプホルンによるスイスミュージック)
2	bibi	アマ	ギター弾き語り・歌唱
3	松本ロマンチカ	アマ	音楽(ジャズ、ボサノバ、ポップス、昭和歌謡)
4	おかよ	アマ	音楽(ギターと女性ボーカルのユニット)
5	浜中弘樹	アマ	芸能(マジック、ジャグリング、司会)
6	星ひとみ	プロ	音楽(故郷讃歌)
7	山中恵子&ローズ・エンジェル	アマ	音楽(昭和歌謡曲の歌と演奏)
8	出前講談「がんもどき」すみれ亭香方	アマ	芸能(講談)
9	占い幸福への出発	プロ	その他(占道)
10	チムドンズ	アマ	芸能(チンドン屋)
11	♪ママレード♪	アマ	音楽(ジャンル問わず)
12	合名会社響座	アマ	和太鼓
13	EMI	アマ	音楽(ステージ歌唱)
14	TIME	プロ	芸能(ジャグリング)
15	紙芝居劇団実帰舎	アマ	芸能(紙芝居)
16	PUPPY WALKER	プロ	音楽(バンド)
17	水谷そよ	アマ	音楽(ギター弾き語り)
18	こたとのぼる	プロ	演劇(新劇)
19	私立星屑女子学院闇部	アマ	パフォーマンス
20	カラメル色素	アマ	演劇
21	ふぞろいの林檎たち	アマ	音楽(津軽三味線)

令和6年度社会実験効果検証結果

「まつもと演劇祭」▶令和6年10月12日(土)@枳形跡広場

●効果検証総括

何気ない日々の暮らしを楽しむ

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

アクティビティ総数は従前から約7倍に増加し、「満足・やや満足」、「また来たい」がいずれも6〜7割を超える高評価でした。

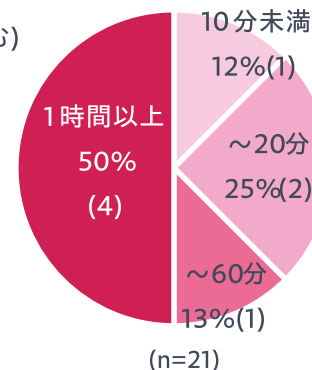
実施日	令和6年10月12日(土) 12:00-19:00	従前調査 令和5年7月23日(土) 8:00-20:00
天気 最高気温/最低気温	晴のち曇り 23.9/12.0	晴 33.4/22.2
アクティビティ 総数	266 (7回計測・216名)	33 (13回計測・33名)
利用者 アンケート (n=10)	「満足」「やや満足」：78% 「また来たい」：67% 「誰かに語りしたい」：71%	—

●利用者アンケート調査

街の物語を感じられる

1時間以上の滞在が半数であり長時間の滞留行動が創出されたことが分かりました。

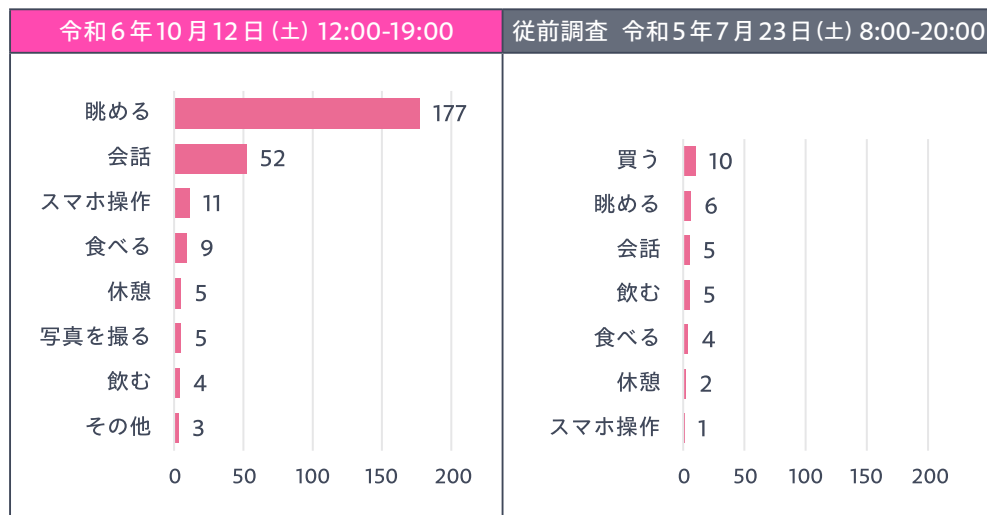
Q.「まつもと演劇祭」での滞在時間はどれくらいですか？
(このあとの予定も含む)



●アクティビティ調査

お気に入りの居場所がある

眺める、会話が多く見られ、従前と比較して数が非常に増えました。アクティビティの種類は従前とあまり変化がありませんでした。



●利用者アンケート調査：利用者の声

手軽に演劇がみられる

野外の開放感、出演者との距離の近さ、近くに観光スポット多数

初めて見る劇が珍しかった

おそばを食べた後に演劇を見せていただき今日は来てよかったと思いました

久しぶりに楽しんで今日来てよかったです

5-1

上土・緑町界限

令和7年度以降の具体的なアクション概要

1. 実現したい「誰かに語りたくなる暮らし」のシーン

- ①城下町を舞台にタイムトラベル感覚でエンターテインメントを楽しむシーン
- ②“お城下町エンタメパーク”で非日常を肌で感じるシーン



2. プロジェクトの内容

①“まつもと・お城下町ライブ・アートパーク”計画の策定・定着

これまでバラバラ感のあったイベントを“アートパーク計画”として統一感を持たせ、わかりやすくし定着させる。

②上土・緑町界限におけるソフト・ハード両面における“ランドマーク”の確立

訪れる観光客に上土・緑町界限へ足を伸ばしてもらうべく、ソフト（エンターテインメント）とハード（ランドマーク）の両輪からなる「時宜にかなったアクションプラン」を策定する。

1) 「城下町・アーティスト倶楽部」メンバーによるパフォーマンスの定期公演の実現

→活動場所として、許可権者と交渉し使用契約等を締結

→城下町・アーティスト倶楽部メンバーによる自主運営可能な組織の構築

2) “まつもと・お城下町ライブ・アートパーク”としてのランドマーク構築のため、上土シネマの再生を目指す。

→一般社団法人上土シネマミュージアムとの連携強化を図り、フィルム映画上映やパフォーマンス等を核とするレトロ体験型博物館とのコラボ企画（来街者増加策等）を積極的に展開する。

→“まちなか映画ポスター展（仮称）”の継続的開催

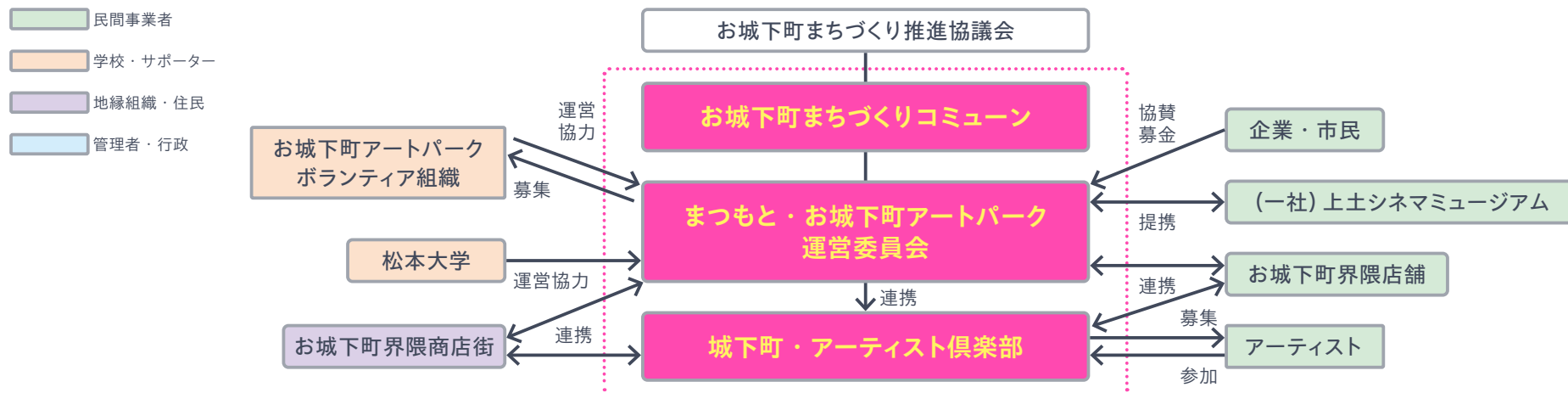
③“まつもと・お城下町アートパーク”チャンネルの創設

全国的な浸透／個店情報の拡散

上記①②の事業にかかわる情報発信のためYouTubeチャンネルを創設するなど、個店とのネットワークを構築する。

3. 実施体制図／ロードマップ

令和7年度以降、下記の体制とロードマップを描きアクションを進めていきます。



	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	令和9年度(2027年)	令和10年度(2028年)	令和11年度(2029年)
①“まつもと・お城下町ライブ・アートパーク”計画の策定・定着	ライブ・アートパーク計画のブランディング(年次達成目標の策定)→年次達成目標の遂行				
②上土・緑町界隈におけるソフト・ハード両面における“ランドマーク”の確立					
「城下町・アーティスト倶楽部」メンバーによるパフォーマンスの定期的公演の実現	アーティスト倶楽部音楽祭の開催 お城下町パフォーマンスフェスティバル&演劇祭(令和9年度：30周年)の開催				
“まつもと・お城下町ライブ・アートパーク”としてのランドマーク構築のため、上土シネマの再生を目指す	上土シネマミュージアムとの連携事業の構築 まちなかポスター展年次計画の策定→年次計画の実施				
③“まつもと・お城下町アートパーク”チャンネルの創設 全国的な浸透／個店情報の拡散	YouTubeチャンネルの開設→登録者数の拡大 協賛店ネットワークの構築→充実強化				

5-2 上土・緑町界限

エリアビジョンの内容

VISION

文化の香りと名店の味が楽しめる

“日常を彩る巡り合いの場”

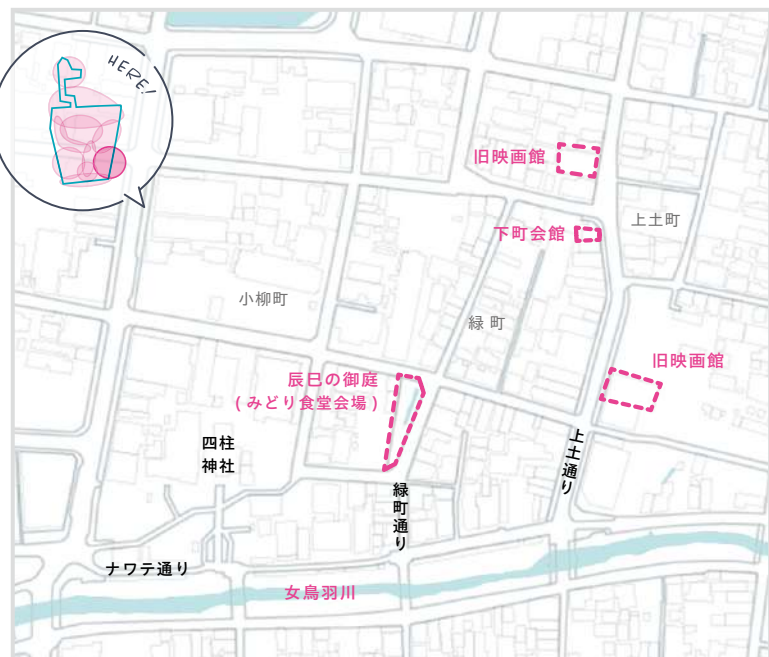
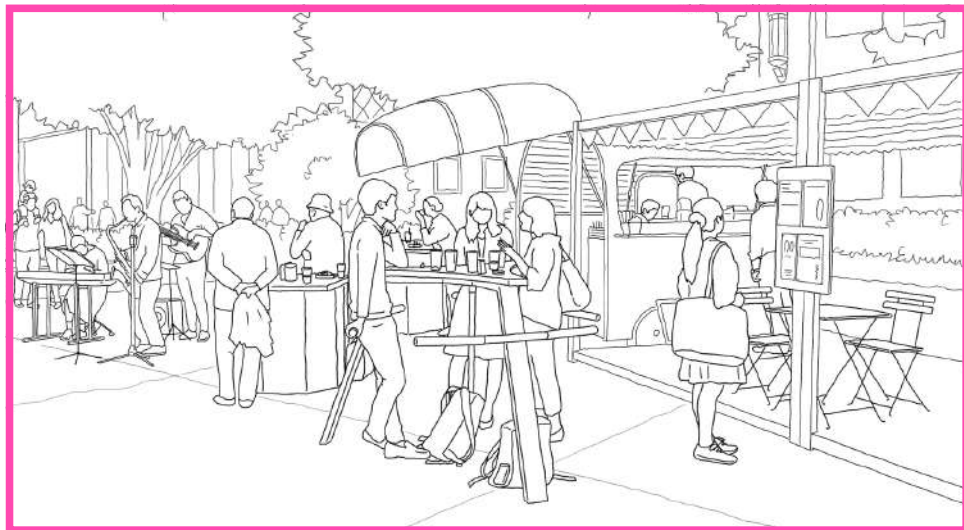
取組方針

辰巳の御庭や旧映画館などを核にして、界限の文化・歴史の香りをより感じられる環境をつくる。

若者を中心に、音楽や映画、演劇を始め現代アートや小商いなど自由な表現活動ができる受け皿をつくる。

集積する銘店の魅力が滲み出し、地元の人も訪れる人も日常的に集い楽しむことのできる場をつくる。

界限を心地よく歩き回ることのできる歩行環境創出に向けた取組を行う。



5-2

上土・緑町界限

これまでに生まれた新たなシーン

ビジョンの実現を目指した
社会実験から、
こんなシーンが生まれました





リーダー

佐々木文宣

(蕎麦倶楽部佐々木)

Magazine
(インタビュー記事はこちら)

大きな通り、賑やかな場所から一本入った通りに『みどり食堂』の舞台、辰巳の御庭があります。そこには、歩いていて心安らぐ空間が広がり、喧騒から一步置いた静かな庭、街並み、通りが市民の心を癒し、海外の方からは実に味わい深い蔵造りの家並みに出逢える。近年国内外の旅行者の隠れた被写体としてカメラを向けている人々を見かけるようになってきました。

そうです。松本の魅力はこういった一本入った街並み、通りにこそあるのです。松本の観光財産として、食文化の発祥の町と共に、この空

間を関わったみんなと共に創り上げていきたい。我々メンバーの願いです。

コロナ禍に縁側作戦としてスタートを切ったみどり食堂は、新しいフードコートとして進化してきました。今後も、市民の憩いの場所、松本の隠れた観光スポットとしてのポジション確立を目指して参ります。

メンバー

北原嗣正(緑町)

東山謙児(ゴロー)

澤田守雄(桜家)

打木宏子(いかるがの里)

百瀬昌伸(空)

白鳥光明(酒処いわな)

五味靖夫(pizza verde)

松木研(東寿司)

東さより(ベーカリーマルトウ)

大倉定夫(大倉)

浜田せり(じゅげむ)

堀内遊穂(彗星倶楽部)

深澤広亮(深酒)

池田浩(Baden Baden)

岩下浩(樽吉)

阿部琢久哉(喫茶山雅)

前田善徳(acquabuo)

山元睦美(株式会社レストラン鯛萬)



サブリーダー

菅原巖礼

(うどん勝利)

物の設置、お運びに協力いただける若い力、いろいろなアイデアを提供していただけるアイデアマンの方! 食堂開催時には、毎回アルバイト2~3人必要で経費がかかる為会員の中からボランティア(家族、身内)で協力いただける方、是非!

イベントとしての「みどり食堂」から、テイクアウト中心に年間を通して利用できる「辰巳の御庭」を構築し、範囲も松本城周辺に拡げ、やがて「三の丸食堂・市場」に発展させたい。

令和5-6年度社会実験実施スケジュール

コロナ禍にスタートした街のフードコート「みどり食堂」(辰巳の御庭で緑町周辺の銘店の料理を気軽に味わえる仕組み)を定期的開催できるよう、仮設でせせらぎデッキ・テーブル・イスなどの什器を設けるとともに、円滑な運営システムを試行している。また日常的に料理をテイクアウトして辰巳の御庭で寛ぎながら食事をできるような環境づくりを目指し、注文システムやイス・テーブル・日除けの常設も試行している。それらの環境・システムを確立し、辰巳の御庭の定常的な滞在快適性の向上を図っていく。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和5年度	みどり食堂 4月9日①			みどり食堂8月5日①15:30-20:00 6日②13:30-19:00		みどり食堂10月14日①15:00-20:00 15日②14:00-19:00						
令和6年度				みどり食堂9月21日①15:30-19:00		みどり食堂10月27日②15:30-19:00						
						常設の什器・日陰設置						

辰巳の御庭の街角には、みどり食堂が営業しています。ここでは、「辰巳のフードコート」をコンセプトに、周辺の銘店の料理を気軽に味わえる「みどり食堂」をスタートしました。

辰巳の御庭の街角には、みどり食堂が営業しています。ここでは、「辰巳のフードコート」をコンセプトに、周辺の銘店の料理を気軽に味わえる「みどり食堂」をスタートしました。

2023 10.14 (Sat) 15:00-20:00
→ 15 (Sun) 14:00-19:00

辰巳の御庭の街角には、みどり食堂が営業しています。ここでは、「辰巳のフードコート」をコンセプトに、周辺の銘店の料理を気軽に味わえる「みどり食堂」をスタートしました。

辰巳の御庭の街角には、みどり食堂が営業しています。ここでは、「辰巳のフードコート」をコンセプトに、周辺の銘店の料理を気軽に味わえる「みどり食堂」をスタートしました。

2024 10.27 (Sun) 15:30-19:00

みどり食堂

10月27日(日) 15:30-19:00

みどり食堂のメニューは、周辺の銘店の料理を気軽に味わえます。

みどり食堂のメニューは、周辺の銘店の料理を気軽に味わえます。

みどり食堂メニュー：外国人観光客用英語メニューも作成

設備を整えての「みどり食堂」定期開催

①空間・環境改善

- せせらぎにウッドデッキ設置
- 既存ベンチ部に新規のイス・テーブル設置
- イス・テーブルの拡充
- 仮設照明設置
- 屋外での暑さ対策：タープの設置

②企画運営の安定化・拡大

●収支計画

売り上げ金、協賛、参加費で全て賄うことが可能か

●運営方法・体制

緑町以外の周辺店舗拡大、参加店増加を図る

無理のない当日運営の試行(設営、撤去、広報等)

当日運営アルバイトの確保

雨天時の対応(中止or順延)

広報媒体の活用(食堂メニュー、店舗紹介)

みどり食堂@辰巳の御庭

4月9日(日)、8月5日(土) 15:30-20:00・6日(日) 13:30-19:00、

10月14日(土) 15:00-20:00・15日(日) 14:00-19:00



令和5年度社会実験効果検証結果

「みどり食堂」▶令和5年8月5日(土) 15:30-20:00、
10月14日(土) 15:00-20:00 @辰巳の御庭

●効果検証総括

何気ない日々の暮らしを楽しむ

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

アクティビティ総数は従前から約8倍に増加し、「心地よく利用できた」「満足・やや満足」「また利用したい」がいずれも9割を超える高評価でした。

実施日	令和5年8月5日(土) 15:00-19:00	令和5年10月14日(土) 15:00-20:00	従前調査 令和5年7月15日(土) 8:00-20:00
天気 最高気温/最低気温	晴時々曇り 36.0/22.0	晴時々曇り 22.0/6.6	晴 30.2/17.1
アクティビティ 総数	332 (9回計測・221名)	316 (11回計測・316名)	42 (13回計測・33名)
利用者 アンケート	「心地よく利用できた」 93% 「満足」「やや満足」94% 「また利用したい」91% (n=59)	「心地よく利用できた」 100% 「満足」「やや満足」96% 「また利用したい」100% (n=22)	—

●利用者アンケート調査

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

店内とは異なる魅力を感じてみどり食堂を利用してもらうことができました。また、1時間以上滞在が一番多く見られ、長時間滞在がしやすい環境であると言えます。

Q. 店内ではなく「みどり食堂」を利用した理由を教えてください

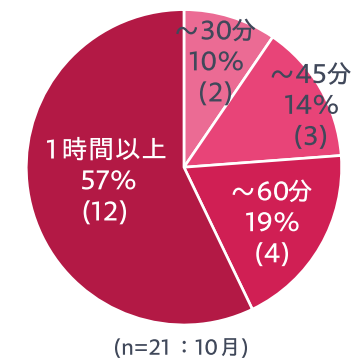
冷たい水に足を入れながら飲食ができることに魅力を感じたから

夜の良い雰囲気を感じて飲食したかった

ふらっと寄ることができるので

色んな店が集まっていてとても楽しみやすい

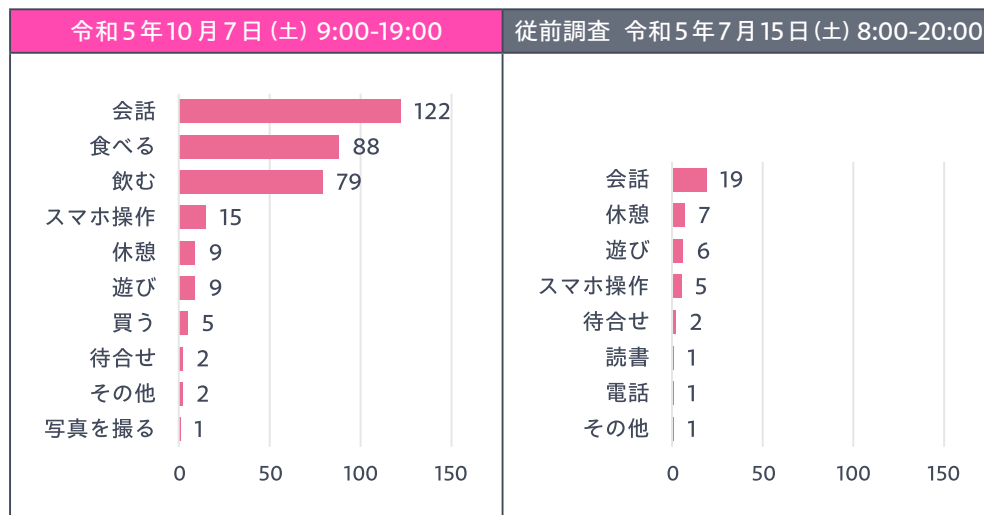
Q. 「みどり食堂」での滞在時間はどのくらいですか？(予定も含む)



●アクティビティ調査

お気に入りの居場所がある

従前に比べ、アクティビティの種類・数ともに増加し、特に会話／食べる／飲むが多く見られ、「まちのフードコート」としてのシーンが実現されました。



●利用者アンケート調査：利用者の声

日光の対策など気配りも細かく、雰囲気も良かったため

川の音、虫の音を聞きながら外で呑むお酒は最高

一人でも入りやすい

とても気持ちよく過ごせました(飲めました)。できれば8月の週末は毎週やってほしい。(手伝います!)

川床の上はくつろげて良かったです

1つの場所で様々な飲食店の料理を楽しみながら、夏を感じつつ涼むことができた

子供と一緒に、水遊びができるのでゆっくりと楽しめた

提供しているお店の位置がわかると、次、そこのお店の利用にも繋がると思います

①イベント型みどり食堂：季節毎

- 夏秋実施
- オペレーションの改善、良質な人員の確保
- 宣伝広報の方法、活動強化

みどり食堂@辰巳の御庭 9月21日㊦ 15:30-19:00、10月27日㊦ 15:30-19:00

②日常型みどり食堂：常時のテイクアウトシステム

- 常設に向けた長期間のせせらぎデッキ・イス・テーブル設置、暑さ対策の日除け設置
- 運営維持管理体制の構築(什器の出し入れ、安全かつ動かない設置方法等の工夫)
- テイクアウトシステムの検討

滞留空間常設設置@辰巳の御庭 9月～通年



③共通

- プロジェクト/周辺店舗の仕掛け(行灯・みどり食堂紹介パンフレット設置等)
- 体制拡充(参加店拡大、サポートメンバー募集等)
- 持続可能な収支計画(収入の多様化、傾斜配分的参加費検討)
- 音楽、演劇等文化的コンテンツ検討



令和6年度社会実験効果検証結果

「みどり食堂」▶令和6年9月21日(土) 15:30-19:00 @辰巳の御庭

●効果検証総括

何気ない日々の暮らしを楽しむ

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

アクティビティ総数は従前から約5倍に増加し、「満足・やや満足」「また来たい」「心地よく利用できた」「誰かに語りたい」がいずれも100%と、非常に高評価でした。

実施日	令和6年9月21日(土) 15:30-19:00	従前調査 令和5年7月15日(土) 8:00-20:00
天気 最高気温/最低気温	曇り 28.6/26.4	晴 30.2/17.1
アクティビティ 総数	232 (5回計測・112名)	42 (13回計測・33名)
利用者 アンケート (n=23)	「満足」「やや満足」：100% 「また来たい」：100% 「心地よく利用できた」：100% 「誰かに語りたい」：100%	—

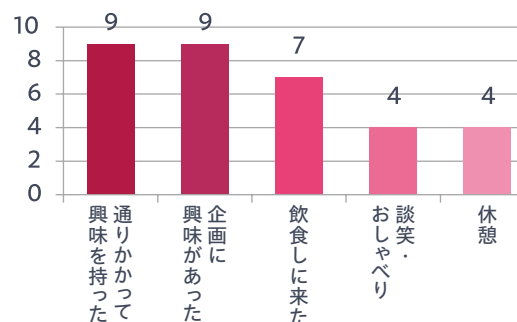
●利用者アンケート調査

何気ない日々の暮らしを楽しむ

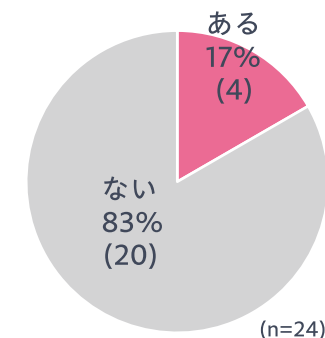
お気に入りの居場所がある

目的をもって訪れた方、企画を知らなかった方、双方の来場があったことが分かりました。また、一定リピーターも生まれています。

Q. 今日はなぜ「みどり食堂」に
来ましたか？(複数回答可)



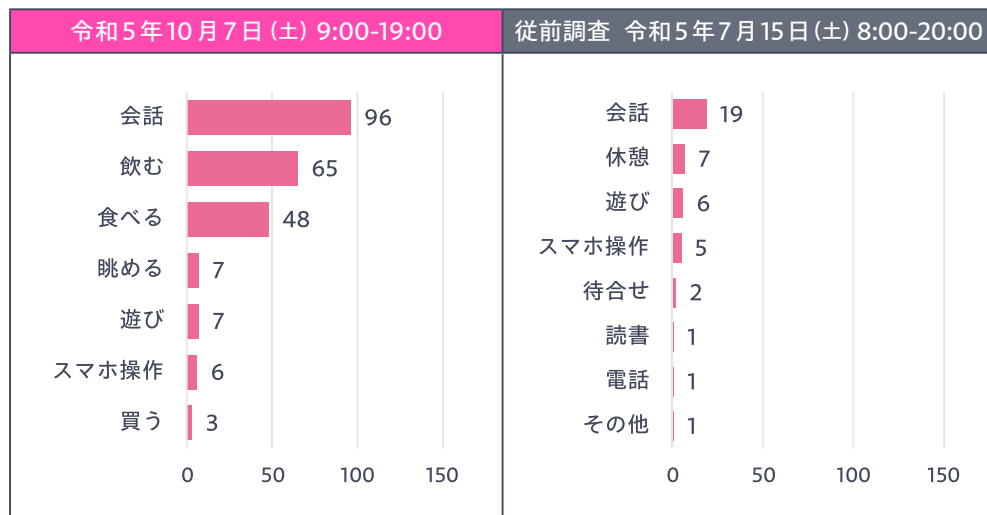
Q. これまでに「みどり食堂」を
利用したことがありますか？



●アクティビティ調査

お気に入りの居場所がある

従前に比べ、アクティビティの数が増加し、特に会話／飲む／食べるが多く見られ、飲食をしながら会話を楽しむシーンが生まれたことが分かりました。



●利用者アンケート調査：利用者の声

屋外で気持ちよく飲んで食べて語ら
えました！ フランスとかのテラスや
カフェのように昼から楽しく飲んで
いるイメージです

新しい交流の場の
形だと思いました

スタッフさんの対応もよく、
気持ちよく飲めた

また必ず来ます。他の
地区とのコラボも面白
いと思います！

イス席、座り席など雰囲気
が良かったです。これからも
続けてもらえたら嬉しいです

普段少し敷居高く感じ
るお店のものが頼めて
よかった。学生さんの
レポートも面白かった。

地域の店舗が認知されるほか、人と町で出会
いを生み出したりする仕組みにもなっており、
素敵な取り組みだと思います。注文と受け取り
のオペレーションがもう少し分かりやすくするな
ど案内があるとより親切だと思いました。

5-2

上土・緑町界限

令和7年度以降の具体的なアクション概要

1. 実現したい「誰かに語りたくなる暮らし」のシーン

- ①辰巳の御庭にて「みどり食堂」の開催
- ②辰巳の御庭を「街のフードコート」「下町の舞台」として活用し、文化や物販を季節ごとに楽しめる
- ③設備と近隣店からのサービスを整え、辰巳の御庭で日常的に憩い寛げる



2. プロジェクトの内容

①みどり食堂の開催(イベント型・日常型)

- 季節ごとにデリバリーによるイベント型みどり食堂を実施
- 日常的にテイクアウトによる日常型みどり食堂を実施
- テイクアウトシステムの確立

②辰巳の御庭に常設の憩い寛げる空間創出・運営

- 滞留空間、植栽、舗装等の検討、関係者協議
- 常設の滞留空間創出・運営へ

③街の魅力を発信

- みどり食堂メニュー、チラシ等の広報に、辰巳の御庭の案内や歴史、周辺店舗の紹介や見どころを織りまぜて街の魅力を発信

④「どうぞ表示」ボード設置

- 辰巳の御庭周辺店舗において、トイレ貸出、店舗軒先への椅子設置、案内板設置等、お店のできるサービスを各店舗で考案
- 将来的な民間サービスシステムとして確立

⑤みどり食堂を文化、物販のイベントへと拡大

- 飲食だけではなく、音楽やクラフトなど、文化・物販の取組みへと展開

⑥辰巳の御庭東側道路の活用検討

- 辰巳の御庭東側道路の一部歩行者天国化、活用検討

3. ハード整備／空間改変のイメージ

什器、日除け、照明等の常設設置による滞留空間の拡充を図る

日除けイメージ(令和6年度社会実験時)



藤棚のような植栽で日除けを拡張することも検討

せせらぎデッキイメージ
(令和5-6年度社会実験時)



什器イメージ(令和5-6年度社会実験時)



テーブル+椅子パターン



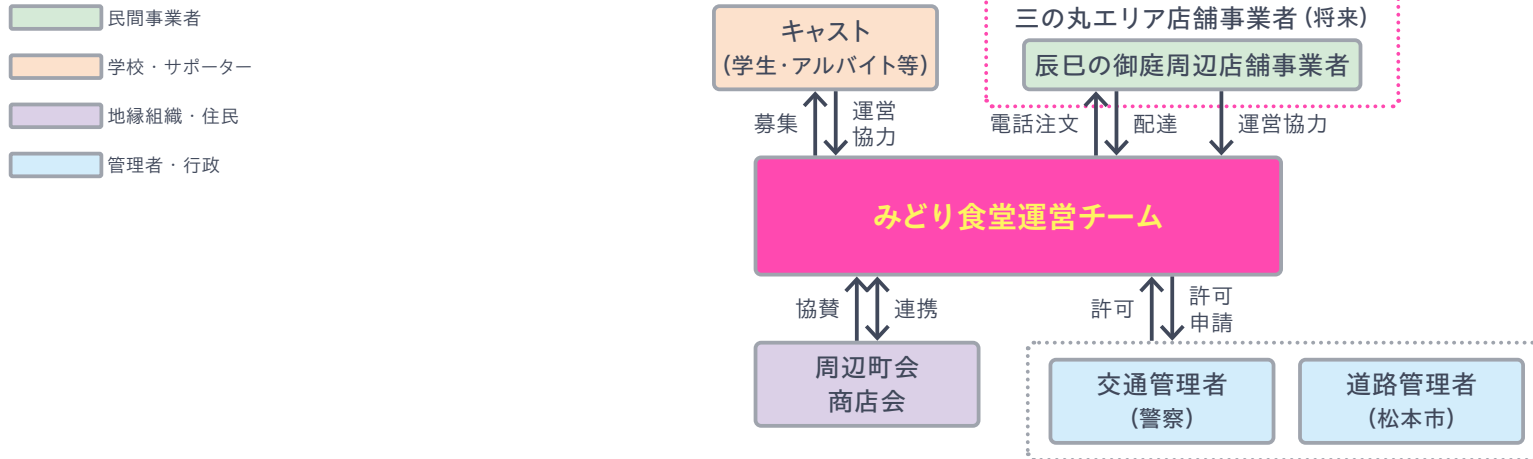
ハイテーブルパターン



サイドテーブル付きベンチパターン

4. 実施体制図／ロードマップ

令和7年度以降、下記の体制とロードマップを描きアクションを進めていきます。



	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027年)	令和10年度 (2028年)	令和11年度 (2029年)
①みどり食堂の開催	季節に応じたイベント型みどり食堂の実施				
日常型：テイクアウトシステムの構築	アナログ化	デジタル化	三の丸エリアに拡大	他地域へ拡大	
②辰巳の御庭に常設の憩い寛げる空間創出・運営	植栽・滞留空間・舗装等の検討、関係者協議	ハード整備	常設滞留空間の運営		
③街の魅力発信	辰巳の御庭にて周辺の歴史等のアナログ表示	デジタル情報発信	店紹介含めた総合案内検討・アナログ表示	デジタル総合案内	他地域と連動したデジタル情報発信
④「どうぞ表示」ボード設置	軒先の折畳式イス・テーブル等検討		案内板等の他地域連動化		
⑤みどり食堂を文化、物販のイベントへと拡大	アコースティックギターライブ誘致	地場産業紹介目的のクラフト展		他地域との連動イベント発展へ	
⑥辰巳の御庭東側道路の活用検討	道路の一部の歩行者天国化検討・活用内容検討		他地域と日時を合わせ共同で歩行者天国化		

9 鷹匠町・北馬場界限

エリアビジョンの内容

VISION

暮らす人と訪れる人が緩やかに共生する

“2つの国宝の架け橋”

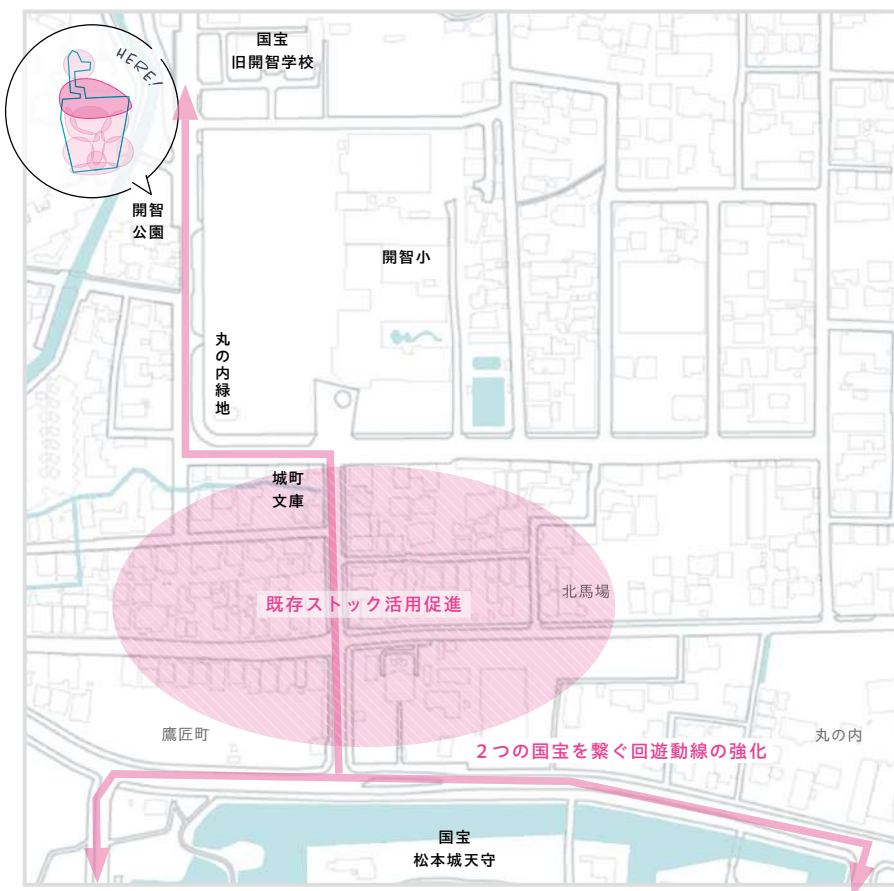


取組方針

空き家／空き地を活用し、日常の暮らしやすさを高める機能を導入する。

それにより居場所の選択肢と暮らしを感じられる接点を増やし、暮らす人と訪れる人が緩やかに共生できる環境をつくる。

ユニバーサルデザインの考え方にに基づき道路などの公共空間を改善することで、誰もが安心して巡れる環境を生み出す。



9 鷹匠町・北馬場界限

これまでに生まれた新たなシーン

ビジョンの実現を目指した
社会実験から、
こんなシーンが生まれました



9

鷹匠町・北馬場界限

プロジェクトメンバー



リーダー

荒井洋

(HAL設計室代表)

地域の賑わい創出のための拠点として仮設店舗や簡易デッキをつくり活動してきました。なんとか認知されつつある活動を今後は沿道の空き店舗や空き地利用につなげていきたいと思っています。

実施主体

プロジェクトの想い

国宝の架け橋プロジェクト

何もなかったガソリンスタンドの跡地にタカノバという仮設施設をつくり細々とではありましたが2年間活動を続けてくることができました。

様々な職業や立場の垣根を越えて活動してくれた事業会員のおかげです。特に信光石油さんが無償で敷地を提供して下さいなかったら実現

できなかった事業で感謝申し上げます。お陰様でタカノバは小学生の認知度が高く地域住民にも認知されつつあります。この流れを周辺の空き店舗活用へと広げつつ歩行者中心の道路環境の整備も働きかけていければと考えています。



サブリーダー

古田健司

(元沢村町会長)

組織作りから始め、地域の方にも関心を持ってもらえました。今後は、タカノバの精神を形に作り上げてほしいと思います。



Magazine
(インタビュー記事はこちら)

メンバー

藤木大介
中田充
西沢啓子
甕秀行
小山修正
益山代利子
鈴木陽輔
鈴木隆子
松本美江
岩下亮太
山田光花莉
小松誠

令和5-6年度社会実験実施概要(実績)

令和5-6年度社会実験実施スケジュール

信光石油ガソリンスタンド跡地を借り受けて暮らす人と訪れる人が緩やかに共生する拠点として、シェアキッチンや物販店、屋外テラスなどのある「タカノバ」をオープンし、2年間（令和5年9月～令和7年9月）運営をしている。また、2つの国宝を繋ぐタカノバ前の通りを定期的なトランジットモールとすることを目指して、トランジットモール化社会実験を2回実施し、旧開智学校や中央図書館との連携した取り組みも進めている。今後は一連の活動を空き家・空き店舗活用へと波及させていくことも見据えながら、2つの国宝の架け橋となるべく取り組んでいます。

[illegible]

9 鷹匠町・北馬場界限

令和5年度社会実験実施概要(実績)

令和5年度社会実験実施概要

「タカノバ」 令和5年9月16日(土) オープン

- 松本城と旧開智学校の間にある信光石油ガソリンスタンド跡地(民有地)に仮店舗と簡易デッキを設置し、人々の暮らしと娯楽が交差する空間を創出する

- 様々な業種への仮店舗(ユニットハウス)とマルシェスタンドの貸出、キッチンカーの誘致
→三の丸エリアでの将来的な開業を支援
- エリア空間の充実
→木製デッキを作り界限に溶け込むやさしい空間と、誰もがゆっくりと憩い

交流できる場を提供する

- デッキスペースでのイベントの開催
→鷹匠町を含む三の丸エリアのPR、他地域との交流
- 地元新鮮食材やお土産等の常設販売
→暮らす人の生活利便性向上、訪れる人への地域アピール



令和5年度社会実験効果検証結果

「タカノバ」▷9月16日㊦オープン～通年㊤信光石油ガソリンスタンド跡地

●効果検証総括

何気ない日々の暮らしを楽しむ

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

アクティビティ総数は従前から約20倍に増加し、「心地よく利用できた」「満足・やや満足」「また利用したい」がいずれも8割を超える高評価でした。

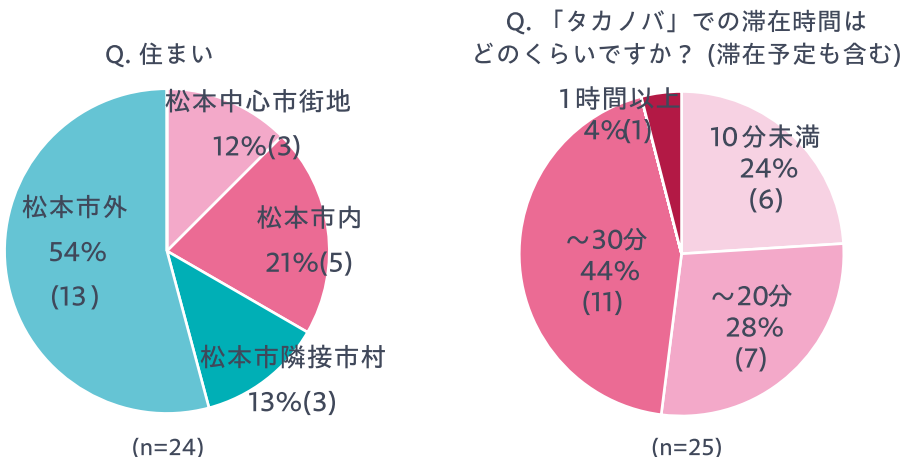
実施日	令和5年10月14日(土) 10:00-19:00	従前調査 令和5年7月15日(土) 8:00-20:00
天気 最高気温/最低気温	晴時々曇り 22.0/6.6	晴 30.2/17.1
アクティビティ 総数	196 (17回計測・137名)	10 (13回計測・10名※前面道路)
利用者 アンケート (n=25)	「心地よく利用できた」：100% 「満足」「やや満足」：80% 「また利用したい」：92%	—
歩行者通行量 (前面道路)	935人 (10:00-19:00)	926人 (10:00-19:00)

●利用者アンケート調査

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

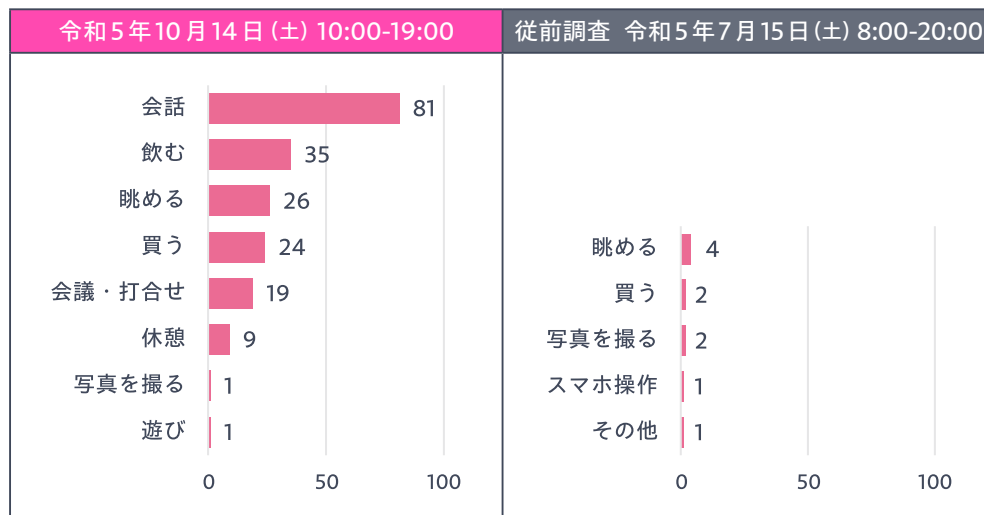
市外の利用者が約7割と半数以上でした。また、30分未満の滞在が96%であり、比較的短時間の利用がほとんどということが分かりました。



●アクティビティ調査

お気に入りの居場所がある

従前に比べ、アクティビティの種類・数ともに増加し、特に会話／飲む／眺める／買うが多く見られ、交流・飲食・購買行動が生まれたことが分かりました。



●利用者アンケート調査：利用者の声

子どもがいても来やすい。

木がふんだんに使われていて、居心地が良い。

ぶどうを売っていたお父さんたちが子どもやお客さんと楽しそうに話しているのはなかなかよかった。地元の人と気さく話をする機会があるのは観光客も楽しみだと思う。

ゆっくりできた。座れてよかった。

あらかじめ何の店舗がやっているのかわかるとよい。

ご近所の方との交流とかできる場になれば良いと思います。ここへ来れば誰かに会ってそこで会話が生まれるような場になればいいと思う。

ゆっくりは過ごせたけれど、なんとなく希薄な感じがする、ガランとしていてさみしい印象がある、ウッドデッキ以外の所も一工夫あるとよいのかもしれないと思います。どこに向けているのかが分かりづらい、観光客向け？ 地元？ もう少し地元の方がなじんで集まってしまうような場になればいいと思う。

9 鷹匠町・北馬場界限

令和6年度社会実験実施概要(実績)

令和6年度社会実験実施概要

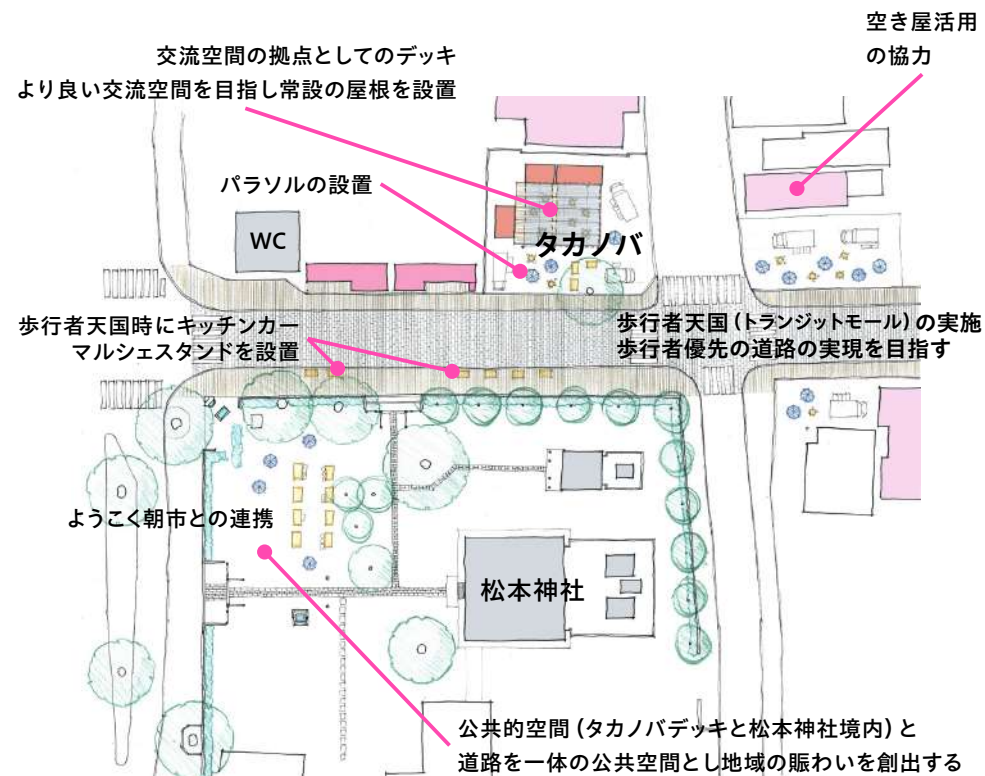
タカノバを起点とした界限全体への展開

●2つの国宝を繋ぐ鷹匠町・北馬場界限の入り口にあるタカノバと松本神社境内や間の道路を一つの交流空間ととらえ、暮らす人と訪れる人が集い憩うことが出来る空間を界限に広げていく

- ①タカノバの運営
- ②屋根等の設置によるタカノバの環境向上
- ③タカノバ前の通りのトランジットモール化+道路活用
- ④松本神社境内の一体的活用
- ⑤旧開智学校・中央図書館との連携：旧開智学校のリニューアルオープンと連携した「国宝の架け橋リビング」の実施

アウトドア&防災フェス(タカノバ1周年) ▶ 9月21日(土) 11:00-19:00 @タカノバ・前面道路・松本神社

国宝の架け橋リビング ▶ 11月9日(土) 10:00-16:00 @鷹匠町・北馬場界限



令和6年度社会実験効果検証結果

「アウトドア&防災フェス」(タカノバ1周年) ▶ 9月21日(土) 11:30-18:00 (トランジットモール 11:00-19:00)

●効果検証総括

何気ない日々の暮らしを楽しむ

お気に入りの居場所がある

街の物語を感じられる

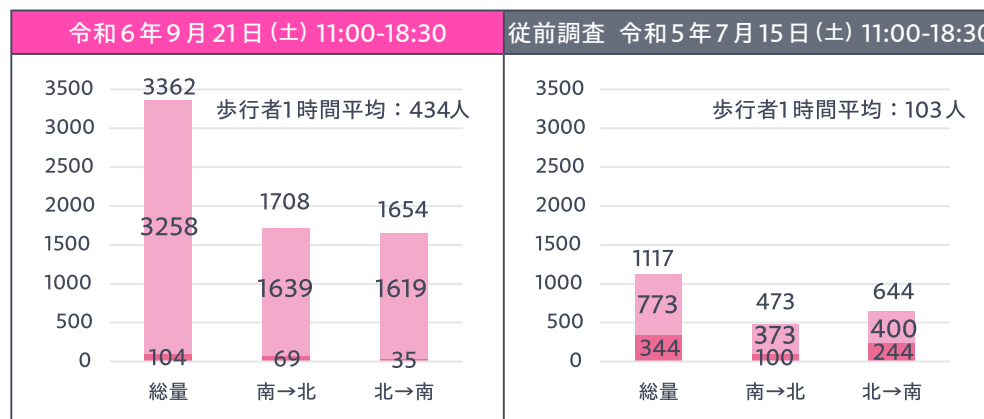
アクティビティ総数は従前から約55倍に増加し、「満足・やや満足」「また来たい」「心地よく歩けた」「誰かに語りたい」がいずれも8割を超える高評価でした。

実施日	令和6年9月21日(土) 11:00-18:00	従前調査 令和5年7月15日(土) 8:00-20:00
天気 最高気温/最低気温	曇 28.6 / 26.4	晴 30.2 / 17.1
アクティビティ 総数	545 (7回計測・459名)	10 (13回計測・10名※前面道路)
利用者 アンケート (n=58)	「満足」「やや満足」：94% 「また来たい」：89% 「心地よく歩けた」：92% 「誰かに語りたい」：93%	—
歩行者通行量 (前面道路)	3,258人 (11:00-18:30)	773人 (11:00-18:30)

●歩行者・自転車通行量調査

お気に入りの居場所がある

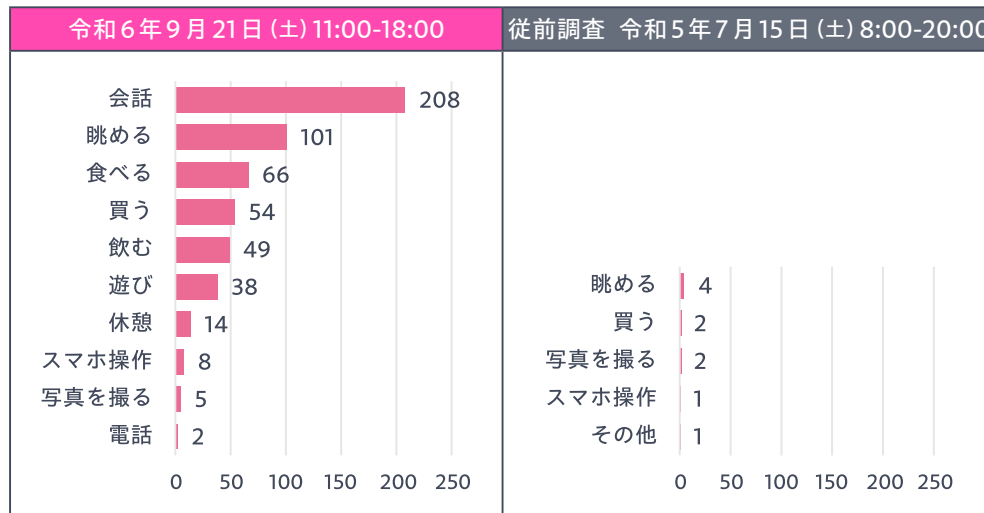
松本神社前の歩行者は従前と比べて約4倍増加し、南→北、北→南の通行量は概ね同様でした。また、事故等なくトランジットモールを実施することができました。



●アクティビティ調査

お気に入りの居場所がある

従前に比べ、アクティビティの種類・数ともに増加し、特に会話や眺めるが多く見られ、交流や商品・お店・音楽演奏等を眺めるシーンが生まれたことが分かりました。



●利用者アンケート調査：利用者の声

市民の顔を見れて楽しい

なかなかこの道が歩行者天国になることはないのでゆっくりできてよかった

たくさんの人が集まってきて、1年前よりもガゼボ(日陰)ができたりとても充実したと思います。良い場所になりそうなので、継続して欲しいです

タカノバと松本神社が一体につながった感じがしてよかった

松本の良い観光ルートにあまり店舗がなく寂しい感じがする。立地は良いので、松本・三の丸を伝えつつ観光客、地元の人々に寄り添った場所になると良いと思う

この周辺にはスーパーなどが無いのでちょっとした日常の買い物を楽しめる場所にもなって欲しい

9 松本城大手門跡界隈

令和7年度以降の具体的なアクション概要

1. 実現したい「誰かに語りたくなる暮らし」のシーン

暮らす人の生活に寄り添い、訪れる人がめぐりたくなるシーン



2. プロジェクトの内容

松本城と旧開智学校の間にある仮設店舗の利用率を上げ、ひとびとの暮らしと娯楽が交差する魅力的な空間タカノバを創出・運営する。仮設店舗終了後もタカノバの精神を引き継ぎ敷地所有者と協力して地域に必要な新たな拠点作りを目指す。

①タカノバの創出・運営

- タカノバ施設の有効活用を促進する
→魅力的なテナントの誘致と運営協力
- エリア空間の充実
→デッキスペースの公共性、居住性をアップさせ誰もがゆっくりと憩い交流できる場を提供する
- デッキスペースでのイベントの開催
→鷹匠町を含む三の丸エリアのPR、他地域との交流
- 地元新鮮食材やお土産等の常設販売
→暮らす人の生活利便性向上、訪れる人への地域アピール
- タカノバ終了後の跡地利用に関して、土地所有者と協力してタカノバの精神を反映した跡地活用を目指す
- SNS等で界隈の情報発信を行い、三の丸エリアの活性化を図る

②界隈の空き家・空地の活用

- 敷地周辺の空き家に新たな店が開店
→今後も店舗の誘致を積極的に進め居住者と来訪者双方に受け入れられる界隈を目指す

③開智通り等の交通再編

- タカノバと松本神社間の道路の定期的なトランジットモール化
→三の丸エリア往来の活性化、松本城と旧開智学校の間を歩いて楽しいエリアに

④旧開智学校・中央図書館との連携

- 将来像の検討
- イベント等での連携

3. ハード整備／空間改變のイメージ

空き家・空き地の有効活用を図り周辺住宅街と調和のとれた賑わいある
通りを創出し、時間・曜日限定のトランジットモール化の実現を目指します。

タカノバの精神を受け継いだ
タカノバの跡地活用

定期的なトランジットモール化による
歩行者に優しい環境

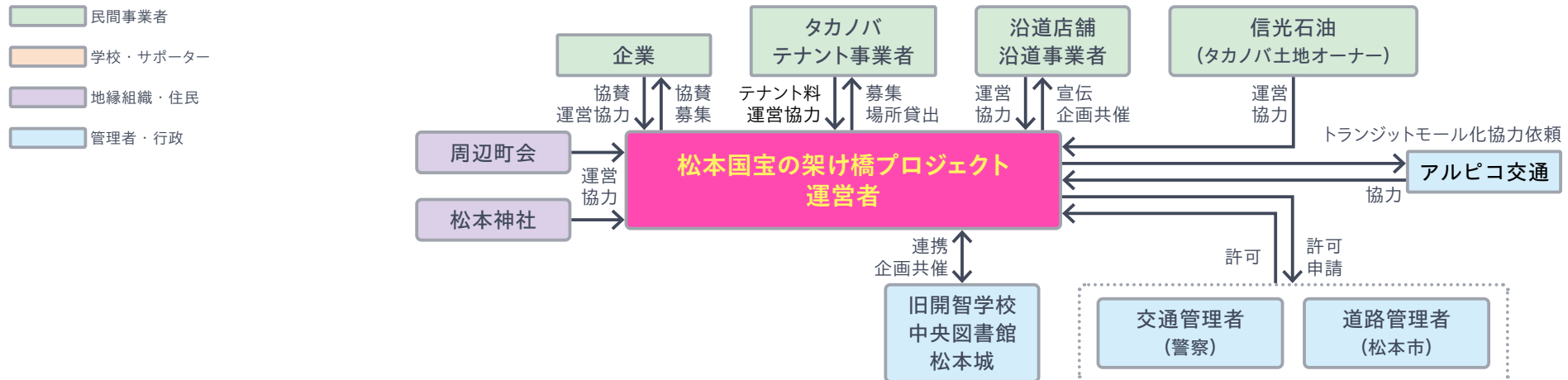


空き家・空き地の活用

段差がなく
歩きやすい歩道

4. 実施体制図／ロードマップ

令和7年度以降、下記の体制とロードマップを描きアクションを進めていきます。



	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	令和9年度(2027年)	令和10年度(2028年)	令和11年度(2029年)
①タカノバの創出・運営	タカノバは9月末にて仮施設としての運営を終了予定	タカノバの精神を受け継いだ地域に必要な跡地活用の検討			
②界隈の空き家・空地の活用	タカノバの実績を上げる	所有者に対して有効利用を働き掛ける	第一歩として空き店舗活用を始める	空き地に店舗を建て街並みを連続させる	界隈の賑わいを持続させる
③開智通り等の交通再編	年に4回程度トランジットモールを実施し周囲の理解を得る	年に4回程度トランジットモールの実施 トランジットモールの実績を基に道路形状の在り方を考える	曜日・時間帯限定のトランジットモールの実施 トランジットモールの実績を基に道路形状の在り方を考える	道路整備の実施	時間・曜日限定のトランジットモール化を目指す
④旧開智学校・中央図書館との連携	松本城から旧開智学校へ向かう道の入り口としての誘客を担う	図書館機能の一部を担う沿道店舗の実証実験を行う	居住者と来訪者双方に受け入れられる店を誘致する	通りの賑わいを継続する	通りの賑わいを継続する



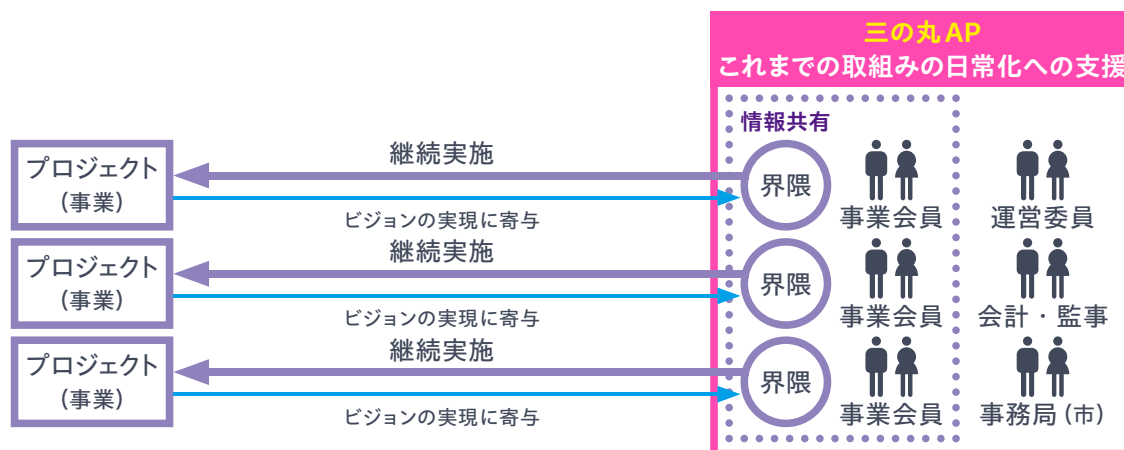
今後の 三の丸エリアプラットフォーム

今後の組織体制の見通し

三の丸APでの取組みを将来的に持続可能な形で継続し、エリアビジョンの実現を引き続き目指すため、三の丸AP事務局を発展的に中間支援組織（仮称）へと移行します。令和7年度は現行の体制を引き継ぎつつ、中間支援組織（仮称）が担う事業や具体的な体制・人員の在り方などを検討します。令和8年度中には三の丸AP事務局を中間支援組織（仮称）へと移行し、準自走化する状況を構築します。

※中間支援組織（仮称）：行政と民間・地域との中間に立ち、エリア価値向上に資する事業や支援を行う組織

【令和7年度】現状の三の丸APの形を引き継ぎつつ、令和8年度以降の発展形への準備を行う



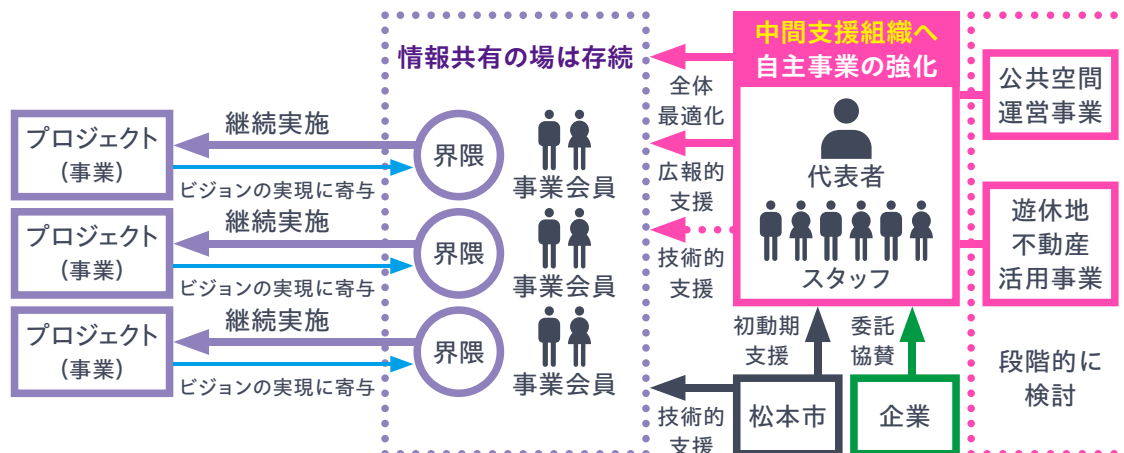
三の丸AP事務局がやること

技術的支援（日常化に向けた調整など）	事務局が支援
広報的支援（HP・SNS運用など）	
サポートメンバーの募集、組織化【新事業】	
エリア全体で取り組む事業（エリアサイン作成など）	事務局が主導
自己資金の調達（企業協賛募集など）	

三の丸AP事務局がやらないこと

事業会員（各界限）同士の情報共有	事業会員主体
資金的支援（各界限への資金提供）	終了

【令和8年度】三の丸APの情報共有機能は残しつつ、新組織を立ち上げ自主事業を強化していく



中間支援組織（三の丸AP事務局の発展形）がやること

事業会員支援	中間支援組織が支援
広報的支援（HP・SNS運用など）	
技術的支援（手続など）	
サポートメンバーの募集、組織化	中間支援組織が主導
エリア全体で取り組む事業（フォーラム開催など）	
自己資金の調達（企業協賛募集など）	
公共空間運営／遊休不動産活用事業【新事業】	自主事業

中間支援組織がやらないこと

事業会員（各界限）同士の情報共有	事業会員主体
技術的支援（日常化に向けた調整など）	市が直接実施

三の丸APメンバー(令和7年3月時点)

運営委員		
役職	氏名	所属
委員長(代表)	山下裕子	全国まちなか広場研究会理事
委員	倉田直道	工学院大学名誉教授
	長谷川繁幸	長野県建築士会松筑支部副支部長
	大輪俊江	株式会社あをぐみ
	石田英幸	松本市お城まちなみ創造本部長

事業会員		
団体名	氏名	所属
Metoba リバーサイドプロジェクト	渡辺匡太	株式会社スモト
	クック久美	StoryhouseCafé& Bar
六九通り周辺の公共空間・空き店舗等利用検討会	伊藤慶	株式会社紙館島勇
	前田大作	アトリエ・エムフォオ株式会社
松本城・三の丸倶楽部	神澤佑樹	ホーユウ有限会社
	大宮康宣	株式会社田立屋
お城下町まちづくりコミュニケーション	増田博志	上土商店街振興組合
	永高英雄	上土町会
みどり食堂	佐々木文宣	蕎麦倶楽部佐々木
	菅原巖礼	勝利
国宝の架け橋プロジェクト	荒井洋	HAL 設計室
	古田健司	元沢村町会長
まちなかりビング	伊藤靖樹	長野県建築士会松筑支部ひとまちづくり委員長
	野口大介	長野県建築士会松筑支部ひとまちづくり委員

会計・監事	
役職	所属
会計	松本信用金庫
監事	八十二銀行
	長野銀行

プロジェクトサポーター	
団体名	
長野県建設部都市・まちづくり課	
長野県松本建設事務所計画調査課	
長野県奈良井川改良事務所	
独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部	

事務局	
お城まちなみ創造本部	
有限会社ハートビートプラン	
サポートチーム	
倉澤UDP 研究所	
MEMENT	
株式会社 Tetor	
公共R不動産	
Local Knowledge Platform 合同会社	
あをぐみ	
市川里美	
山口直人	

協賛企業(令和6年度)

三の丸APの趣旨・取組みに共感いただき、下記の企業様に協賛をいただきました。誠にありがとうございました。

シルバー・パートナー



ブロンズ・パートナー

一般社団法人
長野県
建築士事務所協会
松筑支部



松本商工会議所

松本市緑化協会



松本信用金庫



サポート・パートナー



松本市建設業協会

●協力

〈写真撮影〉

平林岳志、古厩志帆、円山なみ

〈広報／SNS〉

市川里美、山口直人

〈編集〉

大輪俊江(あをぐみ)

●デザイン

青柳幸永(あをぐみ)

松本城三の丸エリアビジョン アクションプラン 令和7年3月

2025年3月31日発行

発行：三の丸エリアプラットフォーム(事務局：松本市お城まちなみ創造本部)